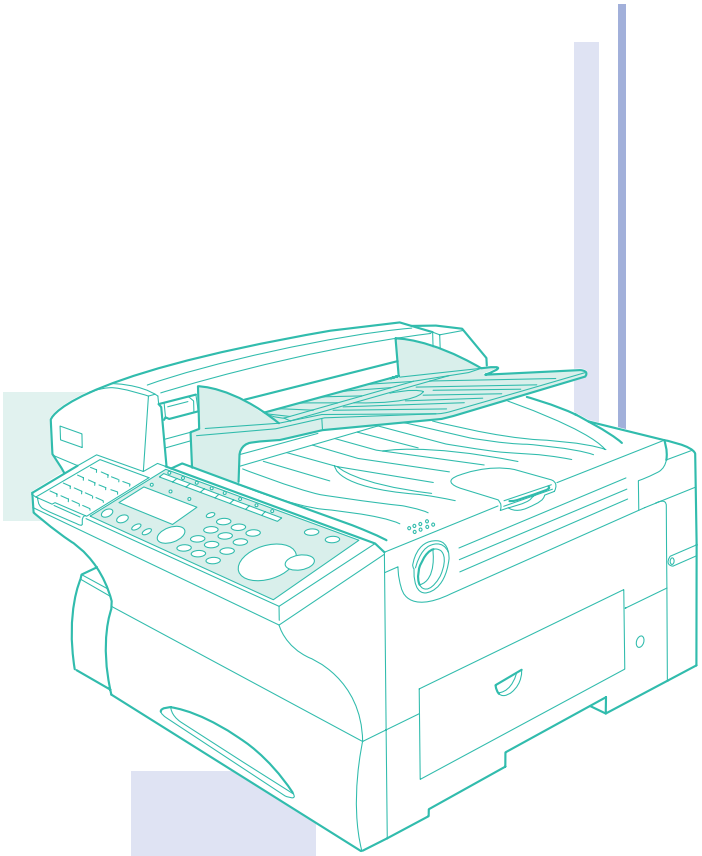
Muratec

V-660

取扱説明書

第1章 準　備
第2章 基本編
第3章 応用編
第4章 登録編
第5章 設定編
第6章 こんなときは
第7章 付　録



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

SUPER G3

～こんなに便利です～

特長

◆いつも送る相手先だから！

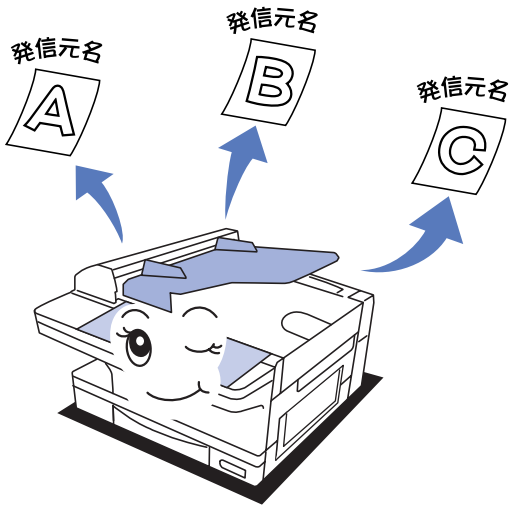
❶ ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル P.109,112

よく通信する宛先をあらかじめワンタッチダイヤル(60件)・短縮ダイヤル(140件)に登録しておくと、簡単に送信できます。その都度アドレス帳などで調べる必要がありません。

◆相手先によって発信元名が変えられる！

❷ 発信元名選択（3種類） P.30

最大3件まであらかじめ発信元名を登録でき、送信相手によって簡単に変更できます。
1台のファクスを複数部署で使用している場合などたいへん便利です。
漢字を入力することができます。（第二水準対応）

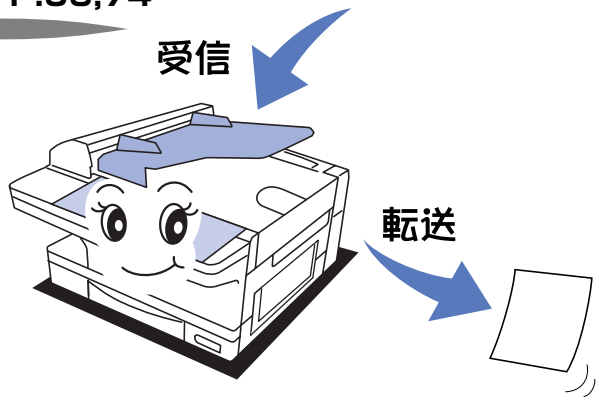


muratec

◆ビジネスチャンスを逃しません！

❸ フォンワープ／ファクスワープ機能 P.96,74

指定時間内にかかってきた電話、または、受信したファクスをあらかじめ設定しておいた宛先に転送します。外出中でもビジネスチャンスを逃しません。



◆便利な機能をワンタッチで切り替え！

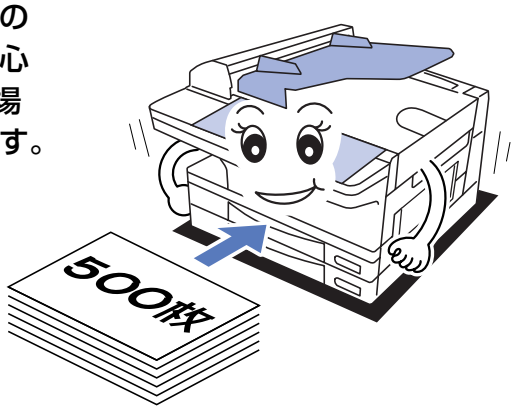
❹ ご愛用スイッチキー P.125

よく使う便利な機能(送信確認証など)をあらかじめご愛用スイッチキーに登録しておくと、簡単にON／OFFの切り替えが可能です。

◆コピー用紙一冊分(500枚)がそのまま入る！

❺ 最大500枚大容量給紙カセット P.23,172

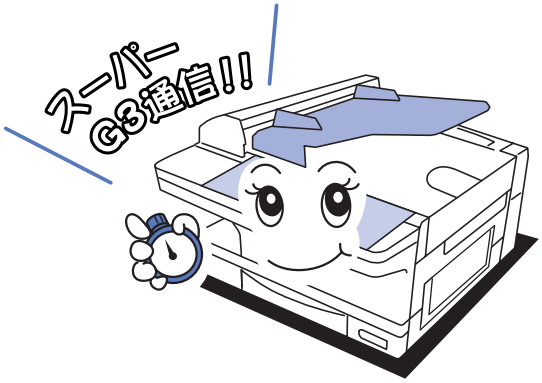
コピー用紙一冊分があまらずに収まるので、用紙がばらけたり、品質を損ねる心配がありません。用紙が2種類必要な場合、さらにもう一段増やす事もできます。(オプション対応)



◆通信コストを大幅に削減！

❻ スーパーG3&JBIG

スーパーG3モードで高速電送を実現し、大量の原稿や遠距離通信も高速威力を発揮。さらにJBIG採用により、写真原稿なども高速通信できるので、通信コストの削減に貢献します。



目　次

特長～こんなに便利です～ ……1
目次 ……3
本書の使い方 ……5
安全上のご注意「必ずお守りください」……7
ご使用の前のお願い……12
本体と付属品を確認する……15

第1章　準備……16
各部の名前と働き ……17
操作パネルの名前と働き ……19
接続する・取り付ける ……21
用紙をセットする ……23
カセットの用紙サイズを変更する ……25
ドラムカートリッジ/トナーカートリッジをセット、交換する ……26
機能の呼び出し方 ……29
お使いになる前の登録 ……30

第2章　基本編……36
原稿について ……37
原稿セットの仕方 ……38
画質・濃度を選ぶ ……39
ファクスを送信する ……40
一度にいろいろな相手に送る（同報送信、グループ送信） ……46
通信を中止する ……48
通信を確認する ……49
ファクスを受ける ……53
受信中の動作について ……60
記録の仕方 ……61
電話の仕方 ……63
コピーの仕方 ……66

第3章　応用編……68
送信方法の設定（メモリー送信/リアルタイム送信）……69
読み取った原稿にスタンプを押す（済スタンプ） ……70
送信時刻を指定して送信する（時刻指定送信） ……71
送信案内証を付けて送信する（メッセージ送信） ……72
ファクスと同時にコピーもする（ファクス＆コピー） ……73
ファクスを転送する（ファクスワープ） ……74
受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信） ……77
Fコード通信をする ……79
ポーリングをする ……89
通信を管理する ……91
ボイスワープサービスの利用について ……94
電話を転送する（フォンワープ） ……96

第4章　登録編 ……102
文字入力の仕方 ……103
ワンタッチダイヤルを登録する ……109
短縮ダイヤルを登録する ……112
グループダイヤルを登録する ……115
プログラムワンタッチを登録する ……117
ご愛用スイッチキーを登録する ……125
ダイヤル記号を入力する ……127

第5章　設定編 ……128
設定の仕方 ……129
システム設定一覧 ……130
ファクス設定一覧 ……132
ダイレクトメール防止 ……136
コピー設定一覧 ……138
機器設定リストをプリントする ……139

第6章　こんなときには ……140
用紙がつまったとき ……141
原稿がつまったとき ……143
済スタンプを交換する ……144
お手入れの仕方 ……145
停電のとき ……147
エラーメッセージ ……149
故障かなと思ったら ……159

第7章　付録 ……162
文字一覧表 ……163
主な仕様 ……169
消耗品とオプション品について ……172
機能一覧 ……173
アフターサービスについて ……178
さくいん ……180

本書の使い方

取扱説明書の種類

・取扱説明書（本書）

ファクスの操作方法や、日常の管理方法、および使用上の注意項目を記載しています。

・かんたん操作ガイド

ファクスの操作方法や消耗品の交換方法を、取扱説明書から抜粋して記載しています。

本書の構成

安全上のご注意、ご使用の前のお願い

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項、本機を正しく使用するために知っておきたいことを説明しています。

1章　準備

本機の各部署の名前や働き、お使いになる前の準備を説明しています。

2章　基本編

ファクスの送信や受信、電話のかけ方、コピーの仕方の基本的な操作方法と、原稿のセット方法や記録の仕方について説明しています。

3章　応用編

時刻を指定して送信する方法やファクスを転送する方法など、知っていただくと便利な使い方について説明しています。

4章　登録編

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録方法、プログラムワンタッチの登録方法や使い方、ご愛用スイッチキーの登録方法などを説明しています。

5章　設定編

より高度に使用するために必要な設定などを説明しています。

6章　こんなときには

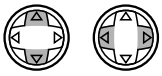
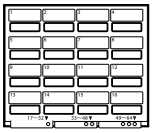
用紙や原稿がつまったとき、エラー表示、故障かなと思ったときの対処方法や、日常のお手入れについて説明しています。

7章　付録

入力できる文字の一覧表、仕様、アフターサービス、消耗品・オプション品の購入方法などについて説明しています。

本書の見方

●キーの表記

	カーソルキーを上下または左右に押すマークです。機能を選択したり、入力中のカーソルを移動したりするときに押します。
	テンキーを使って数字や文字を入力するマークです。相手先の電話番号を入力したり、ワンタッチダイヤルなどを登録するときに、相手先の名前を入力したりするときに使います。
	そのマークのキーを押すマークです。それぞれキーの上に機能の名前が書いてあります。
	ワンタッチキーやプログラムワンタッチキーを押すマークです。それぞれの機能を使うときに押します。

ページの構成

大見出し
この機能を詳しく説明しています。

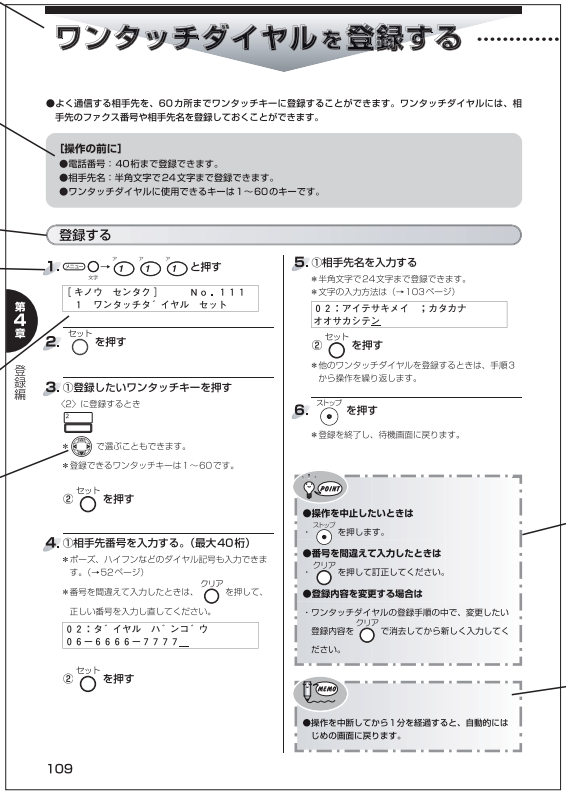
操作する前に
操作を始める前に準備すること、知っておきたいことを説明しています。

項目名

操作手順
番号順に操作します。

液晶ディスプレイの表示

操作パネル上のキー
キーの表記は上の表を参照してください。



ワンタッチダイヤルを登録する

●よく通信する相手先を、60カ所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名を登録しておくことができます。

【操作の前に】
●電話番号：40桁まで登録できます。
●相手先名：半角文字で24文字まで登録できます。
●ワンタッチダイヤルに使用できるキーは1～60のキーです。

登録する

1. メニュー→1→1→1と押す
［キノウ センタク］ No.111
1 ワンタッチﾀﾞｲﾔﾙ セット

2. セットを押す

3. ①登録したいワンタッチキーを押す
〈2〉に登録するとき
＊ダイヤル で選ぶこともできます。
＊登録できるワンタッチキーは1～60です。
② セットを押す

4. ①相手先番号を入力する。（最大40桁）
＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（→52ページ）
＊番号を間違えて入力したときは、クリアを押して、正しい番号を入力し直してください。
02：ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
06－6666－7777

② セットを押す

5. ①相手先名を入力する
＊半角文字で24文字まで登録できます。
＊文字の入力方法は（→103ページ）
02：アイテサキメイ ：カタカナ
オオサカシテン

② セットを押す
＊他のワンタッチダイヤルを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

6. ストップを押す
＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

POINT
●操作を中止したいときは
・ストップを押します。
●番号を間違えて入力したときは
・クリアを押して訂正してください。
●登録内容を変更する場合は
・ワンタッチダイヤルの登録手順の中で、変更したい登録内容をクリアで消去してから新しく入力してください。

MEMO
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的にはじめの画面に戻ります。

第4章 登録編

109

ポイント欄
操作するときのアドバイスや操作中の補足説明をしています。

MEMO欄
操作するときに知っておいた方が便利な内容や、注意点について説明しています。

安全上のご注意「必ずお守りください」……

ご使用の前にはこの「安全上のご注意」と「ご使用の前のお願い」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保存してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

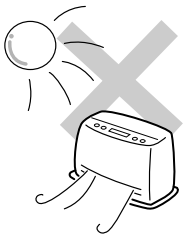
	この記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には注意内容が描かれています。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容が描かれています。

※本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、記録等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

置き場所、移動するときの注意

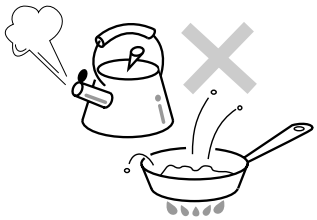
⚠注意

直射日光の当たるところや、温度の高いところ（ストーブやヒートの側など）には置かない



内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

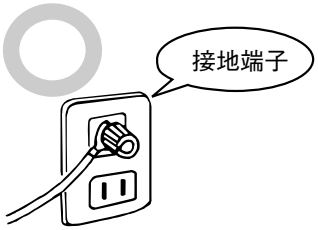
油煙や湯気があたるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かない



（調理場、風呂場、加湿器の側など）

火災・感電・故障の原因となることがあります。

湿気の多い場所で使用する場合は、アース線を取り付ける



感電事故を防ぐため、アース線を接地端子に取り付けてください。
アース線の接続は必ず、電源プラグを電源コンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は必ず、先に電源プラグを抜いてください。

ぐらついた台や振動・衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かない

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

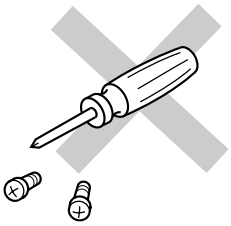
幼児や児童の手の届く場所には置かない

原稿の挿入口や、用紙の排出口などの開口部に指を差し込むと、けがの原因となることがあります。

取扱上のご注意

⚠警告

本機を分解・改造しない

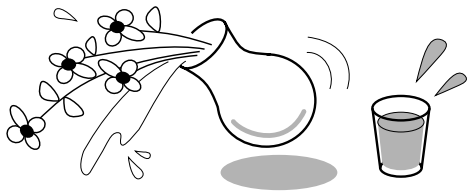


火災・感電・故障の原因となります。修理はインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり落としたりしない

火災・感電・故障の原因となります。

本機の上や近くに、水などの入った容器や小さな金属類を置かない
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、クリップなど）



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります

万一異物が機械内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、インフォメーションセンターまでご連絡ください。

万一、煙が出ている、へんな臭いがするときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してインフォメーションセンターまで修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですからおやめください。

万一、本機を落としたり、カバーを破損した場合は、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、インフォメーションセンターまでご連絡ください。

定着器とその周辺には触れない

動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。指定された所以外は触らないでください。

取扱上のご注意

⚠注意

開閉部を閉めるときは、手を挟まないよう注意する

けがの原因となることがあります。

移動させる場合は、電源コードや回線接続コードなどをはずす

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本機の通風口をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

水滴が付いた場合は、乾いた布でふき取る

水滴が本体内部に入り、火災・感電・故障の原因となることがあります。

長時間本機をご使用にならないときは、電源を切る

旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため電源スイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

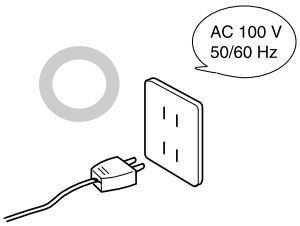
数年に一度は内部の掃除をご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

電源についてのご注意

⚠警告

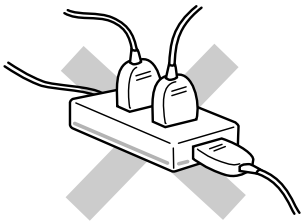
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない



火災・感電・故障の原因となります。

タコ足配線はしない

火災・加熱の原因となります。



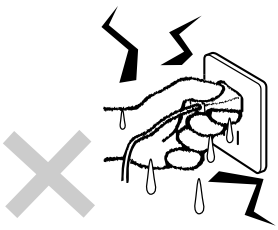
電源プラグを電源容量15A以上の専用コンセントへ直接接続する

延長コードは加熱・発火の危険があるので使わないでください。

電源プラグはコンセントに確実に差し込む

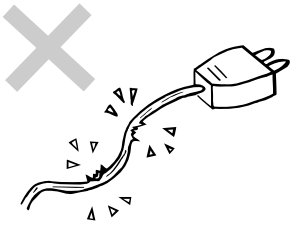
電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない
（傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない）



火災・感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱されたり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが痛んだ場合は、インフォメーションセンターに交換を依頼する

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

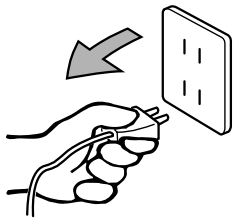
電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。

電源についてのご注意

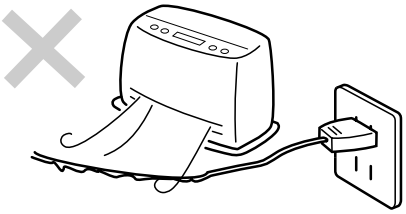
⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

消耗品についてのご注意

⚠注意

トナーカートリッジは火中に投げ入れない

着火したトナーが飛び散ると火災・やけどの原因となることがあります。

トナーが目に入らないように注意する

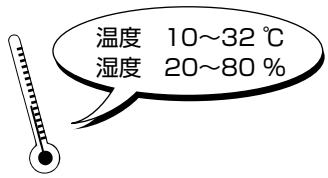
目に入ったときは水で良く洗い流し、医師と相談してください。

ご使用の前のお願い

いつも良い状態でご使用できるように、以下の事をお守りください。

設置・取扱についてのお願い

高温・多湿・低温の場所へ設置しない

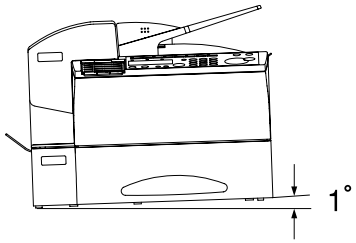


誤動作の原因となります。いつも良い条件でお使いいただける環境は次の通りです。
温度　：10～32℃　湿度：20～80%

酸性ガス、アルカリ性ガス、水蒸気などが発生する場所には設置しない

腐食により、故障の原因となることがあります。

傾けて設置しない



誤動作の原因となります。

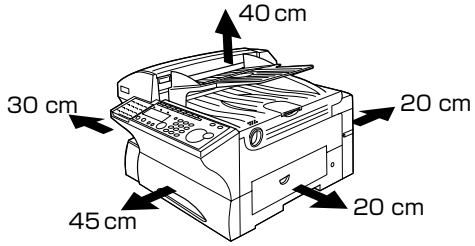
温度変化が大きい場所には設置しない

内部に水滴ができ、誤動作や故障の原因となることがあります。

テレビやラジオなど磁気が発生する場所には設置しない

誤動作の原因となります。

設置スペースを十分に確保する



機械を操作するスペースや、放熱のため十分なスペースを確保して設置してください。

国内でのみ使用する

本機は国内電源仕様になっています。海外ではご使用できません。

動作中は電源を切ったり、カバーを開閉したりしない

動作が中断します。故障の原因になることもあります。

用紙についてのお願い

当社指定の用紙を使う

指定以外の用紙をご使用になり、故障や画質不良が発生した場合の修理は、保証期間内であっても有料となることがあります。

用紙は湿気の少ない場所に保管する

用紙が湿気を含むと、紙づまりや画質不良の原因となります。開封後は用紙の残りを包装紙に包み、キャビネットなどの中や湿気の少ない場所に保管してください。また、用紙は立て掛けずに保管してください。

用紙をセットする前に注意すること

・用紙カセットのサイズと同じサイズの用紙をセットする。
・バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しない。
・折り目、シワの入った用紙を使用しない。
・一度使用した用紙は、使用しない。
・ミシン目、窓穴面、切り口面のバリ等で2枚以上付着している紙などを使用しない。

長時間使用しないときはカセットから取り出す

用紙カセットから抜き取り、包装紙に入れて吸湿しないように保管してください。

ドラムカートリッジ、トナーカートリッジについてのお願い

次のような場所に保管しない

高温多湿の場所・火気のある場所・直射日光のあたる場所・ほこりの多い場所・急激な温度変化のある場所・自動車内での長時間の放置、フロッピーディスク・時計等磁気に弱いものの近く
記録不良の原因となります。また、磁気に弱いものの故障の原因となることがあります。

落としたり投げたりしない

記録不良の原因となります。

包装は、使用するまで開封しない

また、開封済みのドラム／トナーカートリッジを放置しないでください。記録不良の原因となります。

ドラム・トナーカートリッジに水やオイル等がかからないようする

記録不良の原因となります。

ドラム・トナーカートリッジは、水平なところに保管する

立てたり斜めにしないでください。記録不良の原因となります。

ドラムカートリッジの緑色の感光体表面に手を触れたり、傷を付けたりしない

記録不良の原因となります。

済スタンプついてのお願い

スタンプ印面には、手を触れない

インクが手に付きます。また、インクが手に付いたときは、すぐに水で洗ってください。

済スタンプ用印体セットに付属されているピンの先に注意する

ピンの先は鋭くとがっており、けがの原因となります。

法律上の注意

次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています

・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
・未使用の郵便切手や官製ハガキ
・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけられています

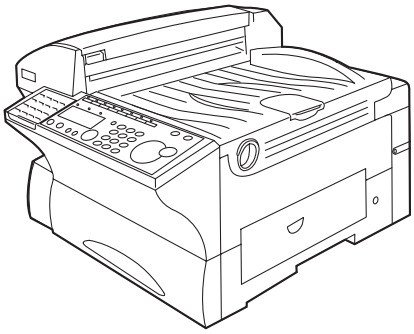
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

著作権の対象となっている著作物は、個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

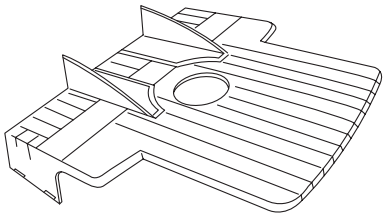
本体と付属品を確認する

以下の内容がそろっているか確認してください。もし、足りないものがありましたら、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご連絡ください。（→裏表紙）

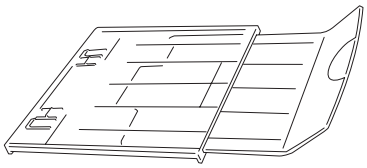
本　体



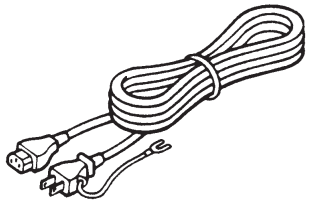
原稿トレイ（1個）



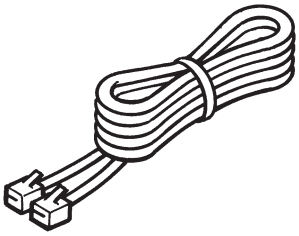
延長用紙トレイ（1個）



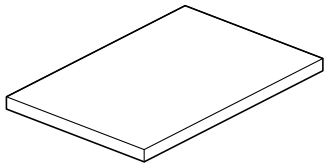
電源コード（1本）



回線コード（1本）

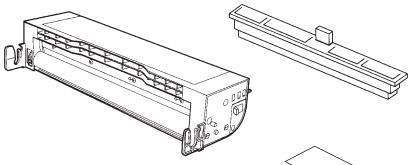


用紙（A4）*



トナーカートリッジ梱包箱内*

トナーカートリッジ　定着クリーナー1本

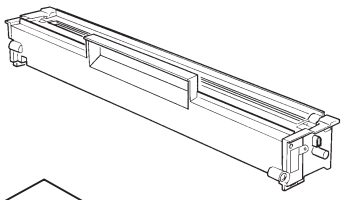


レンズクリーナー

回収案内

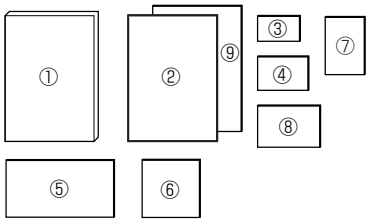
ドラムカートリッジ梱包箱内*

ドラムカートリッジ



回収案内

取説キット



①取扱説明書
②かんたん操作ガイド
③連絡先カード
④カードケース
⑤保証書（梱包箱に貼付）
⑥用紙サイズラベル
⑦ワンタッチ宛名シール
⑧ご愛用スイッチラベル
⑨お問い合わせ先一覧

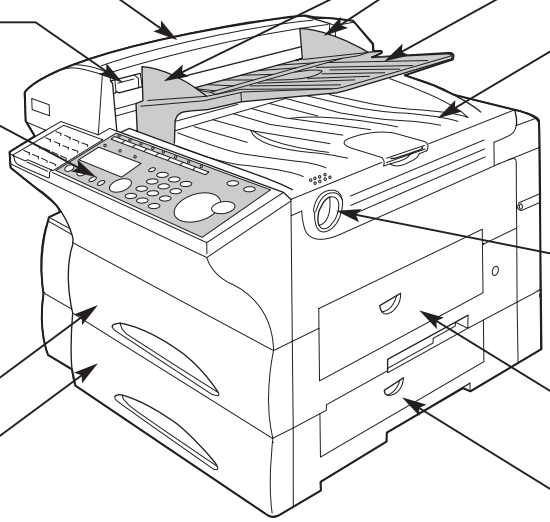
MEMO

- ＊は消耗品です。消耗品やオプション品については「消耗品とオプション品について」172ページを参照して、お買い上げの販売店または当社インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 使用頻度が多いときや長時間使用いただいた場合、ローラーなどの機械部品が耐用限度を超える場合があります。その際、部品交換は消耗品として取り扱いさせていただきます。

第1章 —準　備—

各部の名前と働き ……17
前面と右側面……17
内部……17
背面と左側面……18
操作パネルの名前と働き ……19
接続する・取り付ける ……21
外部電話を接続する……21
回線コードを接続する……21
電源コードを接続する……21
受話器を接続する……22
原稿トレイを取り付ける……22
延長用紙トレイを取り付ける……22
用紙をセットする ……23
記号について……23
用紙について……23
用紙セットの仕方……24
カセットの用紙サイズを変更する ……25
ドラムカートリッジ/トナーカートリッジをセット、交換する……26
機能の呼び出し方 ……29
機能番号を入力して探す……29
カーソルキーを使って探す……29
機能を順番に表示しながら探す……29
お使いになる前の登録 ……30
初期設定……30
受信モードを選ぶ……33
通信回線の見分け方……34

前面と右側面



原稿カバー
原稿がつまったときに開けます。

原稿カバー開放レバー

操作パネル

用紙カセット

オプション用紙カセット

原稿ガイド

原稿トレイ

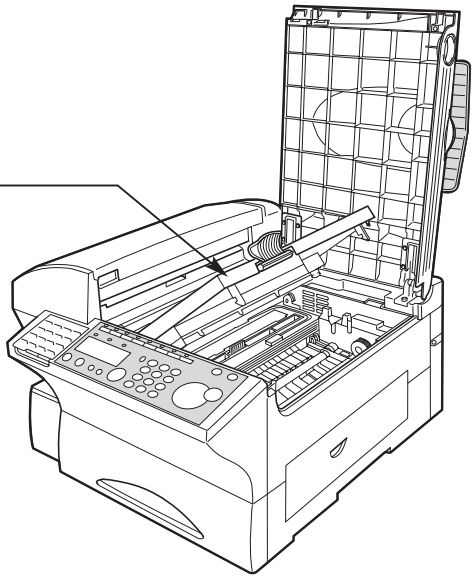
トップカバー
トナーやドラムの交換、用紙づまりの時に開けます。

トップカバー開放部
トップカバーを開けるときに、ここを持って引き上げます。

サイドカバー1
用紙がつまったときに開けます。

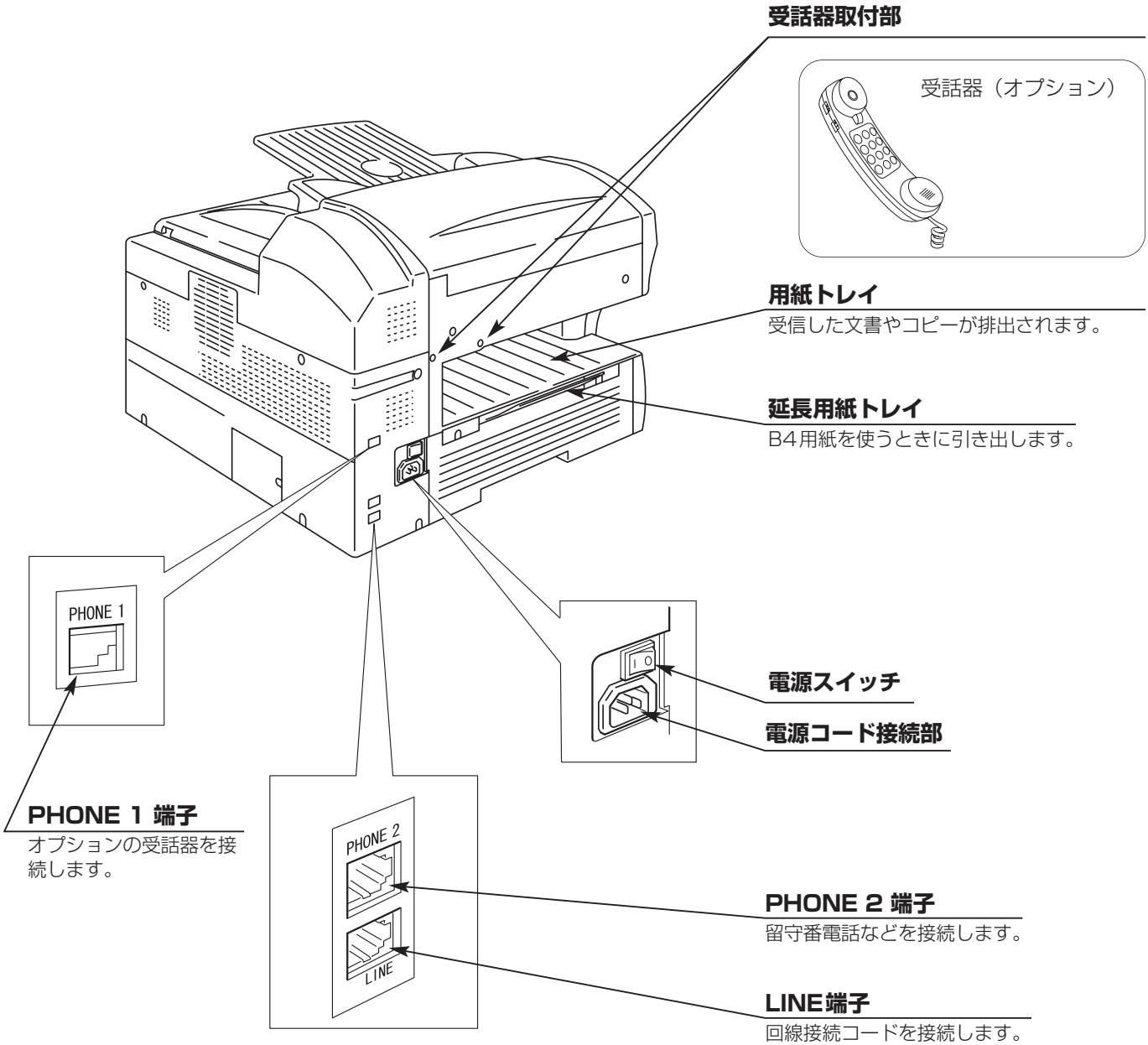
サイドカバー2
用紙がつまったときに開けます。

内　部



プリンターカバー
トナーやドラムカートリッジを交換するとき、内部で用紙がつまったときに開けます。

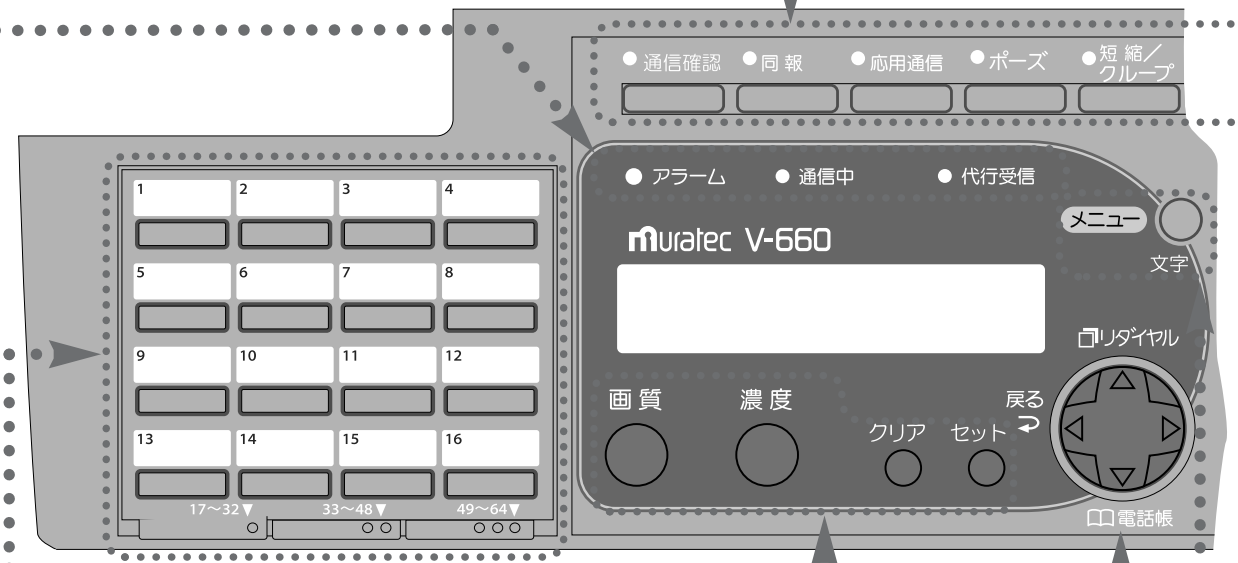
背面と左側面


受話器取付部
受話器（オプション）
用紙トレイ
受信した文書やコピーが排出されます。
延長用紙トレイ
B4用紙を使うときに引き出します。
PHONE 1
電源スイッチ
電源コード接続部
PHONE 1 端子
オプションの受話器を接続します。
PHONE 2
LINE
PHONE 2 端子
留守番電話などを接続します。
LINE端子
回線接続コードを接続します。

操作パネルの名前と働き

ご愛用スイッチキー
よく使用する機能に変更することができます。お買い上げ時は次の機能が割り当てられています。
(→125ページ)

- **通信確認キー**
  通信の予約状況を確認するときに使います。
  (→49ページ)
- **同報キー**
  同報送信をする場合、宛先を区切るときに使います。
  (→46ページ)
- **応用通信キー**
  時刻指定通信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリングをするときに使います。
  (→71, 89, 80, 81ページ)
- **ポーズキー**
  ダイヤルに間隔をあけたいとき使います。
  (→127ページ)
- **短縮/グループキー**
  短縮ダイヤルを使うとき、グループ送信をするときに使います。(→41, 47ページ)



ワンタッチキー
ワンタッチダイヤルやプログラムワンタッチを使うときに押します。
(→109, 117ページ)

アラームランプ
エラーがおきると点灯します。(→149ページ)

通信中ランプ
通信中に点灯または点滅します。
点滅しているときは、読み取りやプリント動作ができません。(→170ページ)

代行受信ランプ
用紙がなくなったときなど、メモリーにデータが入ると点灯します。(→60ページ)

画質キー
送信やコピーの画質を選ぶときに使います。
(→39ページ)

濃度キー
送信やコピーの濃度を選ぶときに使います。
(→39ページ)

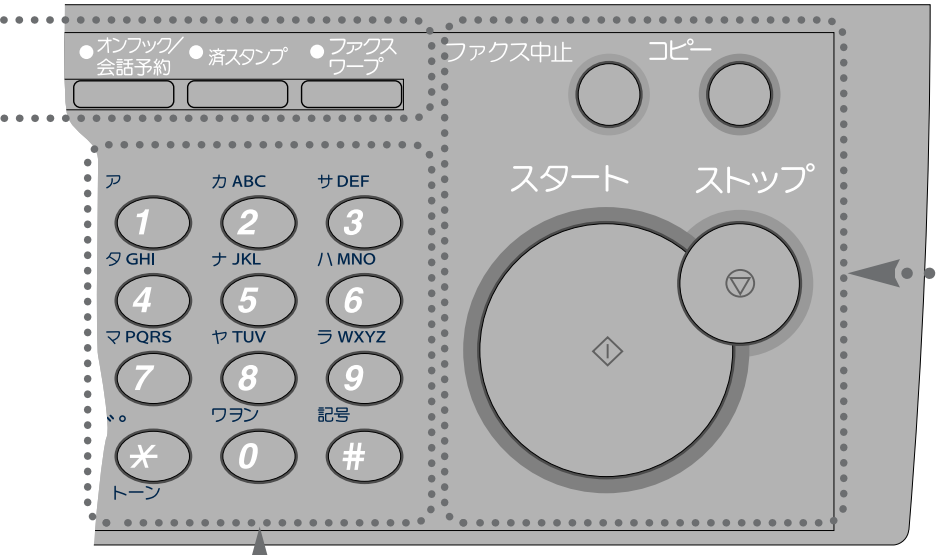
クリアキー
文字や、設定・登録した内容を消去するときに使います。

セットキー
登録された内容や、選択されている項目を決定するときに押します。

・**オンフック/会話予約キー**
受話器を使わずに送信するときや、相手先に着信したことを確認してから送るときに使います。
(→44ページ)
通信中に押すと、通信後に相手先と会話することができます。(→65ページ)
＊受話器はオプションです。(→172ページ)

・**済スタンプキー**
原稿を読み取ったことを示すスタンプを押すときに使います。(→70ページ)

・**ファクスワープキー**
ファクスワープを設定するときに押します。



テンキー
ダイヤルしたり、コピー部数や倍率を指示するときなどに押します。

メニュー/文字キー
機能の設定をするとき、文字を入力するときに使います。(→29,103ページ)

カーソルキー
機能を選択したり、電話帳で宛先を選択したり、リダイヤルの履歴を選択したり、さまざまな場面で使います。(→29, 43, 45ページ)

ファクス中止キー
ファクス通信を中止するときに使います。
(→48ページ)

コピーキー
コピーをするときに使います。(→66ページ)

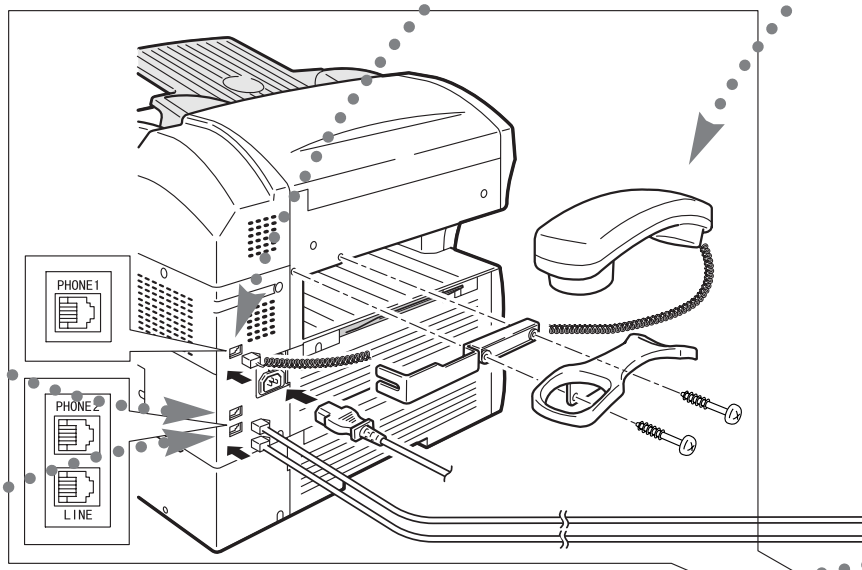
スタートキー
送信や手動受信をするときに使います。
(→40, 58ページ)

ストップキー
動作を中断するときに使います。

接続する・取り付ける

外部電話を接続する

●留守番電話などの外部電話機を、本体の（PHONE2）端子に接続できます。



回線コードを接続する

1. 本体の（LINE）端子へ差し込む

2. 室内の電話コンセントに差し込む

＊回線接続コードは、電話コンセントにカチッと音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。

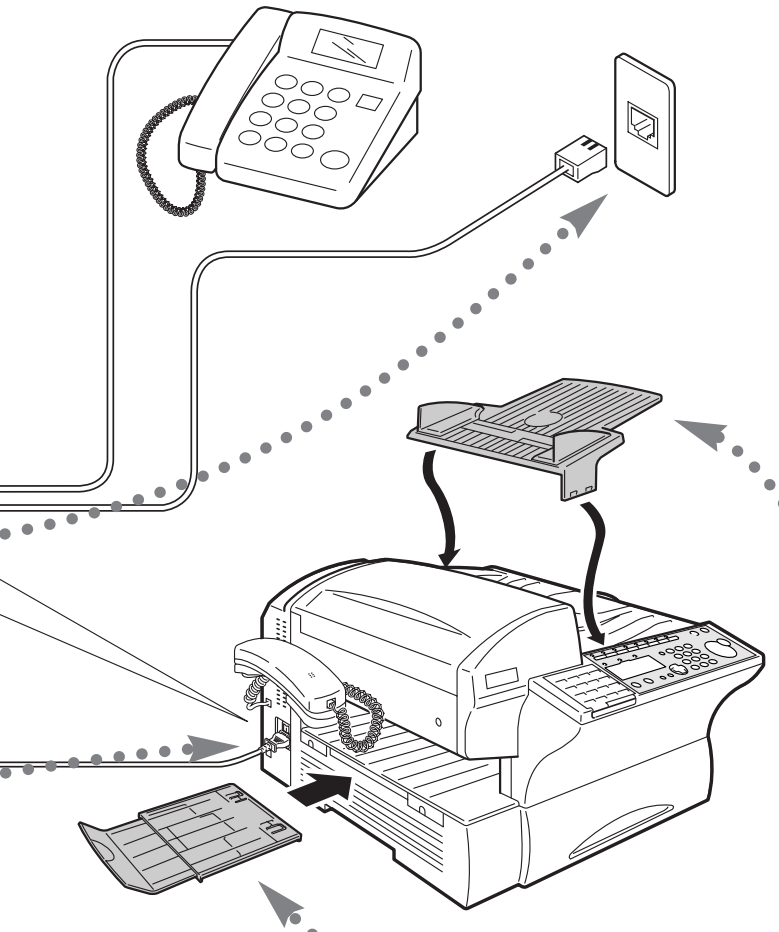
電源コードを接続する

1. 電源コードを、本体左奥の電源接続部に差し込む

2. 設置工事済みの電源コンセントに、電源プラグを差し込む

3. アース線を接続する

＊アース線は、電源プラグを電源コンセントに差し込む前に接続してください。アース線を取り外すときは、先に電源プラグを電源コンセントから外してから行ってください。

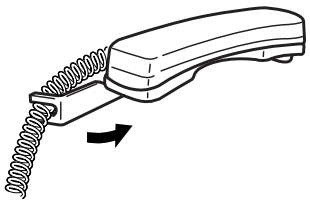


受話器を接続する（オプション品）

1. 電話台とコードホルダーを付属のネジ2本で取り付ける

2. 受話器のカールコードを（PHONE1）端子に差し込む

＊カールコードはコードホルダーにひっかけておいてください。



原稿トレイを取り付ける

●本体の取り付け穴に原稿トレイを差し込む

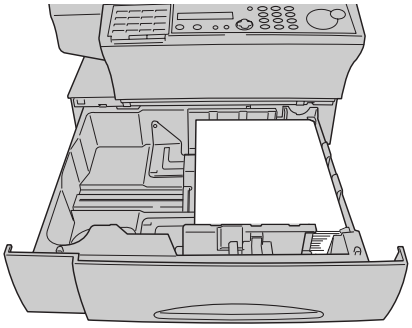
延長用紙トレイを取り付ける

●本体左側面のトレイ挿入口に奥まで差し込む

用紙をセットする

記号について

記号は、用紙を機械正面から見て縦に置くことを表します。



用紙について

●本製品の性能を効果的に活用するためには、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。

セットできる用紙

●市販されている用紙を標準用紙と呼び、弊社推奨の用紙を指定紙と呼びます。標準用紙に印刷する場合には、次の表を参照して規格に合った用紙を使用してください。

●坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。

	用紙サイズ(mm)	坪量	容量
本体カセット (1段目) オプションカセット (2段目)	B4(257x364) A4（210×297） B5 (257×182) A5 (210×148)	60 ～ 78 g/㎡	500枚（指定紙） または 高さ52mm以下

セットできない用紙

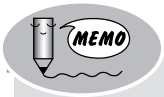
●次のような用紙は、用紙づまり、故障、および装置破損の原因になります。使用しないでください。

・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
・一度印刷された用紙
・しわや折れ、破れがある用紙
・湿っている用紙、ぬれている用紙
・反っている（カールしている）用紙
・静電気で密着している用紙
・張り合わせた用紙、のりが付いた用紙
・紙の表面が特殊コーティングされた用紙
・表面加工したカラー用紙
・150℃の熱で変質するインクを使った用紙
・感熱紙
・カーボン紙
・さら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
・酸性紙を使用した場合は、文字がぼやけて印刷されることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
・ホチキス、クリップ、テープなどが付いた用紙
・台紙全体がラベルなどで覆われていないもの
・特殊紙（OHPフィルム、ラベル用紙、封筒、官製はがきなど）

用紙の保管方法

●適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、用紙づまり、印字品質の低下、および故障の原因になります。用紙は、次の条件を満たす場所に保管してください。

・湿気が少ない場所に保管してください。
・開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気が少ない場所に保管してください。
・用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
・しわ、折れ、カールなどに注意して保管してください。
・直射日光が当たらない場所に保管してください。



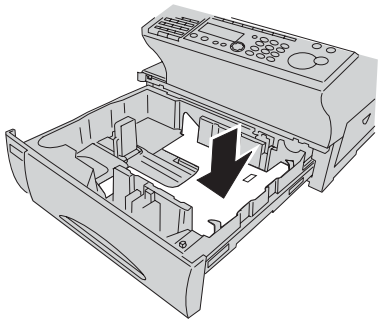
●オプションの給紙ユニットを増設すると、合計約1000枚の用紙をセットできます。（→172ページ）

用紙セットの仕方

●指定紙で約500枚セットできます。

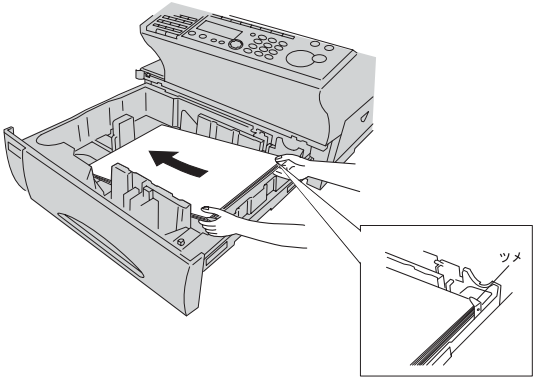
1. カセットを引き出す

2. 底板を"カチッ"と音がするまで押し下げる

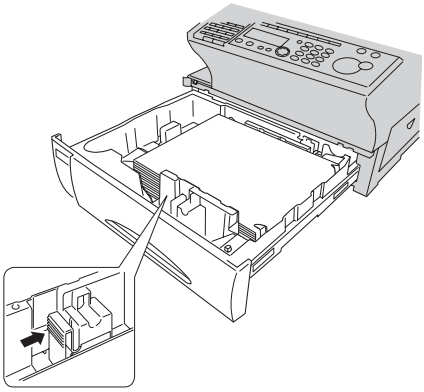


3. 用紙をそろえてセットする

カセット両端のツメが上になるようにセットしてください。用紙目盛りの線を超えた分の用紙は取りのぞいてください。用紙づまりの原因となります。

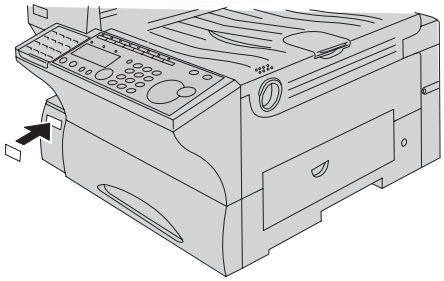


4. 用紙ガイド横を用紙の幅に合わせて調整する



5. カセットを静かに元に戻す

6. セットした用紙サイズに合わせて、カセットに用紙サイズラベルを貼る



7. システム設定にて、カセットにセットした用紙のサイズを選択する（→130ページ）

カセットの用紙サイズを変更する ….

1. カセットを引き出す

用紙がセットされている場合は取りのぞいてください。
底板は上がったままの状態にしておいてください。

2. ①用紙ガイド横をセットしたい用紙の幅に合わせて移動させる

B4、B5⬚をセットするとき：ガイド横を広げる
A4、A5⬚をセットするとき：ガイド横を狭める

②A4、A5⬚用に移動したときはスペーサをカセットの奥側に、B4、B5⬚用に移動したときはスペーサをカセットの手前側に取り付ける

用紙ガイドを固定するため、スペーサを取り付けます。

3. 用紙ガイド後をセットしたい用紙の長さに合わせて移動させる

カセット底のマークに合わせて移動させます。

4. B4、B5⬚、A4をセットするときは調整レバーをHに、A5⬚をセットするときは調整レバーをSに移動させる

用紙ガイド後がB4、B5⬚、A4のとき、底板が下がっていると、調整レバーの移動が固くなります。

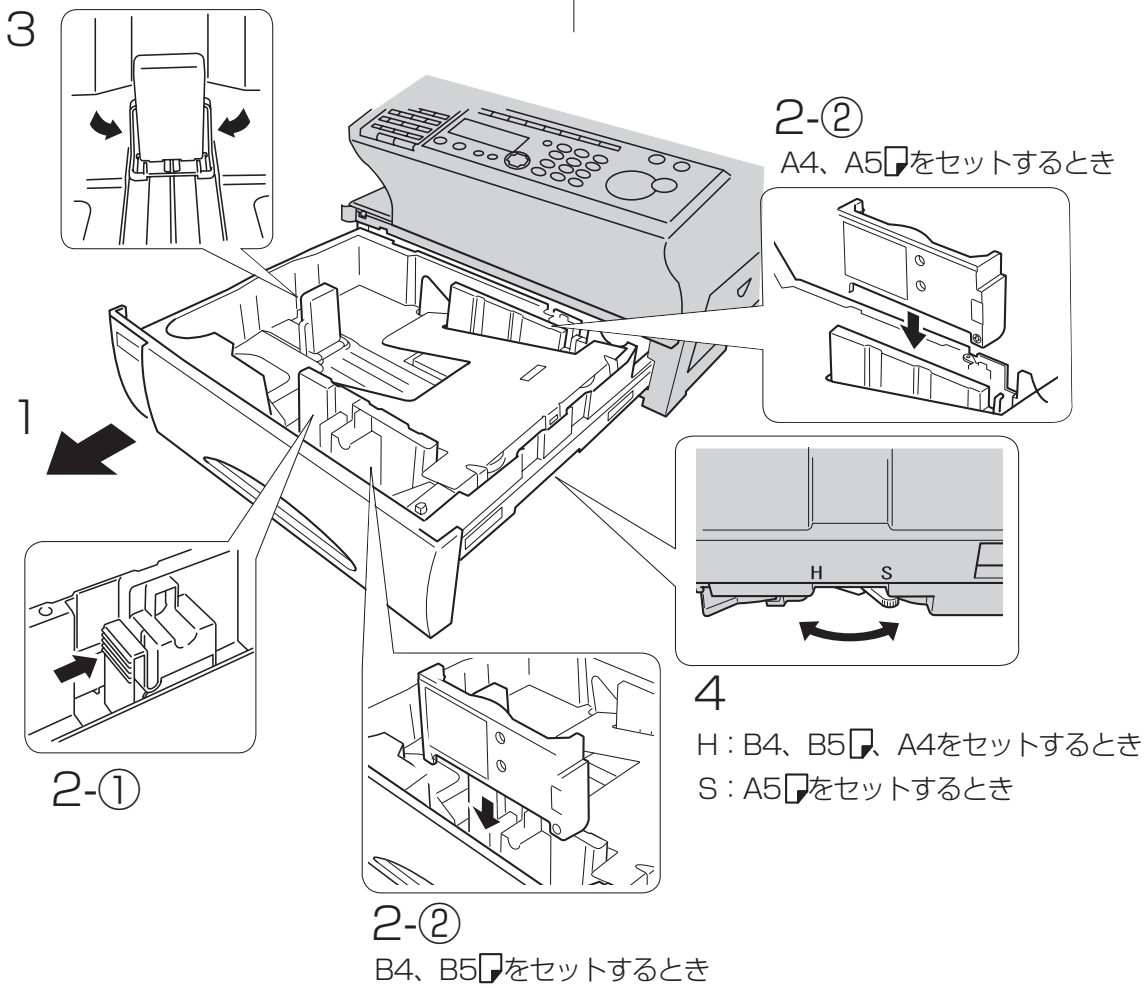
5. 底板を "カチッ" と音がするまで押し下げ、用紙をセットする

6. 用紙ガイド横をセットした用紙の幅に合わせて調節する

7. カセットを静かに元に戻す

8. セットした用紙サイズに合わせて、用紙サイズラベルを貼り替える

9. システム設定にて、カセットにセットした用紙のサイズを選択する（→130ページ）

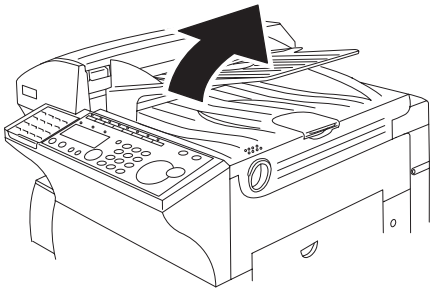


ドラムカートリッジ/トナーカートリッジをセット、交換する

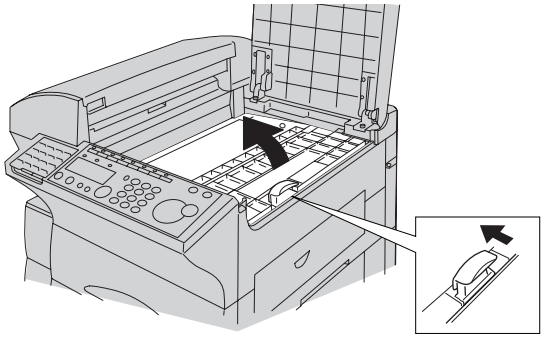
[操作の前に]

- ドラムカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。また、室内の灯りにも5分以上あてないでください。記録が正常にできなくなることがあります。
- ドラム表面には触れないでください。記録が正常にできなくなることがあります。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは取り付ける直前まで、開梱しないでください。

1. トップカバー開放部を引き上げ、トップカバーを開ける



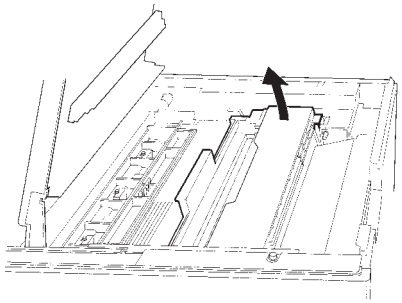
2. プリンターカバーを開ける



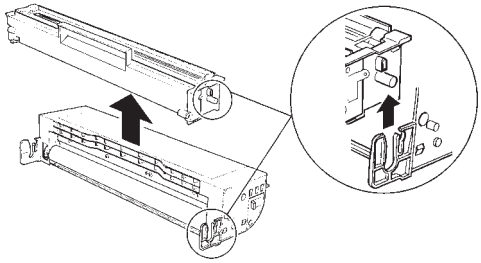
＊セットするときは、手順6に進みます。
＊トナーカートリッジを交換するときは、手順3に進みます。

3. ドラム／トナーカートリッジを取り外す

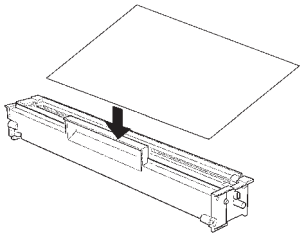
＊ドラム／トナーカートリッジの奥側から取り外します。



4. ドラム／トナーカートリッジを平らな場所に置き、ドラムカートリッジを取り外す

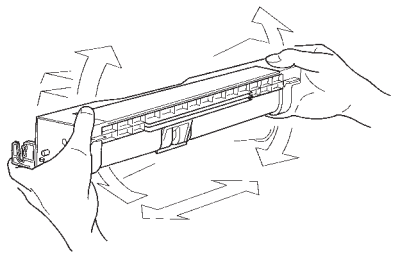


5. ドラムカートリッジの感光体（緑色の箇所）に光が当たらないように、紙、布などでおおう



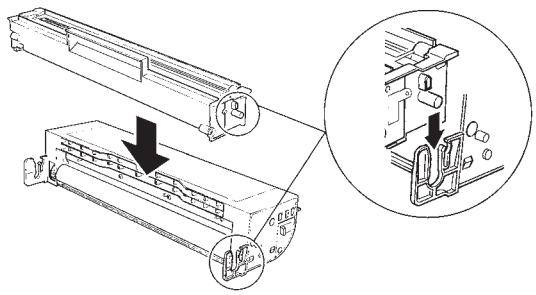
6. トナーカートリッジを振る

＊トナーが均一になるように、左右に軽く振ってください。



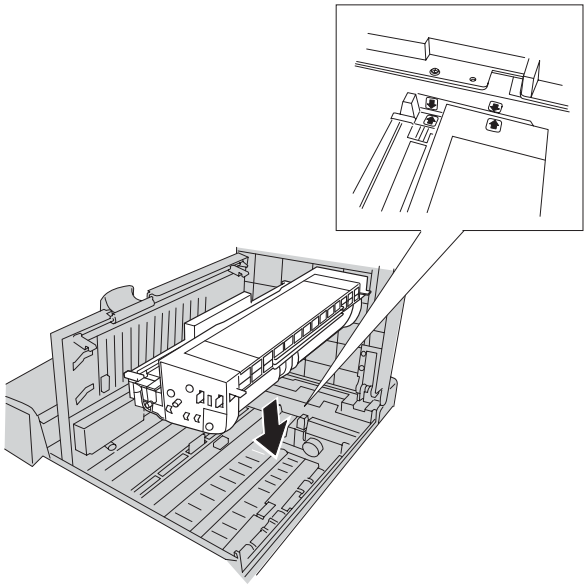
7. ドラムカートリッジをトナーカートリッジにセットする

＊トナーカートリッジの溝にドラムカートリッジをセットします。



8. ドラム／トナーカートリッジを本体にセットする

＊カートリッジの矢印と、本体の矢印が合うようにセットします。



9. セットするとき

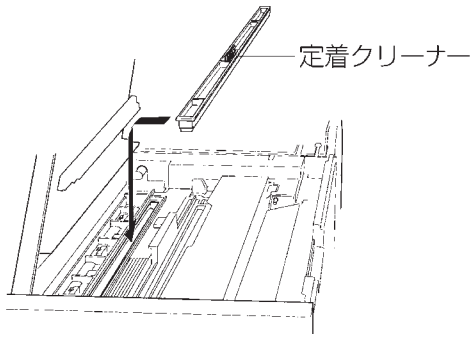
定着クリーナーをセットする

＊手順11に進みます。

トナーカートリッジを交換するとき

定着クリーナーを交換する

＊手順10に進みます。



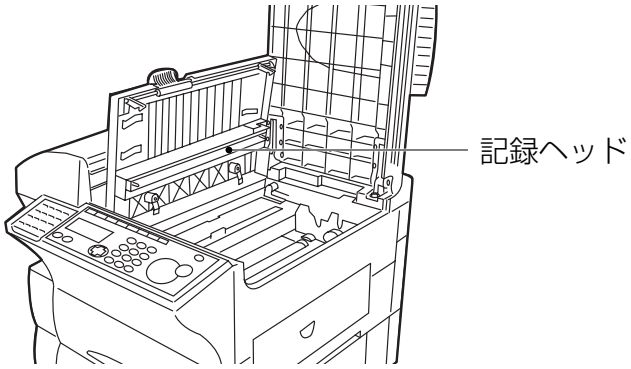
＊定着クリーナーのフェルト部を下にして、定着器にセットします。

＊ドラムカートリッジの感光体部分（緑色のローラ）に、定着クリーナーを置かないでください。

10. 記録ヘッドを清掃する

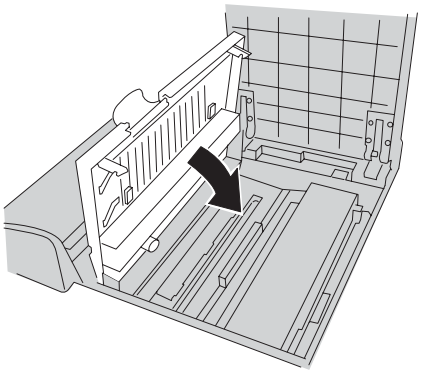
記録ヘッドをトナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで軽くふく

＊清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。



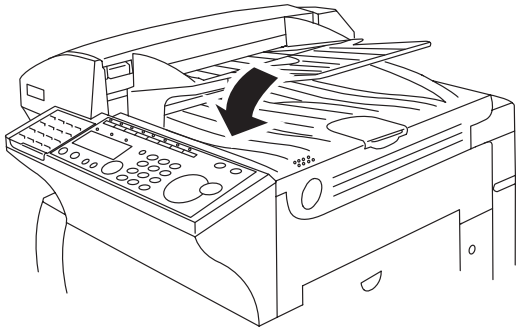
11. プリンターカバーを閉める

＊中央の ⁞⁞ マーク部を押さえて"カチッ"と音がするまで確実に閉めてください。



12. トップカバーをゆっくりと閉める

＊トップカバーの左右を押して、"カチッ"と音がするまで確実に閉めてください。



ドラム／トナーカートリッジの回収および処分について

弊社では、環境保全と再資源化のために、使用済みのトナーカートリッジ／ドラムカートリッジの回収を行っています。

回収方法はトナーカートリッジ／ドラムカートリッジに同梱の「回収案内」をご覧ください。また、廃棄される場合は包装箱やビニール袋にいれて、不燃物として廃棄してください。必ず地域の条例にしたがって廃棄してください。

印字可能枚数について

・トナーカートリッジの印字可能枚数はA4サイズ（印字黒化率5%）で約4000枚です。
・ドラムカートリッジの印字可能枚数はA4サイズ約10000 枚です。

出力可能枚数が少なくなるとメッセージが表示されますので、早めに交換用のドラムカートリッジ、トナーカートリッジをご用意ください。

※トナーカートリッジの印字可能枚数はプリントする内容によって異なります。
※ドラムカートリッジの印字可能枚数は温度、湿度、用紙の種類や、１回のプリント指示でのページ数によって異なります。

機能の呼び出し方

機能の呼び出し方は3つの方法があります。機能の一覧は173～177ページを参照してください。

機能番号を入力して探す

●テンキーを使って、直接目的の機能を表示させます。本書では、この操作方法で説明しています。

1. メニュー 文字 ○を押す

```
[キノウ　センタク]　　No.__
1　オートﾀﾞｲﾔﾙ
```

2. テンキーで目的の機能番号を入れる

```
[キノウ　センタク]　　No.2202
02　ﾎﾟｰｽﾞ　ｼﾞｶﾝ
```

＊機能番号は173～177ページを参照してください。

カーソルキーを使って探す

●カーソルキーを使って、メニューを操作します。

1. メニュー 文字 ○を押す

```
[キノウ　センタク]　　No.__
1　オートﾀﾞｲﾔﾙ
```

2. ↑ ↓ を使い、目的の機能を探す

```
ファクス　セッテイ
02　ﾎﾟｰｽﾞ　ｼﾞｶﾝ
```

機能を順番に表示しながら探す

●すべての機能を順番に表示して、目的の機能を探します。

1. メニュー 文字 ○を押す

```
[キノウ　センタク]　　No.__
1　オートﾀﾞｲﾔﾙ
```

2. もう一度メニュー 文字 ○を押す

```
ワンタッチﾀﾞｲﾔﾙ
 1　ワンタッチﾀﾞｲﾔﾙ　セット
```

3. ↑ ↓ で目的の機能を探す

＊メニュー 文字 ○を押すと、次の機能が表示されます。

＊↓を押しても、↑と同じ動作をします。

```
ワンタッチﾀﾞｲﾔﾙ
 2　ワンタッチﾀﾞｲﾔﾙ　クリア
```

お使いになる前の登録

●本機をご使用いただくために必要な登録を行います。

[操作の前に]

●次の順に登録します。あらかじめ登録する内容を、紙に書き出しておくと便利です。

・時刻	西暦、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。
・受信モード	ご使用に合わせた受信モードを選びます。(→33ページ)
・ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続することもできます。
・通信回線	接続する回線の種類に合わせて設定します。(→34ページ)
・ダイヤルトーン検出	電話回線に接続したときの"ツー"という発信音(ダイヤルトーン)を検出してから発信するかどうかを設定します。
・発信元	発信元名やファクス番号を相手先の記録紙にプリントしますので、受信側はどこから送信された原稿なのかを確認しやすくなります。発信元名・発信元名（カナID）は3種類登録でき、切り替えて使用できます。

・発信元番号　：発信元のファクス番号を20桁まで登録できます。
・発信元名　：半角文字では22文字、全角文字では11文字まで登録できます。(全角文字はコードで入力)
・発信元名（カナID）　：通信中、相手側のディスプレイに表示されます（当社機のみ)。半角文字で16文字まで登録できます。
・標準発信元名　：3種類の発信元名のうち、常に使う標準発信元名をいつも使う発信元名として設定できます。

●すべての登録を終了後、機器設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。(→139ページ)

初期設定

1. メニュー ○→ 文字 ラWXYZ 9 と押す

```
[キノウ　センタク]　　No.9
9　セッチ　モード
```

2. セット ○ を押す

3. ①テンキーで現在の時刻を入力する

```
ケ゛ンサ゛イ　シ゛コク　ヲ　ト゛ウソ゛
　　'04　01／01　00：00
```

現在の入力位置

＊年（西暦2桁)、月（2桁)、日（2桁)、時（24時間制2桁)、分（2桁）の順に入力します。

＊ ◀▲▶▼ で次の数字に移動できます。

② セット ○ を押す

4. ① で受信モードを選ぶ

```
ファクス／ﾃﾞﾝﾜ　タイキ
                ▼／▲／セット
```

＊受信モードの選び方は（→33ページ）
＊ファクスワープ（→74ページ）をONに設定しているとき、「デンワ　タイキ」には設定できません。
＊フォンワープ（→96ページ）をONに設定しているとき、「ファクス／デンワ　タイキ」「デンワ／ファクス　タイキ」以外には設定できません。

② セット を押す

5. ① でON/ OFFを選ぶ

・ON …ナンバー・ディスプレイを利用するとき。
・OFF…ナンバー・ディスプレイを利用しないとき。

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ　　：ＯＦＦ
                ▼／▲／セット
```

② セット を押す

＊OFFを選んだときは、通信回線を選ぶ画面（手順6）になります。

③ONを選択したとき、ナンバー・ディスプレイ対応電話機の接続を設定する

でON/OFFを選ぶ

・ON …ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をPHONE2に接続するとき。
・OFF…接続する電話機が、ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機のとき。または電話機を接続しないとき。

```
ＮＤ　ﾃﾞﾝﾜ　ｾﾂｿﾞｸ　　：ＯＦＦ
                ▼／▲／セット
```

④ セット を押す

6. ① で通信回線を選ぶ

```
ﾀﾞｲﾔﾙ　ﾀｲﾌﾟ　　：２０ｐｐｓ
                ▼／▲／セット
```

＊お使いになっている通信回線の見分け方は（→34ページ）

② セット を押す

7. ① でON/OFFを選ぶ

・ON …ダイヤルトーンを検出するとき。
・OFF…ダイヤルトーンを検出しないとき。

＊内線に接続している場合などで、ダイヤルトーンが発信されない交換機に接続した場合は、OFFを選択します。

```
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ　ｹﾝｼｭﾂ　：ＯＮ
                ▼／▲／セット
```

② セット を押す

8. テンキーで発信元番号を入力する（20桁まで）

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ　ﾌｧｸｽ　ﾊﾞﾝｺﾞｳ
１２３４５６＿
```

＊番号を間違えた場合は、クリア を押して正しい番号を入力し直してください。

② セット を押す

9. テンキーで発信元名を入力する

＊文字の入力方法は（→103ページ）

```
ハッシンモト　メイ　1；カタカナ
（２０５６）（３２３０）ホンシャ
```

＊半角文字は22文字まで、全角文字は11文字まで登録できます。

＊間違えた場合は、クリア を押して入力し直してください。

② セット を押す

10. テンキーでカナIDを入力する

＊文字の入力方法は（→103ページ）

```
カナＩＤ　1　　；カタカナ
カンサイホンシャ
```

＊半角文字（半角アルファベット、数字、半角カタカナ、記号）にて16文字まで登録できます。全角文字は使用できません。

＊間違えた場合は、クリア を押して入力し直してください。

② セット を押す

11. 手順9、10を繰り返し、発信元名2～3・カナID2～3を登録する

＊登録の必要がないときは、何も入力しないで セット を押します。

＊カナID3を登録後、いつも使う発信元名の選択になります。

12. で、いつも使う発信元名を選択する

```
ハッシンモト　センタク　：ハッシンモト1
                    ▼／▲／セット
```

13. セット を押す

＊待機画面に戻ります。

POINT

●操作を中断するときは

・ストップ を押します。

●設定を変更しないで次の項目にしたいときは

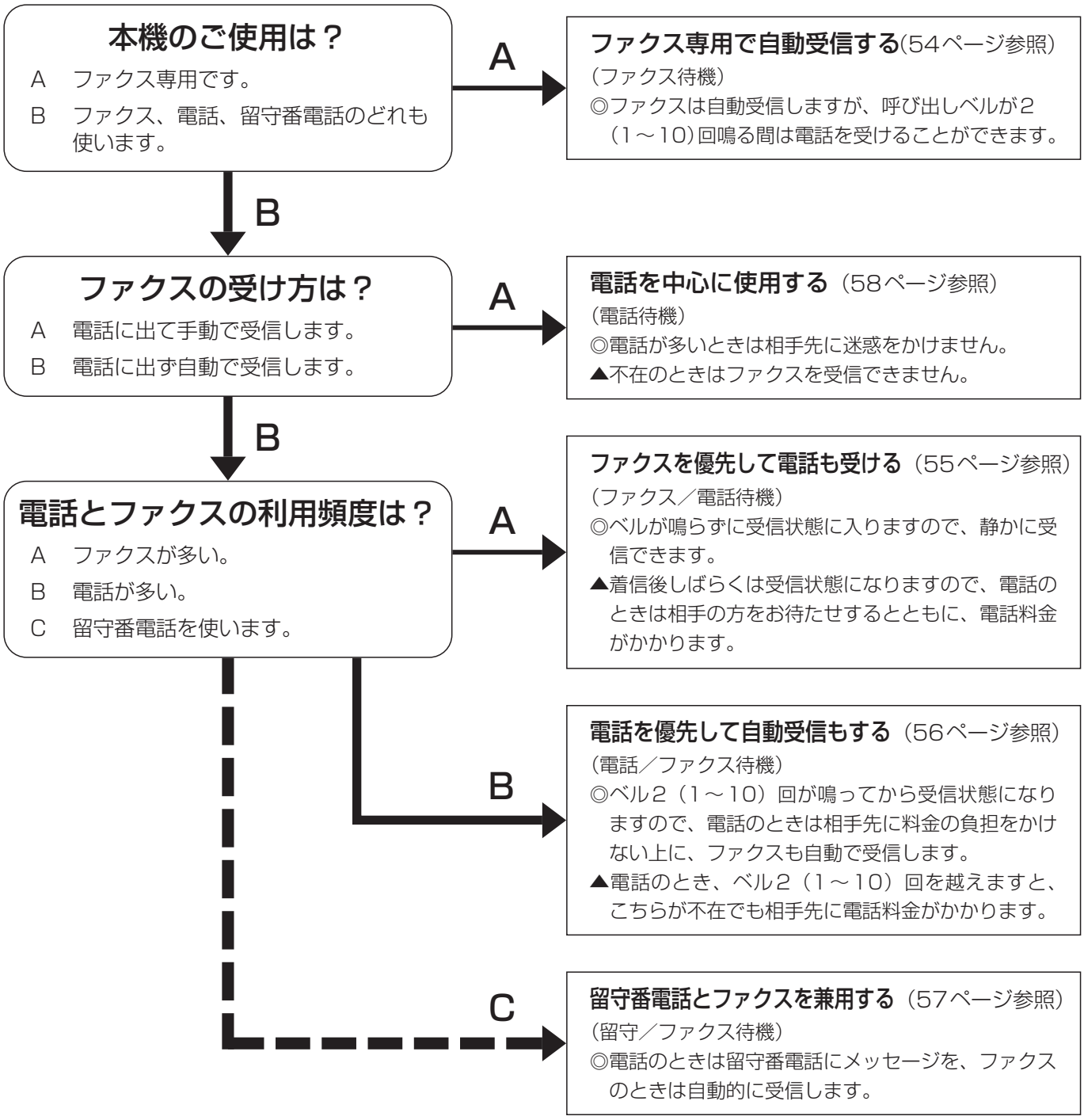
・何も入力しないで セット を押します。

●時計だけ合わせるには

・システム設定内に時刻を設定するメニューがあります。(→131ページ)

受信モードを選ぶ

●ご使用に合わせた受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どの受信モードが最良か選択できるようになっています。
●受話器はオプション品です。（172ページ参照）
●受話器が無いときは、着信するまでのベルは鳴りません。また、電話を受けることもできません。

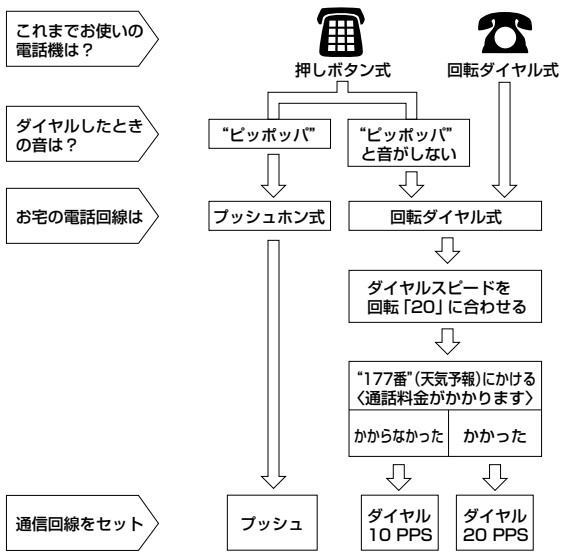


＊ファクスワープ、フォンワープを使用する場合、使用できない組み合わせがあります。

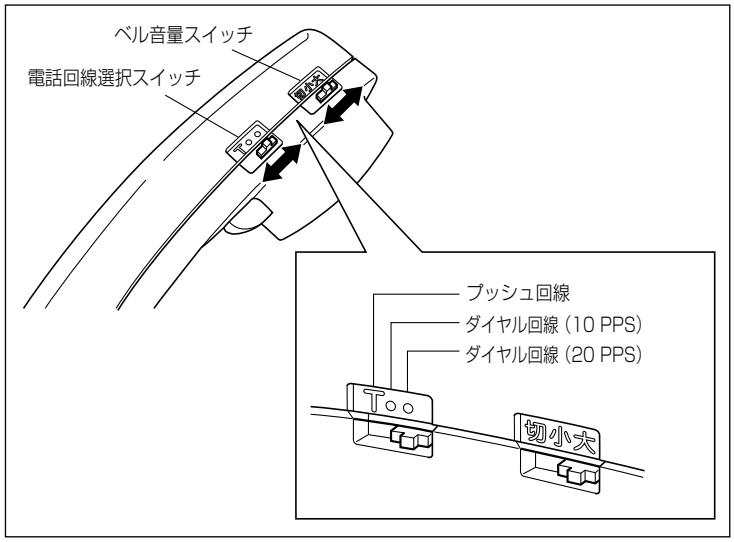
受信モード ＼ ワープ内容	フォンワープ	ファクスワープ
ファクス待機	×	○
ファクス／電話待機	○	○
電話／ファクス待機	○	○
留守／ファクス待機	×	○
電話待機	×	×

○…組み合わせて使用できる
×…組み合わせて使用できない

通信回線の見分け方



※受話器（オプション）の回線の合わせかた



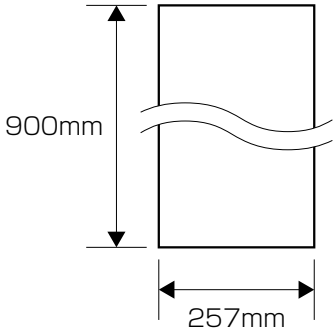
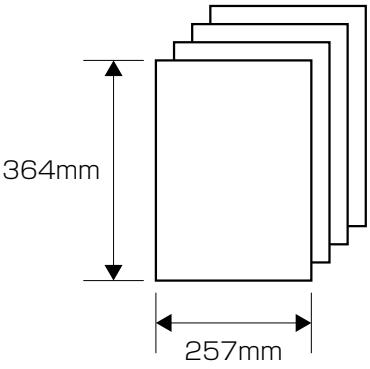
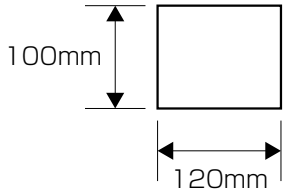
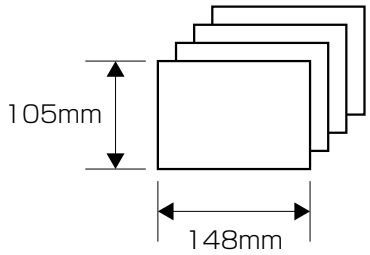
Memo

第2章 ― 基本編 ―

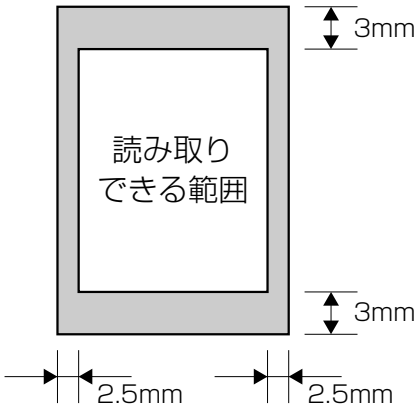
原稿について……37
セットできる原稿 ……37
読み取りできる範囲 ……37
原稿についての注意 ……37
原稿セットの仕方……38
原稿をセットする ……38
記号について ……38
原稿をセットするときの注意 ……38
画質・濃度を選ぶ……39
画質を選ぶ ……39
濃度を選ぶ ……39
ファクスを送信する……40
テンキーで送る ……40
ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで送る ……41
電話帳検索の仕方 ……42
電話帳ダイヤルで送る ……43
相手先を確認してから送る（手動送信） ……44
同じ相手にもう一度送る（リダイヤル） ……45
一度にいろいろな相手に送る（同報送信、グループ送信）……46
複数の相手を選んで送る（同報送信） ……46
グループごとにまとめて送る（グループ送信） ……47
通信を中止する……48
通信を確認する……49
通信予約の確認 ……49
同報送信・グループ送信の宛先別の中止/確認 ……50
通信予約リストのプリント ……51
通信予約原稿のプリント ……51
通信結果の確認 ……52
ファクスを受ける……53
受け方を選ぶ ……53
ファクス待機にセットしているとき ……54
ファクス/電話待機にセットしているとき ……55
電話/ファクス待機にセットしているとき ……56
留守/ファクス待機にセットしているとき ……57
電話待機にセットしているとき ……58
外付けの電話機でファクスを受信する ……59
受信中の動作について……60
受信中の表示 ……60
受信中の動作について ……60
代行受信について ……60
記録の仕方……61
有効記録サイズについて ……61
ページ分割について ……61
受信縮小について ……61
しきい値について ……61
記録の仕方一覧 ……62
電話の仕方……63
電話をかける ……63
電話を受ける ……65
通信の後に相手と話す（会話予約） ……65
コピーの仕方……66
コピーする ……66
ソートコピーを設定する ……67

原稿について

セットできる原稿

	1枚だけセットするとき	複数枚セットするとき
最大		
最小		
一度にセットできる枚数	—	A4サイズ：50枚 B4サイズ：25枚
原稿の紙厚	0.05～0.15mm	0.06～0.13mm

読み取りできる範囲



・上下3mm、左右2.5mmは読み取れません。

・原稿の端に文字を書くと、読み取れないことがあります。

原稿についての注意

●インク、スタンプ、修正液などは完全に乾かしてからセットしてください。

●ホチキス、クリップ、テープなどは取り除いてください。原稿づまりや故障の原因となります。

次のような原稿は複写機でコピーするか、キャリアシート（オプション品）に挟んでからセットしてください。

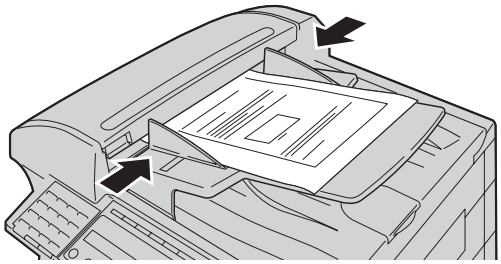
＊複数枚のキャリアシートをセットすることはできません。

原稿の種類	コピー	キャリアシート
紙が厚い原稿（0.15mm以上）	○	×
紙が薄い原稿（0.05mm未満）	○	○
破れている原稿、穴が開いている原稿	○	○
シワやカールが激しい原稿	○	○
静電気で密着した原稿、湿った原稿	○	○
100x120mmよりも小さい原稿	○	○
裏がカーボンになっている原稿	○	○
布地・金属シート	○	×

原稿セットの仕方

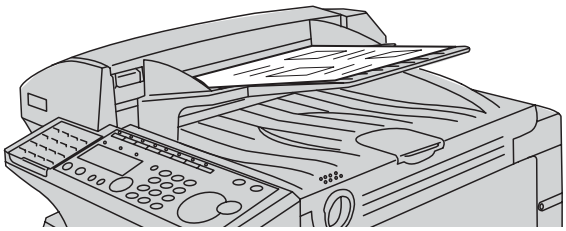
原稿をセットする

1. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



2. 送る面を上向きにして原稿をセットする

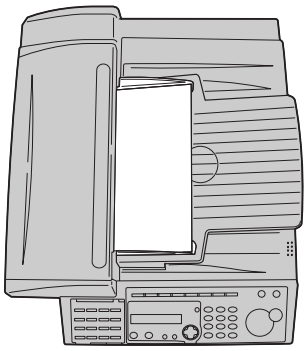
＊軽く突き当たるまで差し込みます。
＊上の原稿から順に読み取られます。



記号について

●記号は、原稿を機械正面から見て縦に置くことを表します。原稿の長辺側から挿入します。

例：B5



原稿をセットするときの注意

原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしない

・縮小されてプリントすることがあります。
・斜行の原因になります。

サイズが異なる原稿を一緒にセットしない

・不必要に縮小されてプリントされることがあります。
・原稿づまりの原因になります。
・斜行の原因になります。

原稿読み取り中に新しい原稿を追加しない

・原稿づまりの原因になります。

原稿排出口に、読み取り済みの原稿を溜めすぎない

・排出口での原稿づまりの原因になります。（A4サイズで50枚まで）

画質・濃度を選ぶ

●原稿の文字の大きさや濃さに合わせて、画質や濃度を選びます。

画質を選ぶ

1. 画質 ◯ **を押す**

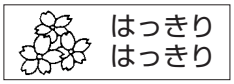
現在設定されている画質を表示します。

2. 画質 ◯ **または** ◯ **を押して画質を選ぶ**

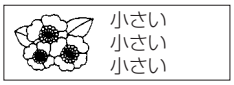
＊3秒間キーの入力がなければ、画質を選ぶ前の表示に戻ります。

```
カﾞシツ　セット
　← ヒョウシﾞュン　→
```
▼
```
カﾞシツ　セット
　← コウカﾞシツ　→
```
▼
```
カﾞシツ　セット
　← チョウコウカﾞシツ　→
```
▼
```
カﾞシツ　セット
　← シャシン　→
```

大きくはっきり見える文字のとき



小さな文字のとき



細かい線を使った図面や、辞書のような細かい文字のとき

濃淡のある原稿や、写真のとき

濃度を選ぶ

●3段階から濃度を選びます。

コク･･･濃く読み取りたいとき

フツウ

ウスク･･薄く読み取りたいとき

1. 濃度 ◯ **を押す**

現在設定されている濃度を表示します。

2. 濃度 ◯ **または** ◯ **を押して画質を選ぶ**

＊3秒間キーの入力がなければ、濃度を選ぶ前の表示に戻ります。

```
ノウトﾞ　セット
　ウスク　◁・❙・▶　コク
```

読み取り濃度を表します。左に行くと薄くなり、右に行くと濃くなります。

●画質、濃度の初期値を設定するには

・システム設定の「スキャナパラメーター」（→130ページ）で設定します。

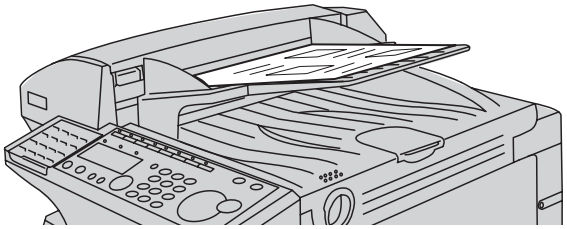
●標準から写真になるほど通信時間が長くなります。

●読み取り中に画質や濃度を変えると、次の原稿から画質・濃度が変わります。

テンキーで送る

●テンキーを使って直接相手先を入力する方法です。

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

3. テンキーで相手先のファクス番号を入力する

＊40桁まで入力できます。
＊ポーズなどのダイヤル記号も入力できます。（→127ページ）
＊番号を間違えたときは、クリア を押して入力し直します。

```
スタートキー　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0＿
```

4. スタート を押す

```
==　ヨヤク　ﾊﾞﾝｺﾞｳ：01　==
```

＊予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

▼

```
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
A 4　　ヒョウｼﾞｭﾝ
```

＊送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

POINT

●送信を途中で止めるには

・原稿読み取り中は ストップ を押します。
・送信中は ファクス中止 を押します。（→48ページ）

●送信中の文書を確認するには（→49ページ）

●続けて送信したいときは

・原稿読み取り後、続けて送信できます。現在の送信の次に送信が始まります。
・送信は30件まで予約できます。
・増設メモリー（オプション品）装着時は99件まで予約できます。

●相手先が話し中のときは

・自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1分間隔で5回自動的に再ダイヤルします。
・自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。（→133ページ）

●送信後、「ツウシン　エラー」と表示されたときは（→149ページ）

MEMO

●送信中の表示について

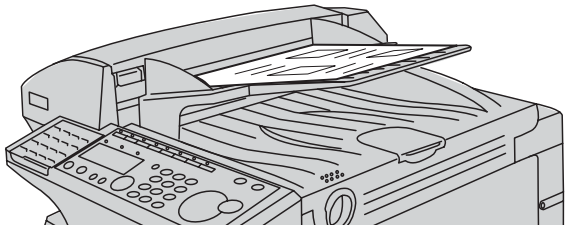
送信中、ディスプレイ上段には相手が登録している発信元名が表示されます。相手が何も登録していない場合は、入力した番号が表示されます。

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで送る

[操作の前に]

●あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに相手先を登録しておいてください。(→109,112ページ)
●ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルは使用できません。(→125ページ)

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

ワンタッチダイヤルで指定するとき

3. ①ワンタッチダイヤル（01～60）を押す

```
キョウト　シテン
[ 0 1 ]__
```

＊ワンタッチダイヤルに登録されている相手先名が表示されます。

短縮ダイヤルで指定するとき

① •短縮/グループ を押す

②テンキーで短縮番号（1～140）を選ぶ

```
キョウト　シテン
S 1__
```

＊短縮ダイヤルに登録されている相手先名が表示されます。

4. スタート を押す

```
==　ヨヤク　ﾊﾞﾝｺﾞｳ：0 1　==
```

＊予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

```
キョウト　シテン
A 4　　ヒョウｼﾞｭﾝ
```

＊送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

●送信を途中で止めるには

・原稿読み取り中は ストップ を押します。
・送信中は ファクス中止 を押します。(→48ページ)

●送信中の文書を確認するには（→49ページ）

●続けて送信したいときは

・原稿読み取り後、続けて送信操作を行います。現在の送信の次に送信が始まります。
・送信は30件まで予約できます。
・増設メモリー（オプション品）装着時は99件まで予約できます。

●相手先が話し中のときは

・自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1分間隔で5回自動的に再ダイヤルします。
・自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。(→133ページ)

●送信後、「ツウシン　エラー」と表示されたときは（→149ページ）

●送信中の表示について

送信中、ディスプレイ上段には相手が登録している発信元名が表示されます。相手が何も登録していない場合は、登録した番号が表示されます。

電話帳検索の仕方

［操作の前に］

●あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに相手先を登録しておいてください。(→109,112ページ)

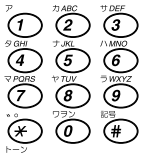
1. を押す

電話帳

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ                    :S009
```

2. テンキーで、相手先名の頭文字の段を表示させる

＊相手先名の先頭が記号のときは、 (＊) または (#) を押すと、表示されます。



```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ                    :S009
```

▼

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ｶ]
ｶﾝｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ               :S003
```

▼

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ｻ]
ｻｰﾋﾞｽ ｾﾝﾀｰ                :[07]
```

.
.
.
.

＊(メニュー) ○(文字) を押して、モードを切り替えることができます。

カナモード：［ ］内にカタカナが表示されているとき

英数モード：［ ］内にアルファベットが表示されているとき

3. で、相手先名を表示させる

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ｻ]
ｻｰﾋﾞｽ ｾﾝﾀｰ                :[07]
```

▼

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ｼ]
ｼｻﾞｲﾌﾞ                    :S001
```

▼

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ｽ]
ｽｲｼﾝﾌﾞ                    :[08]
```

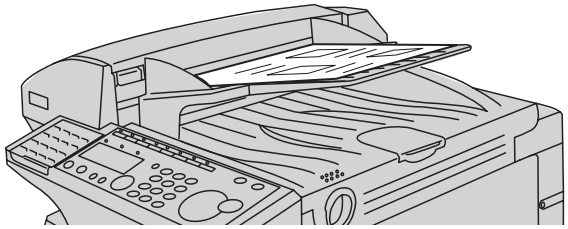
.
.
.
.

電話帳ダイヤルで送る

[操作の前に]

●あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに相手先名を登録しておいてください。(109,112ページ)

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

3. を押す

電話帳

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ A ]
ABC                        :[ 01 ]
```

4. またはテンキーで相手先を選ぶ (→42ページ)

＊テンキーで相手先を選ぶとき、メニュー 文字 を押してモードを切り替えることができます。

カナモード：[ ] 内にカタカナが表示されているとき

英数モード：[ ] 内にアルファベットが表示されているとき

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                    [ J ]
JAPAN                      :S123
```

5. スタート を押す

```
==  ヨヤク  ﾊﾞﾝｺﾞｳ：01  ==
```

＊予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

```
JAPAN
A4      ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

＊送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

＊相手先名を登録しているときは、ディスプレイ上段に相手先名が表示されます。

POINT

●電話帳検索の仕方は（→42ページ）

●送信を途中で止めるには

・原稿読み取り中は ストップ を押します。

・送信中は ファクス中止 を押します。(→48ページ)

●送信中の文書を確認するには（→49ページ）

●続けて送信したいときは

・原稿読み取り後、続けて送信操作を行います。現在の送信の次に送信が始まります。

・送信は30件まで予約できます。

・増設メモリー（オプション品）装着時は99件まで予約できます。

●相手先が話し中のときは

・自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1分間隔で5回自動的に再ダイヤルします。

・自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。(→133ページ)

●送信後、「ツウシン　エラー」と表示されたときは（→149ページ）

MEMO

●送信中の表示について

送信中、ディスプレイ上段には相手が登録している発信元名が表示されます。相手が何も登録していない場合は、登録した番号が表示されます。

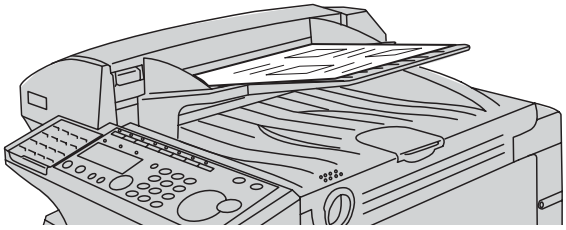
相手先を確認してから送る（手動送信）

●相手が手動受信の場合や、会話の後で送信する方法です。

［操作の前に］

●受話器を使って送信するときは、オプションの受話器が必要です。(→172ページ)
●ご愛用スイッチの設定にて「オンフック／会話予約」を削除すると、手動送信はできません。(→125ページ)

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

3. •オンフック/会話予約 を押す（または受話器を上げる）

＊「ツー」という発信音を確認します。

4. 相手先へダイヤルする

＊受話器を使っている場合は、ファクスを送ることを伝えます。

5.「ピープルプル」と音が聞こえたら、スタート を押す

＊送信が始まります。
＊受話器を使った場合は、受話器を戻します。

POINT

● •オンフック/会話予約 を押したときの音量を変えるには（ボリューム調整）

・音量は大/中/小/切(無音)の４段階から選べます。（初期値 中）
・アラーム音や、キーを押したときの音は調整できません。

1. •オンフック/会話予約 を押す

2. で音量を選ぶ

```
＊＊ ﾃﾞﾝﾜ ＊＊
ﾎﾞﾘｭｰﾑ：▂▃▅▇
```

＊「ボリューム：」の右側は音量を表示しています。

3. 操作をやめ、しばらくするとボリュームの表示が消える

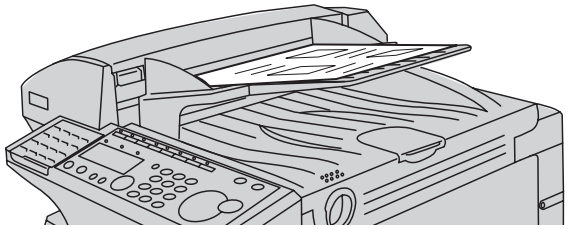
MEMO

● スタート を押す前に、受話器を戻すと電話が切れてしまいます。

同じ相手にもう一度送る（リダイヤル）

●ファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. 画質 ◯　濃度 ◯ を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

3. リダイヤル を押す

```
リダ゛イヤル　リレキ
0：1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
```

4. を押して相手先を選ぶ

```
リダ゛イヤル　リレキ
2：1 2 3 4 4 4 7 8 9 0
```

＊ リダイヤル を押すごとに、2つ前、3つ前というようにさかのぼって、10件分までの電話番号が表示されます。

5. スタート を押す

```
==　ヨヤク　ハ゛ンコ゛ウ：0 1　==
```

＊予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

▼

```
1 2 3 4 4 4 7 8 9 0
A 4　　ヒョウジ゛ュン
```

＊送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

MEMO

●リダイヤルは1件につき40桁までのダイヤルを記憶しています。
●リダイヤルは、本体のテンキー・ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・電話帳ダイヤルでファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。受話器のテンキーで電話をかけた場合は記憶しません。

一度にいろいろな相手に送る……

（同報送信、グループ送信）

●複数の相手に一度の操作で送信できます。相手先ごとに繰り返して送信する手間が省けます。

複数の相手を選んで送る（同報送信）

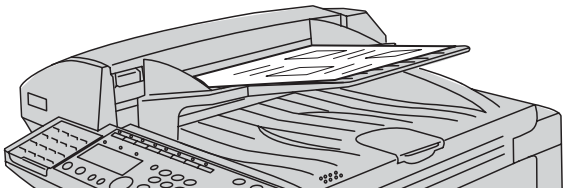
●ワンタッチダイヤル（60カ所）、短縮ダイヤル（140カ所）、テンキー（20カ所）を組み合わせると、最大220カ所まで指定できます。グループも組み合わせることができます。

［操作の前に］

●あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループに相手先を登録しておいてください。（→109,112,115ページ）

●ご愛用スイッチキーの設定にて「同報」を削除すると、テンキーで指定できる宛先は、最初の1宛先のみです。（125ページ）

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. ① 画質 ◯ 濃度 ◯ を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

3. •同報 ▭ を押す

アイテサキ　ﾊﾞﾝｺﾞｳ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ ＿

4. 相手先を選ぶ

キョウト　シテン S 1 ＿

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループを使用できます。

＊電話帳で入力するときは、相手先を選択後 セット ◯ を押します。

＊番号を間違えたときは クリア ◯ を押して入力し直します。

5. 手順3～4を繰り返し、複数の相手先を入力する

6. スタート ◯ を押す

==　ヨヤク　ﾊﾞﾝｺﾞｳ：01　==

＊予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

▼

キョウト　シテン A 4　　ヒョウｼﾞｭﾝ

＊送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

＊入力した相手先に次々と送信します。

POINT

●送信を途中で止めるには

・原稿読み取り中は ストップ ◯ を押します。

・送信中は ファクス中止 ◯ を押します。（→48ページ）

・相手先ごとに送信を止めることができます。

●送信中の文書を確認するには（→49ページ）

●相手先が話し中のときは

・話し中の相手先は自動リダイヤル待ちになり、次の相手先の送信になります。自動リダイヤルは、1分間隔で5回自動的に再ダイヤルします。

・自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。（→133ページ）

●送信後、「ツウシン　エラー」と表示されたときは（→149ページ）

MEMO

● •同報 ▭ を押した後に相手先を選ぶとき、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使う場合は、次の相手先を選ぶとき •同報 ▭ を押さなくても次々と相手先を入力できます。

グループごとにまとめて送る（グループ送信）

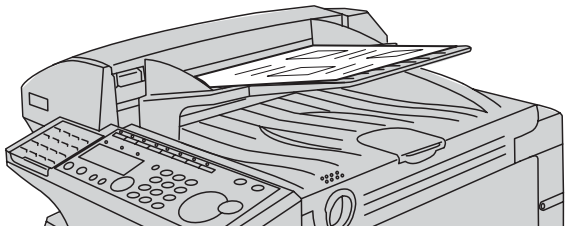
●複数の相手先を１つのグループに登録すると、そのグループを入力するだけで複数の相手先に送信できます。

［操作の前に］

●あらかじめグループを登録しておいてください。（→115ページ）

●ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、グループ送信はできません。（→125ページ）

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. ① 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

3. •短縮/グループ を2回押す

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ﾄﾞｳｿﾞ
G__
```

4. テンキーでグループ番号（0～32）を入力する

＊グループ全てに送信するときは、「0」を入力します。複数のグループを入力する場合は、手順3～4を繰り返してグループを入力します。

```
スタートキー ヲ ﾄﾞｳｿﾞ
G1__
```

5. スタート を押す

```
== ヨヤク ﾊﾞﾝｺﾞｳ：01 ==
```

＊予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

▼

```
ホクリクシテン
A4 ヒョウｼﾞｭﾝ
```

＊送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

＊グループに登録した相手先に次々と送信します。

POINT

●全てのグループに送るには

・グループ0を入力します

●送信を途中で止めるには

・原稿読み取り中は ストップ を押します。

・送信中は ファクス中止 を押します。（→48ページ）

・グループに登録した相手先ごとに、送信を止めることができます。（そのグループを送信しているとき）

●送信中の文書を確認するには（→49ページ）

●相手先が話し中のときは

・話し中の相手先は自動リダイヤル待ちになり、次の相手先の送信になります。自動リダイヤルは、１分間隔で５回自動的に再ダイヤルします。

・自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。（→133ページ）

●送信後、「ツウシン エラー」と表示されたときは（→149ページ）

通信を中止する

●現在通信している文書や、リダイヤル待ちなどで次に送信される予約文書を消去するには、次の操作を行います。

通信中の文書があるとき

1. ファクス中止 **を押す**

```
ファクス　ヲ　チュウシ　シマスカ？
スル　　→　ファクスチュウシキー
```

▼ ▲

```
ファクス　ヲ　チュウシ　シマスカ？
シナイ　→　ストップ゛　　キー
```

＊交互に表示します。

2. **もう一度** ファクス中止 **を押す**

＊ ストップ を押すと、操作を中止します。

3. **次の表示を数秒した後、待機画面に戻る**

```
ファクス　ヲ　チュウシ　シマスカ？
　＊＊　　クリア　カンリョウ　　＊＊
```

＊通信が中止されます。

通信中の文書がないとき

1. ファクス中止 **を押す**

＊予約文書がない場合は「ツウシンマチ　アリマセン」と表示されます。

```
ファクスチュウノ　コマンド゛　アリマセン
ヨヤクチュウシ　スル　　→　セットキー
```

▼ ▲

```
ファクスチュウノ　コマンド゛　アリマセン
ヨヤクチュウシ　シナイ　→　クリアキー
```

＊交互に表示します。

＊ クリア を押すと、操作を中止します。

2. セット **を押す**

```
Ｃ０１：［０１］　キョウトシテン
　　▼／▲／▶／クリア
```

3. **で通信予約を確認する**

```
Ｃ０２：Ｓ００２　シコクシテン
　　▼／▲／▶／クリア
```

▼

```
Ｃ０１：［０１］　キョウトシテン
　　▼／▲／▶／クリア
```

＊ は同報送信、グループ送信を中止するときに使用します。

4. **①予約を取り消す場合は、** クリア **を押す**

```
Ｃ０２：Ｓ００２　シコクシテン
スル　　→　クリア　キー
```

▼ ▲

```
Ｃ０２：Ｓ００２　シコクシテン
シナイ　→　モド゛ルキー
```

＊交互に表示します。

＊ 戻る を押すと、手順3の画面になります。

②中止してよければ、もう一度 クリア **を押す**

```
Ｃ０２：Ｓ００２　シコクシテン
　＊＊　　クリア　カンリョウ　　＊＊
```

③次の通信予約が表示される

```
Ｃ０１：［０１］　キョウトシテン
　　▼／▲／▶／クリア
```

5. ストップ **を押すと待機画面に戻る**

通信を確認する

●原稿が読み取られた後の状態（通信予約文書）を確認したいときは、次の操作をします。また、通信予約されている文書をプリントしたり、予約リストをプリントしたり、1通信ごとの結果を確認したりすることもできます。

通信予約の確認

［操作の前に］

●ご愛用スイッチキーの設定にて「通信確認」を削除すると、通信予約を確認できません。（→125ページ）

例：以下の通信が予約されている場合

内　容	状　態
［01］　（ワンタッチ01）	通信待ち
S002　（短縮002）	通信中
1234567	通信待ち

1. •通信確認 → ◎ と押す

```
ヨヤク　カクニン
                ▼／▲／セット
```

2. セット ○ を押す

現在通信中の文書が表示されます。

```
C02：S002　シコクシテン
▲　　▲　　▼／▲／▶／クリア
```

相手先番号
[01]　：ワンタッチダイヤル
S007　：短縮ダイヤル
G03　：グループダイヤル
ドウホウ：同報通信

通信予約番号

3. ◎ で通信予約を確認する

```
C02：S002　シコクシテン
                ▼／▲／▶／クリア
```
▼
```
C01：［01］　キョウトシテン
                ▼／▲／▶／クリア
```
▼
```
C03：1234567
                ▼／▲／▶／クリア
```

4. ①予約を取り消す場合は、クリア ○ を押す

```
C02：S002　シコクシテン
スル　　→　クリア　キー
```
▼ ▲
```
C02：S002　シコクシテン
シナイ　→　モド゛ルキー
```

＊交互に表示します。

＊ 戻る ◎ を押すと、手順3の画面になります。

②中止してよければ、もう一度クリア ○ を押す

```
C02：S002　シコクシテン
 ＊＊　　クリア　カンリョウ　　＊＊
```

③次の通信予約が表示される

```
C01：［01］　キョウトシテン
                ▼／▲／▶／クリア
```

5. ストップ ◎ を押すと待機画面に戻る

MEMO

●表示の順番は
①通信中の文書
②通信待ちの予約番号
の順に表示されます。

同報送信・グループ送信の宛先別の中止／確認

●同報送信のときは、同報宛先を確認したり、宛先を個別に消去したりすることができます。
●グループ送信が行われているときは、グループに登録されている宛先を個別に消去できます。（ドウホウと表示されます。）
●グループ送信が行われていないときは、宛先を個別に消去できません。

1. •通信確認 → ◎ と押す

```
ヨヤク　カクニン
                ▼／▲／セット
```

2. セット ○ を押す

現在通信中の文書が表示されます。

3. ◎ で同報送信（ドウホウ）を選択する

```
C02：S002
                ▼／▲／▶／クリア
```

▼

```
C03：ﾄﾞｳﾎｳ
                ▼／▲／▶／クリア
```

送信を中止する

4. ① クリア ○ を押す

```
C03：ﾄﾞｳﾎｳ
ｽﾙ　　→　ｸﾘｱ　ｷｰ
```

▼ ▲

```
C03：ﾄﾞｳﾎｳ
ｼﾅｲ　→　ﾓﾄﾞﾙｷｰ
```

＊交互に表示します。

②中止して良い場合は、もう一度 クリア ○ を押す

```
C03：ﾄﾞｳﾎｳ
 ＊＊　　ｸﾘｱ　ｶﾝﾘｮｳ　　＊＊
```

＊中止しない場合は、戻る ◎ を押すと手順3の画面になります。

③次の通信予約が表示される

宛先を個別に中止する

4. ① ◎ を押す

＊現在通信中の宛先が表示されます。

```
[ 01 ]　ｷｮｳﾄｼﾃﾝ
                ▼／▲／◀／クリア
```

②◎ で中止したい宛先を選択する

```
[ 03 ]　ﾄｳｷｮｳﾎﾝｼｬ
                ▼／▲／◀／クリア
```

＊戻る ◎ を押すと、手順3の画面になります。

③予約を取り消す場合は、クリア ○ を押す

```
[ 03 ]　ﾄｳｷｮｳﾎﾝｼｬ
ｽﾙ　　→　ｸﾘｱ　ｷｰ
```

▼ ▲

```
[ 03 ]　ﾄｳｷｮｳﾎﾝｼｬ
ｼﾅｲ　→　ﾓﾄﾞﾙｷｰ
```

＊交互に表示します。

＊戻る ◎ を押すと、手順4-②の画面になります。

④中止して良い場合は、もう一度 クリア ○ を押す

```
[ 03 ]　ﾄｳｷｮｳﾎﾝｼｬ
 ＊＊　　ｸﾘｱ　ｶﾝﾘｮｳ　　＊＊
```

⑤次の宛先が表示される

```
S002　ｼｺｸｼﾃﾝ
                ▼／▲／▶／クリア
```

＊続けて他の宛先を中止するときは、手順4-②から操作を繰り返します。

5. ストップ ◎ を押す

＊通信予約の確認を終了し、待機画面に戻ります。

通信予約リストのプリント

●メモリーに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿の一覧をプリントできます。

1. メニュー ○文字→ ナJKL 5 ワラン 0 タGHI 4 **と押す**

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．５０４
０４　ツウシンヨヤク　リスト
```

2. セット ○ **を押す**

＊通信予約リストがプリントされます。
＊蓄積された原稿がない場合は、「ツウシンマチ　アリマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊　通信予約リスト　＊＊

P.1　　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
C01	1112223333,S001	30, 7:00	同報	
C02	[01],S002	29,21:00	同報	
C03	12345678	30, 9:00	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	

通信予約原稿のプリント

●通信予約している原稿をプリントして確認することができます。

1. メニュー ○文字→ タGHI 4 サDEF 3 タGHI 4 **と押す**

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．４３４
　４　ヨヤク　ｹﾞﾝｺｳ
```

2. セット ○ **を押す**

```
ヨヤク　ｹﾞﾝｺｳ
ヨヤク　ﾊﾞﾝｺﾞｳ　　：＿
```

3. **ダイヤルキーで予約番号（2桁）を入力する**

```
ヨヤク　ｹﾞﾝｺｳ
ヨヤク　ﾊﾞﾝｺﾞｳ　　：０１
```

4. セット ○ **を押す**

＊予約されている原稿がプリントされます。
＊予約番号が、リアルタイム送信の予約、またはポーリングの予約のときは予約原稿をプリントできません。
＊通信予約原稿がない場合は、「ツウシンマチ　アリマセン」と表示され、通信予約原稿はプリントされません。

通信結果の確認

●過去に通信した70通信分の送信・受信結果をディスプレイ上に表示できます。結果を1通信ごとにプリントすることもできます。
●最新の通信状況の一覧をプリントしたい場合は、通信記録をプリントしてください。(→91ページ)

1. •通信確認 を押す

```
ツウシンケッカ　カクニン
                ▼／▲／セット
```

2. セット を押す

直前に通信した結果が表示されます。

```
Ｔｘ０１５：１２３４５６７８９０
ＯＫ　　５月２４日　１５：３０　▼
```

＊70通信分の通信結果と通信した時間、相手先名または相手先番号を表示できます。
＊「Tx」は送信結果、「Rx」は受信結果を表します。
＊通信が成功した場合は「OK」、失敗した場合は「NG」と表示します。
＊詳しい通信結果を知るには、「通信記録」を出力してください。(→91ページ)
＊D.0.2などダイヤル時の異常（→150ページ）の送信結果は表示されません。

3. で見たい結果を表示させる

```
Ｔｘ０１４：オオサカ
ＯＫ　　５月２４日　１２：１０　▲／▼
```

▼

```
Ｒｘ００１：キョウトシテン
ＮＧ　　５月２４日　１３：３０　▲／▼
```

＊70通信分の通信結果と通信した時間、相手先名または相手先番号を表示できます。
＊「Tx」は送信結果、「Rx」は受信結果を表します。
＊通信が成功した場合は「OK」、失敗した場合は「NG」と表示します。
＊詳しい通信結果を知るには、「通信記録」を出力してください。(→91ページ)
＊D.0.2などダイヤル時の異常（→150ページ）の送信結果は表示されません。

通信結果のプリント

4. ①プリントしたい結果を表示させ セット を押す

＊通信結果がプリントされます。
＊表示させた通信結果が「Tx」の場合は送信結果が、「Rx」の場合は受信結果がプリントされます。

ABC商事㈱
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部
Fax:123-456-7890

＊＊ 受信結果 ＊＊

2004年 5月25日(火) 1:48

No.	001
相手先名	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ
画質	標準
開始日時	5月24日 13:30
時間	0'05"
枚数	0
結果	R.8.1
備考	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ

＊内容の説明は、「通信記録のみかた」を参照してください。(→91ページ)

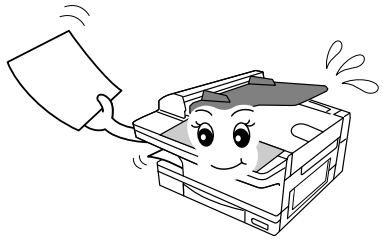
5. ストップ を押す

＊通信予約の確認を終了し、待機画面に戻ります。

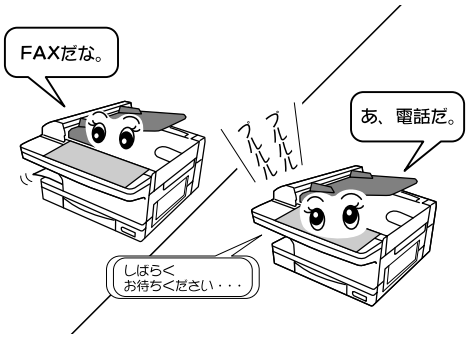
受け方を選ぶ

●使い方に合わせてファクスの受け方をお選びください。受け方（受信モード）の設定方法は30ページを参照してください。

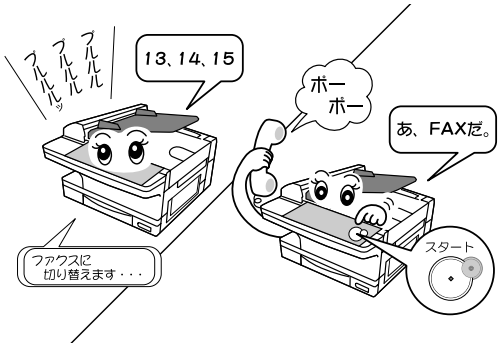
ファクス専用にする　－ファクス待機(→54ページ)－



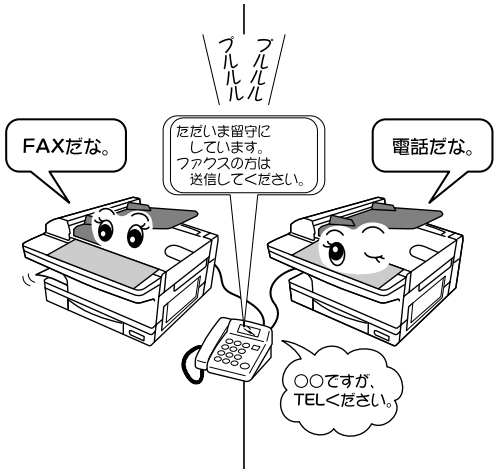
ファクス中心だが電話も受ける
－ファクス/電話待機 (→55ページ)－



電話中心だがファクスも受ける
－電話/ファクス待機(→56ページ)－



留守にする　－留守/ファクス待機 (→57ページ)－

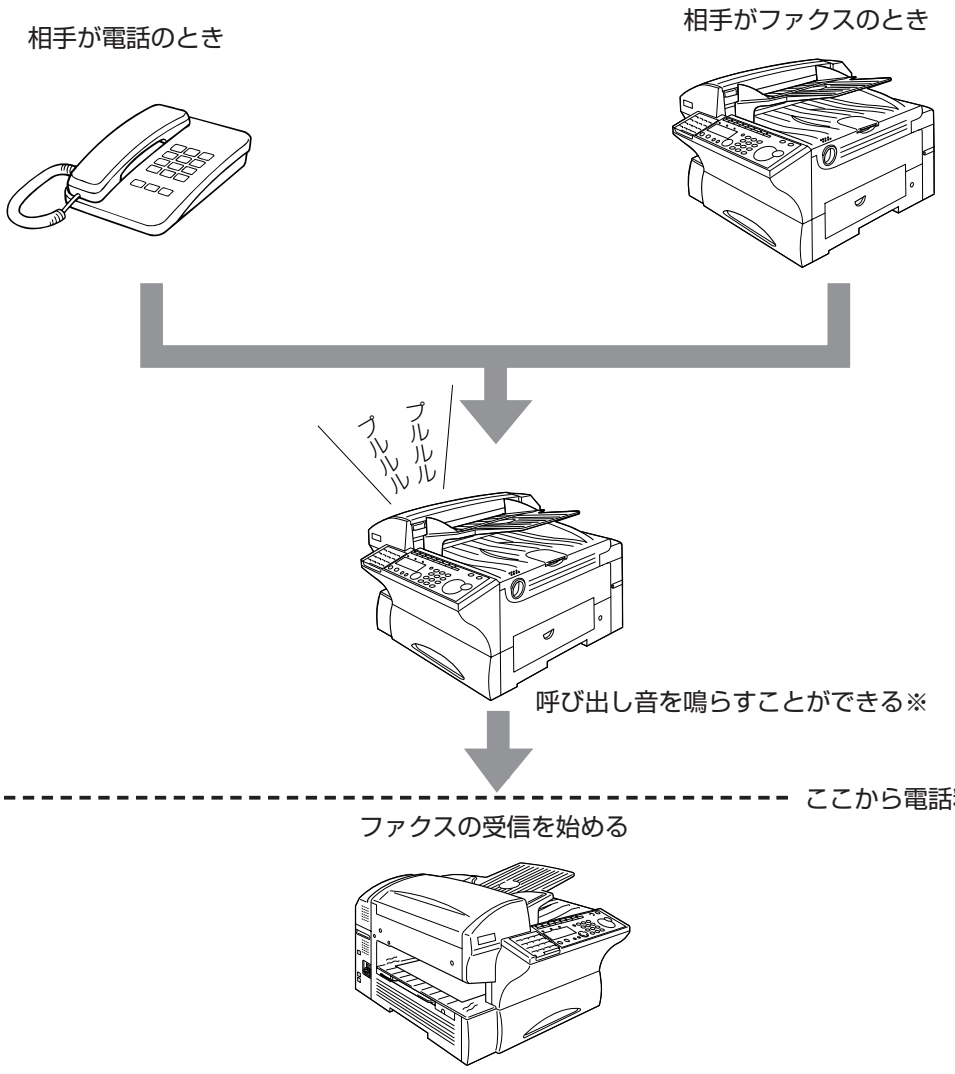


電話を中心に使う　－電話待機 (→58ページ)－

ファクス待機にセットしているとき

[操作の前に]

- 受信モードの設定を「ファクス　タイキ」にします。(→30ページ)
- 自動受信にします。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信／手動受信を設定することができます。(→125ページ)



●呼び出し音を鳴らすには

- オプション品の受話器または外付けの電話機繋げると、呼び出し音を鳴らすことができます。(初期値：2回)
- 呼び出し音が鳴っている間に受話器を上げると会話できます。
- 呼び出し音を鳴らす回数を変更できます。(→132ページ)

●相手側がファクスの場合、受話器を上げたときは、スタート を押して手動受信してください。

外付けの電話機で受けたときは、外付け電話機のダイヤルキーで 5(ナ JKL) 5(ナ JKL) とダイヤルすると受信を始めます。
(受信後は受話器を戻してください)

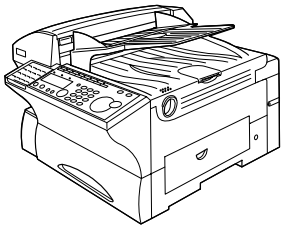
ファクス/電話待機にセットしているとき

[操作の前に]

- 受信モードの設定を「ファクス　デンワ　タイキ」にします。(→30ページ)
- 自動受信にします。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信／手動受信を設定することができます。(→125ページ)

相手が電話のとき

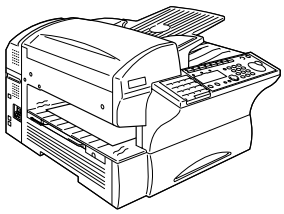
相手がファクスのとき



ここから電話料金がかかります。

・着信後、しばらくしてから呼び出し音が鳴る
・PHONE1、PHONE2端子につないだ電話のベルも鳴る
・電話に出ると話ができる

ファクスの受信を始める



MEMO

●着信後はしばらく受信状態になります。相手の方が電話のときは、しばらくお待たせするとともに電話料金がかかります。

●相手側のファクスによっては、ファクスを自動的に受信できないことがあります。その場合は、受話器を上げ、スタート を押して手動受信してください。外付けの電話機で受けたときは、外付け電話機のダイヤルキーで ナ JKL 5 ナ JKL 5 とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)

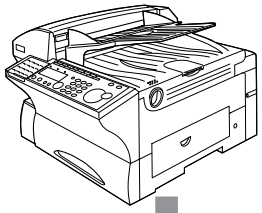
●受話器はオプション品です。(→172ページ)

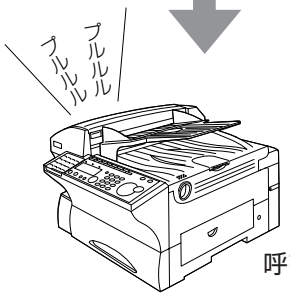
電話/ファクス待機にセットしているとき

[操作の前に]
- 受信モードの設定を「デンワ　ファクス　タイキ」にします。(→30ページ)
- 自動受信にします。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信／手動受信を設定することができます。(→125ページ)

相手が電話のとき

相手がファクスのとき



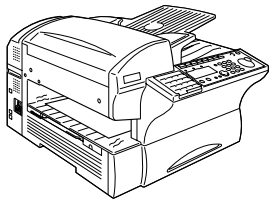


呼び出し音を鳴らすことができる※

ここから電話料金がかかります。

- 着信後、しばらくしてから呼び出し音が鳴る
- PHONE1、PHONE2端子につないだ電話のベルも鳴る
- 電話に出ると話ができる

ファクスの受信を始める



MEMO

- ●着信後はしばらく受信状態になります。相手の方が電話のときは、しばらくお待たせするとともに電話料金がかかります。
- ●相手側のファクスによっては、ファクスを自動的に受信できないことがあります。その場合は、受話器を上げ、スタート を押して手動受信してください。

  外付けの電話機で受けたときは、外付け電話機のダイヤルキーで 5(ナ JKL) 5(ナ JKL) とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)
- ●受話器はオプション品です。(→172ページ)

POINT

●呼び出し音を鳴らすには
- オプション品の受話器または外付けの電話機を繋げると、着信前の呼び出し音を鳴らすことができます。(初期値：2回)
- 呼び出し音がなっている間に受話器を上げると会話できます。
- 呼び出し音を鳴らす回数を変更できます。(→132ページ)

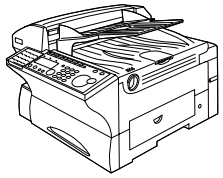
留守/ファクス待機にセットしているとき

[操作の前に]

- 受信モードの設定を「ルス／ファクス　タイキ」にします。(→30ページ)
- 自動受信にします。
- 留守番電話をPHONE2に接続(→21ページ)し、留守番設定にします。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信／手動受信を設定することができます。(→125ページ)

相手が電話のとき

相手がファクスのとき



留守番電話が鳴る

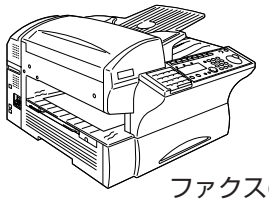
留守番電話の応答メッセージが流れる

ここから電話料金がかかります。

用件を録音する

＊10秒間無音が続くとファクス受信に切り替わります。

＊用件を録音した後も、相手がファクス送信をすれば受信できます。



ファクスの受信を始める

POINT

●留守番電話の受話器を上げたとき、相手がファクスの場合は

・留守番電話のダイヤルキーで 5(ナ JKL) 5(ナ JKL) とダイヤルすると受信を始めます。
(受信後は受話器を戻してください)

●留守番電話の応答メッセージについて

・相手にファクスが受信できることを知らせるため、「ファクスの方は送信してください」と録音しておきます。

MEMO

●留守番電話の機種によっては、留守番電話とファクス受信の切り替えが働かない場合があります。

●留守番電話が応答できない場合は、ファクス受信もできません。

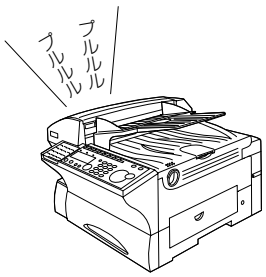
電話待機にセットしているとき

[操作の前に]

- 受信モードの設定を「デンワ　タイキ」にします。(→30ページ)
- オプション品の受話器が必要です。(→172ページ)
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信／手動受信を設定することができます。(→125ページ)

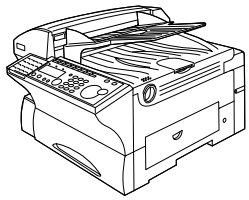
相手が電話のとき

呼び出し音が鳴る

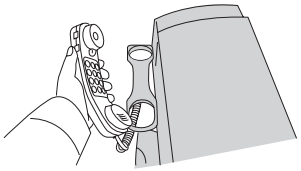


電話に出ると話ができる

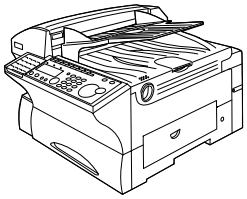
相手がファクスのとき



自動受信しません。
電話に出て、スタート を押す



ファクスの受信を始める



MEMO

- ●電話待機にセットしているときは、相手がファクス送信してきても自動受信しません。
- ●相手先から「ポーポー」などの音が聞こえたときは相手はファクスです。本機の本体電話で受けたときは、すぐにスタート を押して手動受信してください。

外付けの電話機で受けたときは、外付け電話機のダイヤルキーで 5(ナJKL) 5(ナJKL) とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)

POINT

●話の後にファクスを受信するには

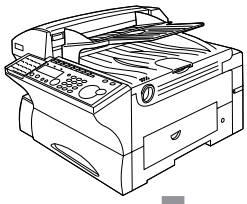
・相手が送信をした後、スタート を押します。

外付けの電話機でファクスを受信する

●外付け電話機を離れた場所でご利用になる場合、外付け電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。

相手が電話のとき

相手がファクスのとき



呼び出し音が鳴る

電話に出ると話ができる

外付け電話機で電話に出たとき相手がファクスの場合、外付け電話機のダイヤルキーで

ナJKL 5 ナJKL 5 とダイヤルする。

＊ファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

無音になったことを確認し、受話器を戻す。

MEMO

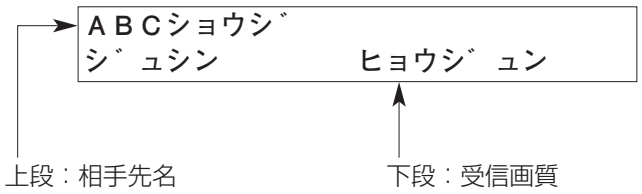
●通話中に外付け電話機のダイヤルキーで ナJKL 5 ナJKL 5 を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。

●本機能は外付け電話機の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にも外付け電話機でファクスを受信できません。
- こちらから電話をかけたとき。
- 外付け電話機の回線種別設定と本装置の回線種別設定が一致していないとき。
- 本装置のメモリー残量が無いとき。

受信中の動作について

受信中の表示

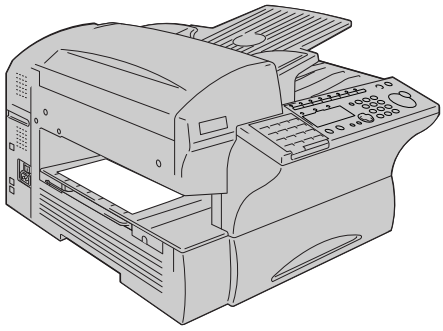
●受信中は通信中ランプが点灯または点滅し、相手先名がディスプレイに表示されます。



＊相手先名の表示は、相手ファクスに登録されているものが表示されます。表示する順は次の通りです。
1. 相手先名
2. 相手先名がセットされていなかったら相手先番号
3. 相手先番号がセットされていなかったら何も表示しない

受信中の動作について

受信した原稿からプリントされます。



MEMO

●プリント中にカセットを引き出さない
用紙づまりの原因となります。

●用紙トレイに排出できる枚数は約150枚
用紙はためすぎないようにしてください。排出口での用紙づまりの原因となります。

代行受信について

●用紙やトナー切れなどでプリントできなくなったときでも、メモリーが代わりに受信します。メモリーに受信した原稿があるときは、代行受信ランプが点灯します。

＊再びプリントできるようになると、メモリーに受信した原稿をプリントします。

POINT

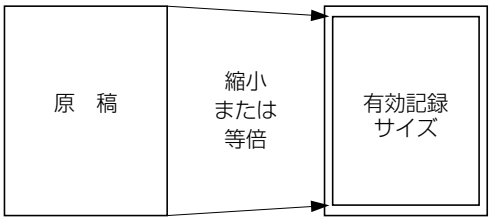
●代行受信できる通信量、原稿枚数は
・50通信、A4サイズの当社標準原稿で約140枚受信できます。ただし、通信予約などでメモリーが使われているときは受信できる枚数が減ります。

●代行受信中にメモリーが足りなくなったときは
・蓄積できる分のみ蓄積します。その後、受信を中止しエラーメッセージを表示します。

●代行受信原稿がメモリーにあるとき、停電したときは
・停電や電源をOFFにしたときでも、約72時間メモリーに記憶しています。(→147ページ)
＊あらかじめ72時間連続して電源が入っている必要があります。
＊メモリーの容量によって、記憶する時間が変わります。
メモリーの内容が消えてしまった場合は、電源がONになりプリントできるようになった後に、「代行受信消去通知」がプリントされます。

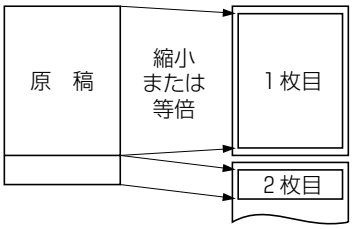
有効記録サイズについて

●用紙の先端／後端のそれぞれ約3mmはプリントすることができません。このため、受信した内容が縮小、または切捨てられてプリントされる場合があります。プリントできる部分を有効記録サイズと呼びます。



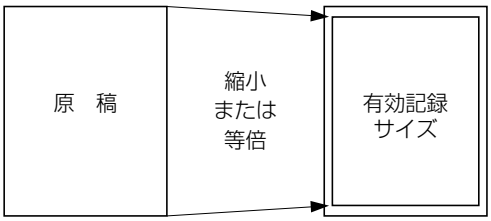
ページ分割について

●有効記録サイズを越えた部分がしきい値より大きいときは、ページ分割してプリントされます。



受信縮小について

●送信されてきた原稿に合う定型サイズの用紙がセットされていないときや、定型サイズよりわずかに長い（しきい値以内）原稿が送信されてきたとき、用紙に収まるように縮小してプリントします。（自動縮小）また、いつも縮小しないで受信することもできます。（100%）



しきい値について

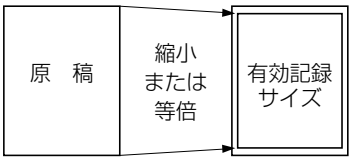
●しきい値とは、受信文書が有効記録サイズに収まらない場合に、後端を切捨てたり、縮小をして1枚に収めるときの位置を決める値です。セットされている用紙より長い原稿を受信した場合、余白部分だけが次のページにプリントされることがありますが、「しきい値」を設定することによりこれを防止することができます。有効記録サイズを越えた原稿の長さがしきい値以内であれば縮小または切捨てをして1枚に収め、しきい値より長い場合のみページ分割されます。

・しきい値は0～85 mmの間で、受信する頻度の高い原稿の余白の長さに合わせて設定します。しきい値の設定方法はファクス設定の「プリントパラメーター」（→132ページ）を参照してください。

・コピー時のしきい値の設定方法はコピー設定の「プリントパラメーター」（→138ページ）を参照してください。

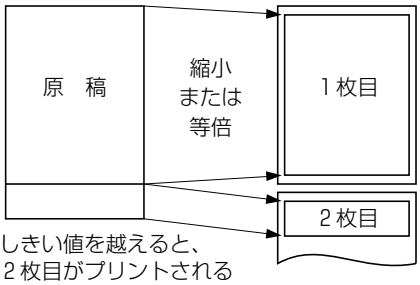
①しきい値を設定したとき

有効記録サイズを越えた長さが、しきい値以内であれば、1枚に縮小または切捨てされます。

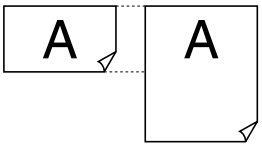


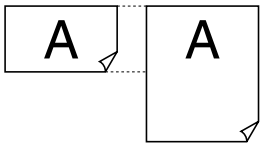
②しきい値を設定しないとき（しきい値＝0のとき）

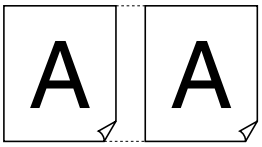
有効記録サイズを少しでも越えると、2枚目がプリントされます。

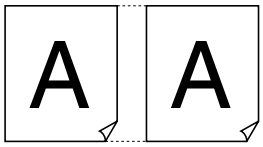


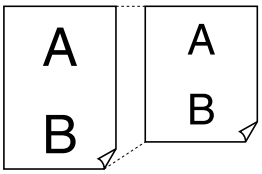
記録の仕方一覧

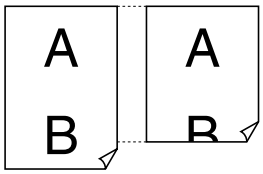
<table>
<tr><th colspan="2">受信縮小率
受信原稿のサイズ</th><th>自動</th><th>100%</th></tr>
<tr><td rowspan="2">小さい原稿
（A5□、B5□）</td><td>1枚のみのとき</td><td> 

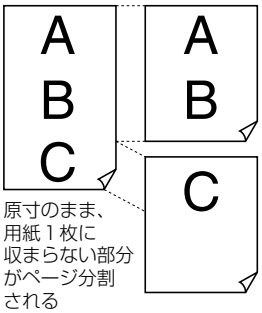
原寸のまま</td><td> 

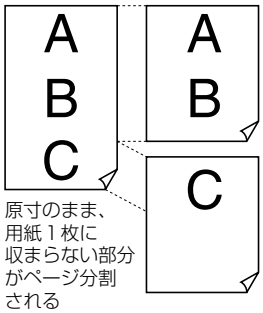
原寸のまま</td></tr>
<tr><td colspan="2">定形サイズ原稿
（B4、A4、B5□）</td><td> 

原寸のまま</td><td> 

原寸のまま</td></tr>
<tr><td rowspan="2">長尺原稿
（B4、A4より少し長め）</td><td>有効記録サイズを越えた長さがしきい値以内のとき</td><td> 

用紙1枚に収まるよう縮小される</td><td> 

原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分は切捨てられる</td></tr>
<tr><td>有効記録サイズを越えた長さがしきい値より大きいとき</td><td> 

原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分がページ分割される</td><td> 

原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分がページ分割される</td></tr>
</table>

●オプション品の受話器を取り付ければ、電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

[操作の前に]

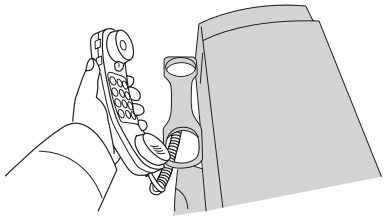
●本体側の電源がOFFのときも、受話器内側のダイヤルキーから電話をかけることができます。

●リダイヤルは、本体のテンキー・ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・電話帳ダイヤルでファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。受話器のダイヤルキーで電話をかけた場合は記憶しません。

●ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルは使用できません。（→125ページ）

●ご愛用スイッチキーの設定にて「オンフック／会話予約」を削除すると、●オンフック/会話予約 は使用できません。（→125ページ）

1. 受話器をあげる



＊または、●オンフック/会話予約 を押します。

2. 相手にダイヤルする

＊色々な電話のかけ方があります。

A. 受話器またはテンキーで電話をかける

テンキーまたは受話器のダイヤルキーを押して、相手先の番号を入力する

B. ワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤル（01～60）を押す

```
        **  ﾃﾞﾝﾜ  **
12345678_
```

＊ワンタッチダイヤルに登録されている番号が表示されます。

C. 短縮ダイヤルで電話をかける

① ●短縮/グループ を押す

②テンキーで短縮番号(001～140)を選ぶ

```
        **  ﾃﾞﾝﾜ  **
12345678_
```

＊短縮ダイヤルに登録されている番号が表示されます。

D. 電話帳ダイヤルで電話をかける

① 電話帳 を押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                [A]
ABC                  :[05]
```

② またはテンキーで相手先を選ぶ

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ                [J]
JAPAN                :S123
```

③ スタート を押す

```
        **  ﾃﾞﾝﾜ  **
12345678_
```

E. 同じ相手にもう一度電話する（リダイヤル）
ファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。

①（リダイヤル）を押す

```
リﾀﾞｲヤル　リレキ
0：1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
```

②を押して相手先を選択する

```
リﾀﾞｲヤル　リレキ
2：1 2 3 4 4 4 7 8 9 0
```

③（スタート）を押す

```
　　＊＊　ﾃﾞﾝﾜ　＊＊
1 2 3 4 5 6 7 8＿
```

3. 相手につながったら話をする

＊（オンフック/会話予約）を押してから電話をかけた場合は、受話器を上げると話ができます。

POINT

（オンフック/会話予約）を押したときの音量を変えるには（ボリューム調整）

・音量は大/中/小/切(無音)の4段階から選べます。（初期値 中）（→44ページ）

プッシュ音を出すには（シグナルチェンジ）

・ダイヤル回線を使っている場合、ダイヤル中に（＊）を押すと、トーン記号（T）が表示され、その次からダイヤルがプッシュ音（ピッ、ポッ、パッ）になります。

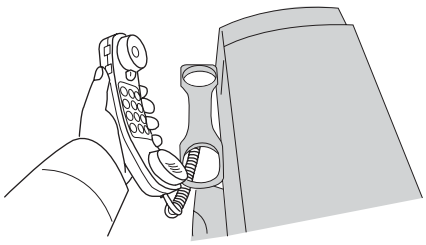
```
　　＊＊　ﾃﾞﾝﾜ　＊＊
1 2 3 4 5 6 7 8 T 5 6 7 8 9＿
```

MEMO

・リダイヤルは1件につき40桁までのダイヤルを記憶しています。
・リダイヤルは、本体のテンキー・ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・電話帳ダイヤルでファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。受話器のダイヤルキーで電話をかけたときは記憶しません。

電話を受ける

1. ベルが鳴ったら、受話器を上げる



2. 相手につながったら話をする

＊外付けの電話機の受話器を上げた場合は、外付けの電話機でも話ができます。

MEMO

●相手先から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。スタート を押すと受信できます。

通信の後に相手と話す（会話予約）

●ファクス通信の後に、相手を呼び出して話ができます。

1. 通信中に •オンフック/会話予約 を押す

＊ランプが点灯します。

＊中止したいときは、もう一度 •オンフック/会話予約 を押します。

2. 呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げ話をする

＊相手側でも受話器を上げます。

＊送信中に会話予約した場合は、最後のページを送信した後に呼び出し音が鳴ります。

＊受信中に会話予約した場合は、受信しているページを受信した後に呼び出し音が鳴ります。

MEMO

・スーパーG3通信をしている場合は、会話予約することはできません。

・相手機に会話予約機能が必要です。

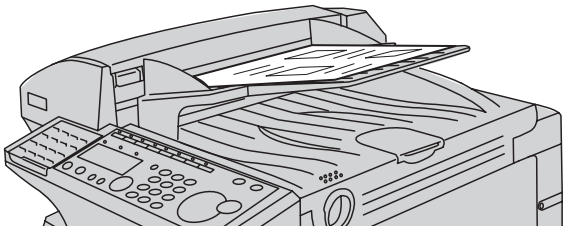
コピーの仕方

●原稿を最大99部までコピーできます。また、コピーを部数ごとにそろえるソートコピーもできます。

コピーする

●原稿の大きさを判断して、適切な用紙と倍率でコピーします。

1. コピーする面を上にして原稿をセットする



2. 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

＊画質を設定しない場合は、自動的に超高画質でコピーします。

3. コピー を押す

```
ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ  ヲ ﾄﾞｳｿﾞ    01
          ｺﾋﾟｰ／ｽﾄｯﾌﾟ
```

4. テンキーでコピーする部数（1～99）を入力する

```
ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ  ヲ ﾄﾞｳｿﾞ    23
          ｺﾋﾟｰ／ｽﾄｯﾌﾟ
```

5. コピー を押す

＊原稿読み取り後、プリントを始めます。

POINT

●コピーを途中で止めるには

・ストップ を押します。

●コピーする倍率を変えるには

・コピーの倍率（縮小率）やコピーの設定はコピー設定のプリントパラメーターで行います。(→138ページ)

[お願い] コピーについて

●次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。

・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
・未使用の郵便切手や官製ハガキ
・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけられています。

・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

●著作権の対象となっている著作物について

個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

ソートコピーを設定する

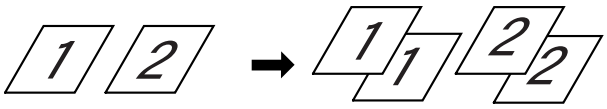
●コピーをページ順にそろえてコピーすることができます。コピーした後に手作業でページをそろえる手間が省けます。

[操作の前に]

●ご愛用スイッチキーの設定にて「ソートコピー」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでソートコピーのON/OFFを設定することができます。(→125ページ)

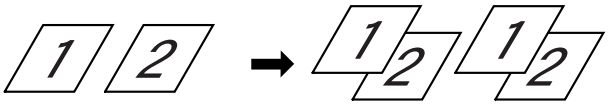
■ソートOFF

原稿ごとに用紙をそろえます。



■ソートON

コピー部数ごとに用紙をそろえます。



ソートコピーをするためには、「ソートコピー設定」をONにします。

1. メニュー 文字 → カABC 2 サDEF 3 カABC 2 **と押す**

```
[キノウ　センタク]　　No．232
 2　ソート　コピ゛ー
```

2. セット **を押す**

```
ソート　コピ゛ー　　：ON
　　▼／▲／セット
```

3. **でソートコピーをONにする**

```
ソート　コピ゛ー　　：ON
　　▼／▲／セット
```

4. セット **を押す**

＊ソートコピーが設定されます。

5. ストップ **を押す**

＊待機画面に戻ります。

6. **「コピーする」（66ページ）の手順通りにコピーする**

＊指定した部数をページ順にそろえてコピーします。

第3章 ― 応用編 ―

送信方法の設定（メモリー送信/リアルタイム送信）……69
読み取った原稿にスタンプを押す（済スタンプ）……70
済スタンプを押す ……70
送信時刻を指定して送信する（時刻指定送信）……71
送信案内証を付けて送信する（メッセージ送信）……72
メッセージを登録する ……72
送信案内証を設定する ……72
送信案内証をプリントする ……72
ファクスと同時にコピーもする（ファクス&コピー）……73
ファクス&コピーを設定する ……73
ファクス&コピーの仕方 ……73
ファクスを転送する（ファクスワープ）……74
ファクスワープを設定する ……74
転送先を登録する ……74
転送先を消去する ……76
リストをプリントする ……76
受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）……77
セキュリティ受信を設定する ……77
セキュリティ受信した原稿をプリントする ……78
プロテクトコードを設定する ……78
Fコード通信をする ……79
Fコード通信とは？ ……79
サブアドレスとパスワード ……79
Fコード通信で使用できる機能 ……79
Fコード送信をする ……80
Fコードポーリングをする ……81
Fコード用の掲示板に原稿を蓄積する ……82
蓄積された原稿をプリントする ……83
掲示板に蓄積された原稿を消去する ……84
Fコード蓄積原稿リストをプリントする ……84
Fコードボックスを登録する ……85
Fコードボックスを消去する ……88
Fコードボックスリストをプリントする ……88
ポーリングをする……89
相手先の原稿を取り出す（ポーリング） ……89
相手先の操作で送信する（ポーリング予約） ……89
ポーリング予約原稿をプリントする ……90
ポーリング予約原稿を消去する ……90
通信を管理する……91
通信記録のみかた ……91
通信記録をプリントする ……92
通信記録の設定 ……92
送信確認証の設定 ……93
送信確認証のみかた ……93
ボイスワープサービスの利用について……94
ボイスワープサービスとは？ ……94
V-660でボイスワープサービスを利用する前に設定する ……94
電話を転送する（フォンワープ）……96
フォンワープを設定する ……96
転送先を登録する ……97
転送先を消去する ……98
フォンワープの動作 ……99
リストをプリントする ……99
外出先からの操作（リモート操作）……100

送信方法の設定
（メモリー送信／リアルタイム送信）

●自動送信には原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリー送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。

●お買い上げ時はメモリー送信が設定されていますが、ご愛用スイッチキーの設定にて「メモリー送信」を設定すると、1通信ごとにメモリー送信／リアルタイム送信を切り替えることができます。（→125ページ）

＊常にリアルタイム送信を優先することもできます。（→134ページ）

●リアルタイム送信

リアルタイム送信とは、原稿をメモリーに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。

●メモリー送信

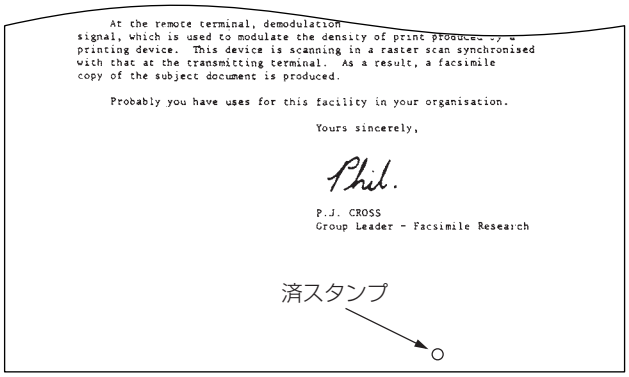
メモリー送信とは、原稿をメモリーに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。

読み取った原稿にスタンプを押す…
（済スタンプ）

●済スタンプには、メモリー送信時に原稿の読み取りを完了したことを示す読み取り済スタンプと、リアルタイム送信時に送信が完了したことを示す送信済スタンプの2種類があります。

●お買い上げ時は済スタンプの設定は「OFF」になっています。
＊常に済スタンプを押すこともできます。（→135ページ）
＊済スタンプの色は青色です。オプション品にピンク色もあります。ピンク色の済スタンプを装着した場合は、設定を変更する必要があります。（→135ページ）
＊済スタンプの寿命は青色は約30000枚、ピンク色は約3000枚です。

●A4サイズの原稿では、およそ下図の位置に済スタンプが押されます。



済スタンプを押す

●済スタンプの設定（→135ページ）で設定した状態にかかわらず、一時的に済スタンプをON、OFFすることができます。

［操作の前に］
●セットした直後の送信１回のみに有効です。直後の送信が完了すると、済スタンプの設定で設定した状態に戻ります。
●ご愛用スイッチキーの設定にて済スタンプを削除すると、1通信ごとに済スタンプのON/OFFを切り替えることはできません。（→125ページ）

1. 済スタンプ を押す
＊キーが点灯し済スタンプがONになります。
＊もう一度キーを押すとキーが消灯しOFFになります。

2. 原稿をセットし、送信すると済スタンプが押される

送信時刻を指定して送信する
（時刻指定送信）

●通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

［操作の前に］

●1ヵ月先まで、送信時刻を指定できます。

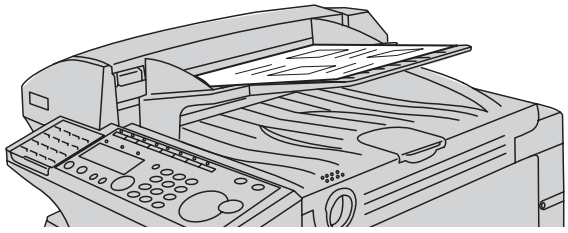
●時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。

＊リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。また、原稿を取り除くと予約が消去されます。

●他の応用機能（同報送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組合わせて指定することもできます。

●ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を削除すると、時刻指定送信はできません。（→125ページ）

1. 送信する面を上にして原稿をセットする



2. 画質 ○　濃度 ○ を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

3. •応用通信 を押す

```
1．ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```

4. セット ○ を押す

```
ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸﾖ　ﾄﾞｳｿﾞ　 2 9／1 3：3 0
```

5. ①テンキーで、送信日時を入力する

```
ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸﾖ　ﾄﾞｳｿﾞ　 0 1／1 3：3 0
```

＊数字が1桁の時は先頭に0をつけます。

＊時刻は24時間制で入力します。

＊間違えて入力したときは、 でカーソルを移動し、上書きで入力し直します。

② セット ○ を押す

6. 相手先のファクス番号を入力する

```
ｽﾀｰﾄｷｰ　ﾖ　ﾄﾞｳｿﾞ
1 1 1 2 2 2 3 3 3 3＿
```

＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（→127ページ）

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤルが使用できます。

＊ •同報 を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は20宛先までです。）

7. スタート ○ を押す

POINT

●番号を間違えて入力したときは

・クリア ○ を押して訂正してください。

●原稿読み取り後は

・ •通信確認 で予約を消去できます。（→49ページ）

●指定時刻を変更するときは

・予約した通信を消去して再度設定し直します。

MEMO

●送信予約（時刻指定送信や同報送信など）を30件（オプションの増設メモリーを装着すると50件まで予約できます。）セットすると、自動送信できなくなります。その場合は •オンフック/会話予約 を押して手動送信を行ってください。（→44ページ）

送信案内証を付けて送信する
（メッセージ送信）

●送信原稿といっしょに、簡単な文書（メッセージ）の入った送信案内証を自動的に付けて送信することができます。

［操作の前に］
●送信案内証を設定する前にメッセージを登録してください。
●ご愛用スイッチキーの設定にて「メッセージ」を登録すると、1通信ごとに送信案内証のON/OFFを切り替えることができます。（→125ページ）

メッセージを登録する

1. メニュー ○→（文字） サ DEF 3 カ ABC 2 カ ABC 2 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３２２
２　メッセージ゛　セット
```

2. セット ○ を押す

3. ①メッセージを入力する

```
メッセージ゛　　；カタカナ
イツモオセワニナリマス
```

＊半角文字では40文字、全角文字では20文字まで登録できます。
＊文字の入力方法は（→103ページ）

② セット ○ を押す

＊メッセージが登録され、次の設定画面になります。
＊ ストップ ◎ を押すと、待機画面に戻ります。

送信案内証を設定する　初期設定：OFF

●送信案内証を付加するかしないかの設定をします。
・ON.....送信案内証が送信原稿の1枚目に付けられます。
・OFF....送信案内証は付けられません。

1. メニュー ○→（文字） サ DEF 3 カ ABC 2 ア 1 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３２１
１　メッセージ゛　ソウシン
```

2. セット ○ を押す

3. ① ◇ でON/OFFを選ぶ

```
メッセージ゛　ソウシン　　：ＯＦＦ
　　▼／▲／セット
```

② セット ○ を押す

＊送信案内証が設定され、次の設定画面になります。
＊ ストップ ◎ を押すと、待機画面に戻ります。

送信案内証をプリントする

1. メニュー ○→（文字） ナ JKL 5 ワヲン 0 ラ WXYZ 9 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．５０９
０９　メッセージ゛　リスト
```

2. セット ○ を押す

＊ 送信案内証がプリントされます。

```
＊＊　送信案内証　＊＊

2004年 5月24日(月) 13:30

発信元名　　ABC商事(株)
ファクス番号　123-456-7890

［イツモオセワニナリマス　　］
```

POINT

●メッセージの内容を変更するには
・メッセージの登録にて変更したい箇所を修正し、登録し直します。

●操作を中止するときは
・ ストップ ◎ を押します。

ファクスと同時にコピーもする
（ファクス&コピー）

●1回の原稿読み取り操作で、ファクスとコピーが同時にできます。社内連絡などで「他部署にファクスしてから、配布用にコピーする」というような場合にたいへん便利です。

［操作の前に］
●ファクス&コピーをするには、ファクス&コピーの設定を「ON」にしてください。
●ご愛用スイッチキーの設定にて「ファクス&コピー」を登録すると、1通信ごとにファクス&コピーのON/OFFを切り替えることができます。（→125ページ）

ファクス&コピーを設定する　初期設定：OFF

1. メニュー 文字 →カ ABC 2 ア 1 ナ JKL 5 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．２１５
　５　ファクス＆コピ゜ー
```

2. セット を押す

3. ① ◀▲▶▼ でONを選ぶ

```
ファクス＆コピ゜ー　　：ＯＮ
　　▼／▲／セット
```

② セット を押す

＊ファクス&コピーが設定され、次の設定画面になります。

＊ ストップ を押すと、待機画面に戻ります。

ファクス&コピーの仕方

●ファクス&コピーをする前に、ファクス&コピーの設定を「ON」にしてください。（→73ページ）

1. ①送信する面を上にして原稿をセットする（→38ページ）

② 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

2. 相手先のファクス番号を入力します。

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤルが使用できます。

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウソ゛
１１１２２２３３３３＿
```

3. スタート を押す

4. 必要に応じてコピーの設定を行う

5. 送信する原稿と同時にコピーする場合は

スタート を押す

＊送信を開始し、同時にコピーを始めます。

＊ ストップ を押すと操作を中断し、待機画面に戻ります。

コピーをしない場合は クリア を押す

```
コピ゜ー　チュウシ　シマスカ？
スル　　→　スタートキー
```

▼　▲

```
コピ゜ー　チュウシ　シマスカ？
シナイ　→　クリア　キー
```

＊交互に表示します

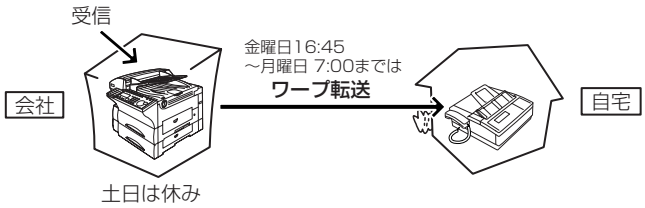
＊ スタート を押すと、送信のみ開始します。

＊ クリア を押すと、前の画面に戻ります。

ファクスを転送する
（ファクスワープ）

●設定時間内に受信した原稿を、指定された宛先に転送します。勤務時間外にオフィスに届いたファクスを自宅で確認したいときなどに、たいへん便利です。
●転送先は10件まで登録できます。

［操作の前に］
●受信モードを「デンワ　タイキ」以外に設定してください。（→30ページ）
●ご愛用スイッチキーの設定にて「ファクスワープ」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでファクスワープのON/OFFを設定することができます。（→125ページ）



ファクスワープを設定する　初期設定：OFF

●ファクスワープを設定する前に、転送先の登録を行ってください。（→74ページ）

1. メニュー 文字 ○→ サ DEF 3 ナ JKL 5 ア 1 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３５１
 1　ファクスワーフ゜　セット
```

2. セット ○ を押す

3. ① ◇ でON/OFFを選ぶ

```
ファクスワーフ゜　　：ＯＦＦ
　　▼／▲／セット
```

② セット ○ を押す

＊転送先が登録されているとファクスワープが設定され、次の設定画面になります。
＊ ストップ ◎ を押すと待機画面に戻ります。

転送先を登録する

［操作の前に］
転送先の登録には次の内容が登録できます。

●**転送設定**……ファクスワープの設定をONにし（→74ページ）転送設定を「ON」にすると、個別登録でONに設定されたファクスワープが有効になります。設定された時間になると転送を始めます。
●**指定時刻**……設定した時刻の範囲で転送を行います。
　＊開始時刻・終了時刻を指定しないときは、時刻にかかわらず転送を行います。
●**発信元**……NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用すると設定した相手先からのファクスのみ、転送します。
　＊NTTとの契約が必要です。
●**同時プリント**…同時プリントを「ON」にすると、転送元でも転送先と同時に受信原稿をプリントします。

1. メニュー 文字 ○→ サ DEF 3 ナ JKL 5 カ ABC 2 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３５２
 2　ファクスワーフ゜　トウロク
```

2. セット ○ を押す

3. ①で転送先を選ぶ

＊テンキーで選ぶこともできます。

```
テンソウサキ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
01：セット　サレテイマセン
```

②セット を押す

4. ①転送先番号を入力する

```
01：テンソウ　ﾊﾞﾝｺﾞｳ
111－222－3333＿
```

＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（→127ページ）

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。

＊テンキーによる入力は1ヵ所のみです。ダイヤル番号は最大40桁です。

②セット を押す

5. 転送設定を選ぶ

①でON/OFFを選ぶ

```
テンソウ　セッテイ　　：ON
　　▼／▲／セット
```

②セット を押す

6. 開始時刻を入力する

①で曜日を入力する

```
01：シテイ　ｼﾞｺｸ
（金）　＊＊：＊＊――（＊）　＊＊：＊＊
```

＊「＊」は曜日指定なし（毎日指定）を示します。

②テンキーで開始する時刻を入力する

```
01：シテイ　ｼﾞｺｸ
（月）　21：00――（＊）　＊＊：＊＊
```

＊時刻は24時間制で入力します。

＊クリア を押すと、指定した時刻をすべて消去します。

7. 終了時刻を入力する

①で曜日を入力する

＊「＊」は曜日指定なし（毎日指定）を示します。

②テンキーで終了する時刻を入力する

＊時刻は24時間制で入力します。

＊クリア を押すと、指定した時刻をすべて消去します。

③セット を押す

8. ①テンキーで発信元番号を入力する

```
01：ﾊｯｼﾝﾓﾄ　ﾊﾞﾝｺﾞｳ
444－555－6666＿
```

＊NTTのナンバー・ディスプレイサービスに契約していないときは、何も入力しないで次に進みます。

＊ハイフンは 記号 (#) を1回押すと入力できます。

＊発信元番号の入力は1ヵ所のみです。ダイヤル番号は最大20桁です。

②セット を押す

9. 同時プリントを設定する

＊同時プリントを指定しないときは、セット を押して手順10に進みます。

① でON/OFFを選ぶ

```
ﾄﾞｳｼﾞ　ﾌﾟﾘﾝﾄ　　：ＯＦＦ
　　▼／▲／セット
```

② セット を押す

10. 続けて転送先を登録するときは、手順3から操作を繰り返す

＊登録を終了するときは ストップ を押します。

＊ファクスワープを有効にするには、ファクスワープの設定をONにしてください。（→74ページ）

●操作を中止するときは

・ ストップ を押します。

●複数のファクスワープを組み合わせることもできます。

●次の受信原稿のときは、転送しません。

・ポーリング受信原稿
・Fコード親展受信原稿
・Fコード掲示板に蓄積された原稿
・Fコード中継指示を受けた原稿

転送先を消去する

1. メニュー 文字 → サDEF 3 ナJKL 5 サDEF 3 と押す

```
［ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ］　　Ｎｏ．３５３
３　ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ　ｸﾘｱ
```

2. セット を押す

3. ① で消去したい転送先を選ぶ

```
ﾃﾝｿｳｻｷ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
０１：１１１－２２２－３３３３
```

② セット を押す

③消去してよければ、もう一度 セット を押す

＊消去を中止するときは クリア を押します。

＊消去した転送先以降の転送先番号を1つずつ前に繰り上げます。

4. 続けて消去を行うときは、手順3を繰り返す

＊消去を終了するときは ストップ を押します。

リストをプリントする

1. メニュー 文字 → ナJKL 5 ア 1 サDEF 3 と押す

```
［ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ］　　Ｎｏ．５１３
１３　ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ　ﾘｽﾄ
```

2. セット を押す

＊ファクスワープリストがプリントされます。

＊転送先が１件も登録されていない場合は、「セットサレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊ ファクスワープ リスト ＊＊

P.1　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	転送先ﾀﾞｲﾔﾙ番号	ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ	指定時刻	同時ﾌﾟﾘﾝﾄ
1	111-222-3333 発信元：444-555-6666	ON	(木)19:00 ～ (金)06:00	OFF
		ON	(－)21:00 ～ (－)06:00	OFF

受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）

●セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリーに記憶させておくことができます。受信した原稿は、あとから用紙にプリントできます。

［操作の前に］

●あらかじめプロテクトコードを設定してください。（→78ページ）
●プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。
●セキュリティ受信をONに設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が始まります。
●セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は代行受信ランプが点灯します。用紙にプリントした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。
●ご愛用スイッチキーの設定にて「セキュリティ受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでセキュリティ受信のON/OFFを設定することができます。（→125ページ）

セキュリティ受信を設定する　　初期設定：OFF

1. メニュー 文字→ カABC 2 カABC 2 ア 1 ワラン 0 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．２２１０
１０　セキュリティ　ｼﾞｭｼﾝ
```

2. セット を押す

3. ①テンキーでプロテクトコード（4桁）を入力する

```
セキュリティ　ｼﾞｭｼﾝ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ　　：1234
```

② セット を押す

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード　ガ　チガイマス」と表示され、手順1の画面に戻ります。

4. ① でON/OFFを選ぶ

```
セキュリティ　ｼﾞｭｼﾝ　　：ＯＦＦ
　　▼／▲／セット
```

② セット を押す

＊OFFを選んだときはセキュリティ受信が解除され、次の設定画面になります。

5. ONを選んだときは、テンキーでセキュリティ受信を開始する時刻を入力する

```
セキュリティ　ｼﾞｭｼﾝ
ｼﾞｺｸﾖ　ﾄﾞｳｿﾞ　　２１：００
```

6. セット を押す

＊セキュリティ受信がセットされ、次の設定画面になります。
＊ ストップ を押すと待機画面に戻ります。

POINT

●操作を中止するときは

・ ストップ を押します。

●セキュリティ受信を解除する時は

・手順4でOFFにセットします。（セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。）

セキュリティ受信した原稿をプリントする

●受信した原稿をプリントすると、セキュリティ受信が解除され通常の動作に戻ります。

1. メニュー 文字 → タGHI 4 サDEF 3 サDEF 3 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．４３３
　３　セキュリティシ゛ュシン　ケ゛ンコウ
```

2. セット を押す

3. ①テンキーでプロテクトコード（4桁）を入力する

```
セキュリティシ゛ュシン　ケ゛ンコウ
フ゜ロテクトコート゛　　：1234
```

② セット を押す

＊受信した原稿がプリントされます。
＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード　ガ　チガイマス」と表示され待機表示に戻ります。
＊受信した原稿をプリントすると、セキュリティ受信を解除し、通常の受信動作に戻ります。
＊受信した原稿がないときは、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

プロテクトコードを設定する

●セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
●セキュリティ機能には以下の機能があります。
・セキュリティ受信…受信原稿をメモリーに蓄え自動的にプリントしないようにします。プリントするときにプロテクトコードが必要になります。（→78ページ）

［操作の前に］
●プロテクトコードは絶対に忘れないようにしてください。セキュリティ機能を設定したときに操作できなくなります。

1. メニュー 文字 → カABC 2 ア 1 ハMNO 6 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．２１６
　６　フ゜ロテクトコート゛
```

2. セット を押す

3. ①プロテクトコードを変更するときは、テンキーで現在のプロテクトコードを入力する

＊新規に登録するとき　　：“0000”を入力します。
＊プロテクトコードを変更するとき　：変更前のプロテクトコードを入力します。

```
フ゜ロテクトコート゛
Ｏｌｄ　フ゜ロテクトコート゛　：0000
```

② セット を押す

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード　ガ　チガイマス」と表示されます。

4. ①テンキーで新しいプロテクトコードを入力する

```
フ゜ロテクトコート゛
Ｎｅｗ　フ゜ロテクトコート゛　：1234
```

＊「0000」を入力すると、プロテクトコードが解除されます。
＊セキュリティ受信原稿が蓄積されているときは、プロテクトコードを解除できません。
＊プロテクトコードを間違えたときは正しい番号を上書きで入力し直してください。

② セット を押す

＊プロテクトコードが登録され、次の設定画面になります。
＊ ストップ を押すと、待機画面に戻ります。

Fコード通信をする

Fコード通信とは？

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。

＊Fコードボックスは50個まで登録できます。（「Fコードボックスを登録する」→85ページ）

＊1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

●サブアドレスは、メモリー内に設定されたさまざまなFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）

●パスワードは、原稿を間違って送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

◆Fコード親展通信

通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。

親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

●Fコード親展送信をする場合……Fコード送信をする（→80ページ）

●Fコード親展受信した場合……蓄積された原稿をプリントする（→83ページ）

◆Fコード掲示板通信

通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

●相手先の掲示板へ送信する場合……Fコード送信をする（→80ページ）

●相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合……Fコードポーリングをする（→81ページ）

●自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合……Fコード用の掲示板に原稿を蓄積する（→82ページ）

◆Fコード中継指示通信

中継機にFコード中継ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。（必要に応じてパスワードを指定できます）

中継機側では、ボックスに登録されている相手先（配信先）に、指示された原稿を送信（配信）します。

●中継指示送信する場合……あらかじめ通信相手のファクスに設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、Fコード送信をしてください。（→80ページ）

●本機が中継機となる場合…Fコードボックス登録（→85ページ）で中継用のボックスを設定してください。

Fコード送信をする

●サブアドレスとパスワードを入力することにより、Fコード親展送信、Fコード掲示板送信、Fコード中継送信ができます。

［操作の前に］

●あらかじめ、相手機に登録されている機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。

●ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を削除すると、Fコード送信はできません。（→125ページ）

1. ①送信する面を上にして原稿をセットする（→38ページ）

② 画質 ◯ 濃度 ◯ **を押す**

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

2. •応用通信 ▭ **を押す**

```
1．ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
                ▼／▲／セット
```

3. ① ◁▷△▽ **を2回押す**

＊ •応用通信 ▭ を2回押して選ぶこともできます。

```
3．Fｺｰﾄﾞ　ｿｳｼﾝ
                ▼／▲／セット
```

② セット ◯ **を押す**

4. ①テンキーで、相手機に登録されている機能のサブアドレスを入力する

```
ｻﾌﾞ ｱﾄﾞﾚｽ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
1 2 3 4＿
```

＊サブアドレスは20桁以内の数字が使用できます。

② セット ◯ **を押す**

5. ①テンキーで、パスワードを入力する

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
1 2 3 4＿
```

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。

＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

② セット ◯ **を押す**

＊この操作の後、 •応用通信 ▭ を押し「時刻指定」を選んで セット ◯ を押すと、送信時刻を指定できます。（「時刻指定送信」→71ページ）

6. 相手先のファクス番号を入力する

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤルが使用できます。

＊ •同報 ▭ を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は20宛先までです。）

7. スタート ◯ **を押す**

POINT

●番号を間違えて入力したときは

・ クリア ◯ を押して訂正してください。

●原稿読み取り後は

・ ファクス中止 ◯ で消去、予約確認できます。（→48ページ）

Fコードポーリングをする

●相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

［操作の前に］

●あらかじめ相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。

●ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を削除すると、Fコードポーリングはできません。（→125ページ）

1. •応用通信 **を押す**

```
1．ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
                ▼／▲／セット
```

2. ① **を3回押す**

＊ •応用通信 を3回押して選ぶこともできます。

```
4．Fｺｰﾄﾞ　ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
                ▼／▲／セット
```

② セット **を押す**

3. ①テンキーで、掲示板のサブアドレスを入力する

```
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
1234＿
```

＊サブアドレスは20桁以内の数字が使用できます。

② セット **を押す**

4. ①テンキーで、パスワードを入力する

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
1234＿
```

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。

＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

② セット **を押す**

＊この操作の後、 •応用通信 を押し「時刻指定」を選んで セット を押すと、送信時刻を指定できます。

（「時刻指定送信」→71ページ）

5. 相手先のファクス番号を入力する

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤルが使用できます。

＊ •同報 を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は20宛先までです。）

6. スタート **を押す**

●番号を間違えて入力したときは

・ クリア を押して訂正してください。

●原稿読み取り後は

・ ファクス中止 で消去、予約確認できます。（→48ページ）

Fコード用の掲示板に原稿を蓄積する

●Fコードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。
●1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

［操作の前に］
●Fコードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。（→85ページ）

1. ①蓄積する面を上にして原稿をセットする（→38ページ）

② 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

2. ①メニュー 文字 → タ GHI 4 ア 1 カ ABC 2 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．４１２
　２　Ｆコード゛　ボ゛ックス　ケ゛ンコウ
```

② セット を押す

3. ①テンキーで原稿を蓄積するFコードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力する（2桁で入力）

＊ で選ぶこともできます。

```
ボ゛ックス　ヲ　エランテ゛クダ゛サイ
０２：ナコ゛ヤシテン
```

② セット を押す

4. ①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力する

```
０２：Ｆコード゛　ボ゛ックス　ケ゛ンコウ
アンショウ　ハ゛ンコ゛ウ　　：１２３４
```

＊暗証番号が設定されていないときは、手順5に進みます。
＊暗証番号が間違っていると「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。操作をやり直してください。

② セット を押す

5. で原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選ぶ

```
ケ゛ンコウ　ウワカ゛キ　　：ＯＦＦ
　　▼／▲／セット
```

6. セット を押す

＊すでに30件原稿が蓄積されているときは「チクセキデキマセン」と表示されます。

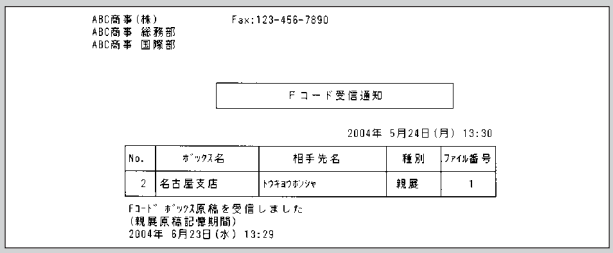
蓄積された原稿をプリントする

●親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿をプリントします。

[操作の前に]

●Fコードボックスに原稿を受信した場合は、Fコード受信通知がプリントされます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿をプリントします。

●親展受信の場合


ABC商事(株)　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

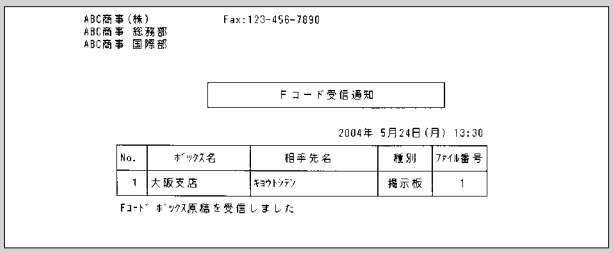
Fコード受信通知

2004年 5月24日(月) 13:30

No.	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
2	名古屋支店	ﾄｳｷｮｳﾎﾞｼｬ	親展	1

Fｺｰﾄﾞ ﾎﾞｯｸｽ原稿を受信しました
(親展原稿記憶期間)
2004年 6月23日(水) 13:29

●掲示板に受信した場合


ABC商事(株)　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

Fコード受信通知

2004年 5月24日(月) 13:30

No.	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
1	大阪支店	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	掲示板	1

Fｺｰﾄﾞ ﾎﾞｯｸｽ原稿を受信しました

●掲示板に受信および蓄積した原稿をプリントする場合は、ファイル番号を指定してプリントします。

1. ①メニュー(文字)→ タGHI 4 サDEF 3 カABC 2 と押す

```
[ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ]　　No.432
 2 Fｺｰﾄﾞ ﾎﾞｯｸｽ ｹﾞﾝｺｳ
```

② セット を押す

2. ①テンキーで、プリントしたい原稿が蓄積されているFコードボックス番号を入力する

＊ で選ぶこともできます。

```
ﾎﾞｯｸｽ ヲ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
02:ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ
```

② セット を押す

＊原稿が蓄積されていない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。原稿が蓄積されているFコードボックスを選んでください。

3. ①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力する

```
02:Fｺｰﾄﾞ ﾎﾞｯｸｽ ｹﾞﾝｺｳ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ　　:1234
```

＊掲示板ボックスに暗証番号が設定されていないときは、手順4に進みます。

＊親展受信原稿をプリントするときは、手順5に進みます。

② セット を押す

4. テンキーで、ファイル番号を入力する

＊0を入力すると、このFコードボックスに蓄積されているすべての原稿をプリントします。

```
02:Fｺｰﾄﾞ ﾎﾞｯｸｽ ｹﾞﾝｺｳ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:　　:1_
```

5. セット を押す

蓄積された指定原稿をプリントする

＊親展受信原稿はプリントすると自動的に消去されます。

＊掲示板に受信または蓄積した原稿は、プリントしても消去されません。

掲示板に蓄積された原稿を消去する

●掲示板ボックスに蓄積されている原稿を消去します。

1. ①メニュー 文字→ タGHI(4) カABC(2) カABC(2) と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．４２２
　２　Ｆコートﾞ　ﾎﾞックス　ｹﾞﾝｺｳ
```

② セット を押す

2. ①テンキーで、消去したい原稿が蓄積されているFコードボックス番号を入力する

＊ で選ぶこともできます。

```
ﾎﾞックス　ヲ　エランﾃﾞクﾀﾞサイ
０２：ナコﾞヤシテン
```

② セット を押す

3. ①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力する

＊掲示板ボックスに暗証番号が設定されていないときは、手順4に進みます。

② セット を押す

4. ①テンキーで、ファイル番号を入力する

＊0を選択すると、このＦコードボックスに蓄積されているすべての原稿を消去します。

② セット を押す

5. 消去してよければ、もう一度 セット を押す

＊消去を中止するときは クリア を押します。

Ｆコード蓄積原稿リストをプリントする

1. ①メニュー 文字→ ナJKL(5) ア(1) ア(1) と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．５１１
１１　Ｆコートﾞ　ｹﾞﾝｺｳ　リスト
```

② セット を押す

＊Ｆコード蓄積原稿リストがプリントされます。

＊蓄積原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890
ABC商事　総務部
ABC商事　国際部

＊＊　Ｆコード　ボックス蓄積原稿リスト　＊＊

P.1　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	ﾎﾞｯｸｽ名	種別	ファイル番号
1	大阪支店	掲示板	1
2	名古屋支店	親展	
3	広島支店	中継	

1．種　別

親展…… 親展ボックスとして登録されています。
中継…… 中継ボックスとして登録されています。
掲示板… 掲示板ボックスとして登録されています。

2．ファイル番号

受信した場合はFコード受信通知の原稿番号、蓄積した場合は蓄積時のファイル番号を表します。

POINT

●操作を中止するときは

・ ストップ を押します。

Fコードボックスを登録する

●Fコード通信を利用するためにFコードボックスを登録します。Fコードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。
●サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
●暗証番号を設定すると、特定の人以外はFコードボックスの操作ができなくなります。

1. メニュー ○文字→ 3 サDEF 3 サDEF 1 ア と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３３１
　１　Ｆコード゛　ボ゛ックス　セット
```

2. セット ○ を押す

3. ①テンキーで、登録したいFコードボックス番号（01～50）を入力する

＊ ◁△▷▽ で選ぶこともできます。

```
ボ゛ックス　ヲ　エランテ゛クダ゛サイ
０１：セット　サレテイマセン
```

＊すでにFコードボックスが登録されている場合は相手先名が表示されます。

② セット ○ を押す

4. ①すでにFコードボックスが登録されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力する

＊初めてFコードボックスを登録するときは、手順5に進みます。

```
０１：　Ｆコード゛ボ゛ックス　セット
アンショウ　ハ゛ンコ゛ウ　　：1２３４
```

② セット ○ を押す

5. ①ボックス名を入力する

＊半角文字では16文字、全角文字では8文字まで登録できます。
＊文字の入力方法は（→103ページ）

```
０１：ボ゛ックスメイ　；カタカナ
オオサカシテン
```

② セット ○ を押す

6. ①テンキーでサブアドレスを入力する

＊サブアドレスは20桁以内の数字が使用できます。

```
０１：サブ゛アド゛レス　ハ゛ンコ゛ウ
０００１１１２２２３３３
```

② セット ○ を押す

＊すでに他のＦコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス」と表示します。違う番号を入力し直してください。

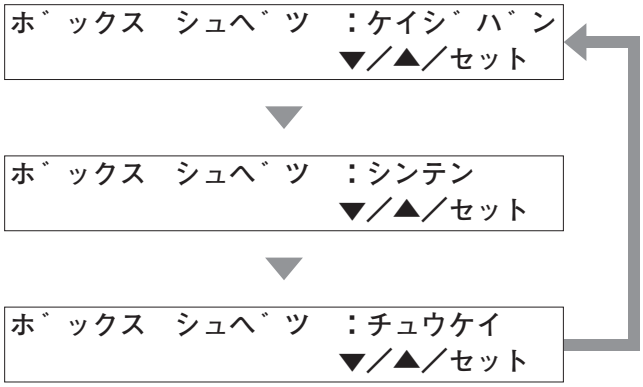
7. ①テンキーでパスワードを入力する

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。
＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

```
０１：パ゜スワード゛　ハ゛ンコ゛ウ
＊＊２２２２＊＊
```

② セット ○ を押す

8. ①◎でボックス種別を選ぶ



②セット○を押す

＊ボックス種別で掲示板を選んだ場合は手順9へ。
＊ボックス種別で親展を選んだ場合は手順10へ。
＊ボックス種別で中継を選んだ場合は手順11へ。

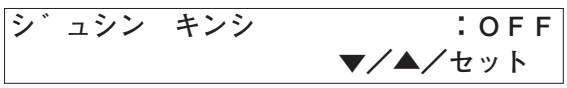
掲示板を選んだ場合

9. 受信禁止、同時プリント、上書き許可、送信原稿消去の設定を必要に応じて行う

受信禁止……ONにした場合は、ポーリング送信のみになります。
同時プリント…ONにした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。
上書き許可……ONにした場合は、前に蓄積されていた原稿は受信した原稿で上書きされます。
送信原稿消去…ONにした場合は、ポーリング送信後、原稿を消去します。

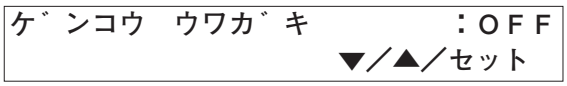
①◎で受信禁止のON/OFFを選び、セット○を押す

＊ONにすると同時プリント、上書き許可はOFFになり、設定できなくなります。

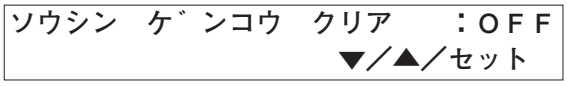


②◎で同時プリントのON/OFFを選び、セット○を押す

③◎で上書き許可のON/OFFを選び、セット○を押す



④◎で送信原稿消去のON/OFFを選び、セット○を押す

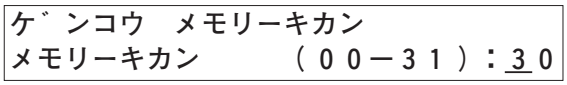


⑤手順12に進む

親展を選んだ場合

10. ①テンキーで親展原稿の保持期間（0～31日）を入力する

＊0を入力した場合は無制限に原稿を保持します。



②セット○を押す

③手順12に進む

中継指示を選んだ場合

11. ①配信先を入力する

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。

＊ •同報 を押すことにより、最大200宛先まで指定できます。

＊すでに配信先が指定されているときは、その登録内容が表示されます。

```
ﾊｲｼﾝｻｷ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
[01],S001,G1
```

②セット を押す

③ で配信したときの発信元の設定を選び、セット を押す

```
ﾊｲｼﾝｼﾞ　ﾊｯｼﾝﾓﾄ　:ﾂｹﾅｲ
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

▼

```
ﾊｲｼﾝｼﾞ　ﾊｯｼﾝﾓﾄ　:ｿﾄﾂﾞｹ
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

▼

```
ﾊｲｼﾝｼﾞ　ﾊｯｼﾝﾓﾄ　:ｳﾜｶﾞｷ
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

＊ツケナイ…配信する原稿に、自機の発信元名をつけません。

＊ソトヅケ…配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて 、自機の発信元名をつけます。

＊ウワガキ…配信する原稿に、自機の発信元名をつけます。(中継指示機の発信元名に自機の発信元名を上書きします。)

④ で同時プリントのON/OFFを選び、セット を押す

＊ONにした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。

```
ﾄﾞｳｼﾞ　ﾌﾟﾘﾝﾄ　　:OFF
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

⑤手順12に進む

12. テンキーで暗証番号を入力する

＊親展の場合は必ず暗証番号を登録してください。

＊掲示板、中継指示の場合は必要に応じて暗証番号を登録してください。

＊暗証番号を間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

＊ここで登録した暗証番号は蓄積原稿のプリントなどをするときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

＊掲示板、中継指示ボックスの暗証番号を解除するには、ここの手順で0000と入力します。

13. セット を押す

＊続けて次のボックス登録を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

14. ストップ を押す

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

POINT

●登録内容を変更する場合は

・Fコードボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア で消去してから新しく入力するか、 で設定を変更してください。

●ボックス種別を変更するときは

・変更したいFコードボックスを消去してから登録し直してください。

●操作を中止したいときは

・ ストップ を押します。

Fコードボックスを消去する

1. ①メニュー 文字 → サDEF 3 サDEF 3 カABC 2 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３３２
２　Ｆコード゛　ボ゛ックス　クリア
```

② セット を押す

2. ①テンキーで、消去したいFコードボックス番号（01～50）を入力する

＊↕で選ぶこともできます。

```
ボ゛ックス　ヲ　エランテ゛クダ゛サイ
０２：ナコ゛ヤシテン
```

＊すでにFコードボックスが登録されている場合は相手先名が表示されます。

② セット を押す

3. ①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力する

＊暗証番号が設定されていないときは、手順4に進みます。

```
０２：Ｆコード゛　ボ゛ックス　クリア
アンショウ　ハ゛ンコ゛ウ　　：1２３４
```

② セット を押す

4. 消去してよければ、セット を押す

＊消去を中止するときはクリア を押します。

＊原稿が蓄積されているＦコードボックスを消去することはできません。

＊続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。

5. ストップ を押す

＊消去を終了し、待機画面に戻ります。

Fコードボックスリストをプリントする

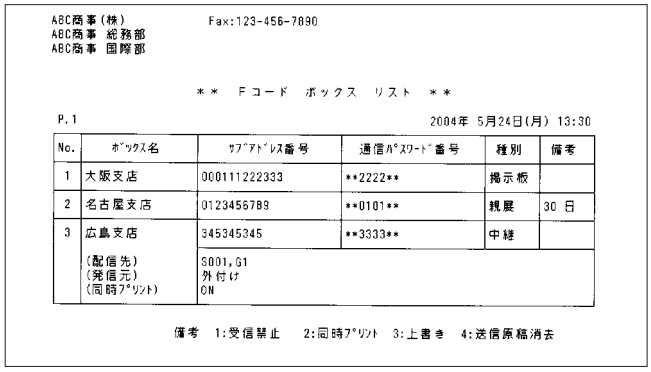
1. メニュー 文字 → ナJKL 5 ア 1 ワラン 0 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．５１０
１０　Ｆコード゛　ボ゛ックス　リスト
```

2. セット を押す

＊Fコードボックスリストがプリントされます。

＊Fコードボックスが１件も登録されていない場合は、「セット　サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。



ABC商事(株)　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊　Ｆコード　ボックス　リスト　＊＊

P.1　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	ﾎﾞｯｸｽ名	ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ番号	通信ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ番号	種別	備考
1	大阪支店	000111222333	**2222**	掲示板	
2	名古屋支店	0123456789	**0101**	親展	30 日
3	広島支店	345345345	**3333**	中継	
	(配信先) (発信元) (同時ﾌﾟﾘﾝﾄ)	S001,G1 外付け ON			

備考　1:受信禁止　2:同時ﾌﾟﾘﾝﾄ　3:上書き　4:送信原稿消去

POINT

●操作を中止するときは

・ストップ を押します。

ポーリングをする

相手先の原稿を取り出す（ポーリング）

●相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

●一度の操作で最大220宛先の相手からポーリングする指示もできます。

［操作の前に］

● スタート を押す前に送信時刻を指定することができます。（→71ページ）

●ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を、削除すると、ポーリングはできません。（→125ページ）

1. •応用通信 を押す

```
1．ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
                ▼／▲／セット
```

2. ①（▲▼◀▶） を1回押す

＊ •応用通信 を1回押して選ぶこともできます。

```
2．ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
                ▼／▲／セット
```

② セット を押す

3. 相手先のファクス番号を入力する

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤルが使用できます。

＊ •同報 を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は20宛先までです。）

4. スタート を押す

POINT

●番号を間違えて入力したときは

・ クリア を押して訂正してください。

● スタート を押した後は

・ ファクス中止 で消去できます。（→48ページ）

相手先の操作で送信する（ポーリング予約）

●原稿をあらかじめメモリーに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります。

1. ①蓄積する面を上にして原稿をセットする （→38ページ）

② 画質 濃度 を選ぶ

＊画質・濃度の選び方は（→39ページ）

2. メニュー 文字 → タ GHI 4 ア 1 ア 1 と押す

```
［ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ］　　Ｎｏ．４１１
 1　ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ　ｹﾞﾝｺｳ
```

3. セット を押す

＊ポーリング予約原稿が蓄積されます。

ポーリング予約原稿をプリントする

1. メニュー ○(文字)→ タ GHI 4 サ DEF 3 ア 1 **と押す**

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．４３１
　１　ホ゜ーリング゛　ケ゛ンコウ
```

2. セット ○ **を押す**

＊ポーリング予約原稿がプリントされます。
＊ポーリング予約原稿が蓄積されていない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示され、ポーリング予約原稿はプリントされません。

ポーリング予約原稿を消去する

1. メニュー ○(文字)→ タ GHI 4 カ ABC 2 ア 1 **と押す**

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．４２１
　１　ホ゜ーリング゛　ケ゛ンコウ
```

2. セット ○ **を押す**

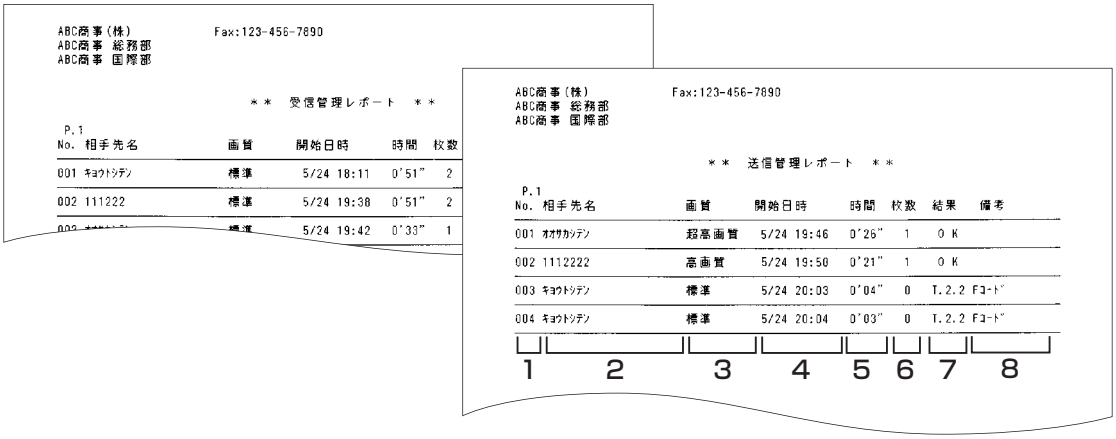
3. **消去してよければ、もう一度** セット ○ **を押す**

＊ポーリング予約原稿が消去されます。
＊消去を中止するときは クリア ○ を押します。

通信を管理する

●通信状況の一覧をプリントできます。→通信記録
送信管理レポート.....最新の100通信のうちの送信状況をプリントします。
受信管理レポート.....最新の100通信のうちの受信状況をプリントします。
＊最新の100通信以前の通信記録は、順次自動消去します。
●送信のたびに、通信枚数や送信結果などをプリントして確認できます。→送信確認証（→93ページ）
●1通信ごとの通信結果をディスプレイで確認できます。→通信結果の確認（→52ページ）

通信記録のみかた


ABC商事(株)
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部
Fax:123-456-7890
＊＊ 受信管理レポート ＊＊
P.1
No. 相手先名 画質 開始日時 時間 枚数
001 ｷｮｳﾄｼﾃﾝ 標準 5/24 18:11 0'51" 2
002 111222 標準 5/24 19:38 0'51" 2
003 5/24 19:42 0'33" 1
ABC商事(株)
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部
Fax:123-456-7890
＊＊ 送信管理レポート ＊＊
P.1
No. 相手先名 画質 開始日時 時間 枚数 結果 備考
001 ｵｵｻｶｼﾃﾝ 超高画質 5/24 19:46 0'26" 1 O K
002 1112222 高画質 5/24 19:50 0'21" 1 O K
003 ｷｮｳﾄｼﾃﾝ 標準 5/24 20:03 0'04" 0 T.2.2 Fｺｰﾄﾞ
004 ｷｮｳﾄｼﾃﾝ 標準 5/24 20:04 0'03" 0 T.2.2 Fｺｰﾄﾞ
1 2 3 4 5 6 7 8

1. NO
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局ID
（5）空白

3. 画質
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数
通信した枚数です。

7. 結果
通信結果です。
・OK……正常終了しました。
・＊ ……ECMモードで通信しました。
・＃ ……スーパーG3で通信しました。
・エラーコード ……異常終了です。もう一度送信してください。（→150ページ）

8. 備考
・ポーリング ……ポーリング、不在送信です。
・同　　報 ……同報送信です。
・手　　動 ……手動送信です。
・Fコード ……Fコード送信です。
・Fポー ……Fコードポーリングです。
・F親展 ……Fコード親展通信です。
・F中継 ……Fコード中継指示通信です。
・F掲示板 ……Fコード掲示板通信です。

通信記録をプリントする

1. ①メニュー 文字→ 5(ナ JKL) 0(ワヲン) 3(サ DEF) と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．503
03　ツウシンキロク
```

② セット を押す

2. でプリントしたい通信記録を選ぶ

```
ツウシンキロク
1　ソウシンキロク　　▼／▲／セット
        ▼
ツウシンキロク
2　ジュシンキロク　　▼／▲／セット
        ▼
ツウシンキロク
3　ソウジュシンキロク▼／▲／セット
```

＊「ソウシンキロク」：送信管理レポート
＊「ジュシンキロク」：受信管理レポート
＊「ソウジュシンキロク」：送信管理レポート、受信管理レポートを同時にプリント

3. セット を押す

＊選択した通信記録がプリントされます。
＊通信記録がない場合は、「ツウシンケッカ　アリマセン」と表示され、リストはプリントされません。

通信記録の設定　　初期設定：OFF

●ONに設定すると、最新の送信、受信が合わせて100通信になると通信記録をプリントします。

1. メニュー 文字→ 3(サ DEF) 1(ア) 1(ア) と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．311
 1　ツウシンキロク　ジドウセッテイ
```

2. セット を押す

3. ① でON/OFFを選ぶ

```
ジドウ　プリント　　：OFF
　　▼／▲／セット
```

② セット を押す

＊通信記録が設定され、次の設定画面になります。
＊ ストップ を押すと待機画面に戻ります。

送信確認証の設定　初期設定：OFF

●ONに設定すると、送信するたびに送信確認証をプリントします。
●ご愛用スイッチキーの設定にて「送信確認証」を設定すると、1通信ごとに送信確認証のON/OFFを切り替えることができます。(→125ページ)

1. メニュー 文字→ サDEF 3 ア 1 カABC 2 と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．３１２
 2　ソウシンカクニンショウ　セット
```

2. セット を押す

3. ① でON/OFFを選ぶ

```
ｼﾞﾄﾞｳ　ﾌﾟﾘﾝﾄ　　：ＯＦＦ
　　▼／▲／セット
```

② セット を押す

＊送信確認証が設定され、次の設定画面になります。
＊ ストップ を押すと待機画面に戻ります。

送信確認証のみかた

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊　送信確認証　＊＊

P.1　　2004年 5月24日(月) 13:30

ﾀﾞｲﾔﾙ番号	画質	開始日時	時間	枚数	結果	備考
111222333	標準	27,13:30	0'14"	1	# ＯＫ	

1　2　3　4　5　6　7

1. ダイヤル番号
以下の順に記録されます。
(1) ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名
(2) ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号
(3) 相手先の自局名
(4) 相手先の自局ID
(5) 空白

2. 画質
通信した画質です。

3. 開始日時
通信を開始した時刻です。

4. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

5. 枚数
通信した枚数です。

6. 結果
通信結果です。
・OK……正常終了しました。
・＊ ……ECMモードで通信しました。
・＃ ……スーパーG3で通信しました。
・エラーコード ……通信エラーのときはエラーコードが表示されます。(→150ページ)

7. 備考
・親　　展 ……親展送信、親展受信です。
・中　　継 ……中継指示送信です。
・ポーリング ……ポーリング、不在送信です。
・同　　報 ……同報送信です。
・手　　動 ……手動送信です。
・Fコード ……Fコード送信です。
・Fポー ……Fコードポーリングです。

ボイスワープサービスの利用について…

● 詳しくは、最寄りのNTT営業窓口へお問い合わせください。
● ボイスワープサービス…NTTのサービス名です。
● 受話器はオプション品です。（→172ページ）

ボイスワープサービスとは？

●かかってきた電話を、指定する場所へ転送することができます。操作も簡単で料金もお手頃です。様々な用途に合わせて自由自在な使い方ができます。

◆「自動転送機能」
かかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号へ自動的に転送します。

●無条件転送……かかってきた電話を、転送元の電話を呼び出さずに転送先に直接転送します。転送元には、現在転送中であることをお知らせするため、通常の電話より短いベルが3回鳴ります。
●無応答時転送……いったん転送元の電話を呼び出したあとに転送します。電話のベルが鳴っている間に受話器を上げると、電話をかけてきた方と会話できます。転送元の電話のベルを鳴らす回数は、1～9回まで指定できます。
●転送トーキ……電話をかけてきた方に、現在転送中であることを音声でお伝えします。
●転送元案内トーキ…転送先に、転送元の電話番号を音声でお知らせします。

V-660でボイスワープサービスを利用する前に設定する

●V-660でボイスワープサービスを利用するためには、必ずNTTへボイスワープサービスの契約をした後に下記の設定を行ってください。

自動転送サービスの停止

現在、NTTの自動転送サービスを利用されているお客さまは、サービスの停止をする必要があります。自動転送サービスを利用されていないお客さまは、この設定は必要ありません。

1. 受話器を上げて、ダイヤルボタンで「1」「4」「2」と押す

2. ①「サービスの停止は数字の0、サービスの開始は数字の1、転送先の登録は数字の2、呼出回数の指定は数字の3、初期設定は数字の4、ご利用状況の確認は数字の8を押してください。」と聞こえる

②ダイヤルボタンで数字の「0」を押す

3. 「サービスを停止いたしました。」と聞こえ、設定が完了する
電話を切る

応答後転送の利用を指定する

1. 受話器を上げて、ダイヤルボタンで「1」「4」「2」と押す

2. ①「サービスの停止は数字の0、サービスの開始は数字の1、転送先の登録は数字の2、呼び出し回数の指定は数字の3、初期設定は数字の4、ご利用状況の確認は数字の8を押してください。」と聞こえる

②ダイヤルボタンで数字の「4」を押す

3. ①「転送先リストへの登録は数字の0、転送先のリストによる指定は数字の1、転送トーキのご利用の指定は数字の2、リモコン操作のご利用の指定は数字の3、転送元案内のご利用の指定は数字の4、応答後転送のご利用の指定は数字の5、操作の終了は数字の9を押してください。」と聞こえる

②ダイヤルボタンで数字の「5」を押す

4. ①「応答後転送のご利用の指定を行います。応答後転送を利用しない場合は数字の0、利用する場合は数字の1を押してください。」と聞こえる

②ダイヤルボタンで数字の「1」を押す

5. ①「応答後転送ありにセットいたしました。」と聞こえ、手順3－①の音声メッセージが聞こえる

②ダイヤルボタンで数字の「9」を押す

6. 設定が完了する
電話を切る

＊V-660でボイスワープサービスを利用するには、「電話を転送する（フォンワープ）」（→96ページ）を参照してください。

電話を転送する
（フォンワープ）

●設定時間内にかかってきた電話を指定された宛先に転送します。また、登録している発信元からかかってきた電話を、指定された宛先に転送できます。オフィスで担当者の外出中に、お客さまからの電話があったときなど、たいへん便利です。
●転送先は10件まで登録できます。
●指定時刻内または指定発信元からの電話に限ります。
●外出先からフォンワープを設定することもできます。（→100ページ）

［操作の前に］

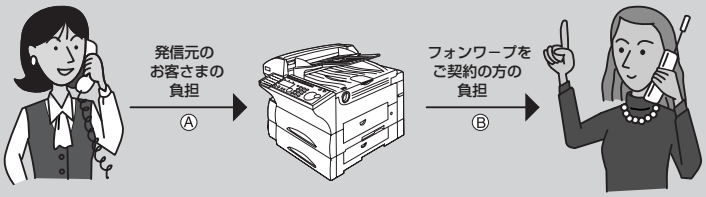
●フォンワープ機能を利用するにはNTT（西日本・東日本）のボイスワープサービスの契約が必要です。
●ボイスワープサービスのご利用については最寄りのNTT営業窓口へお問い合わせ下さい。
●フォンワープ機能の利用を開始する前に、あらかじめNTTへの設定が必要です。（→94ページ）
●受信モードを「ファクス／デンワ　タイキ」または「デンワ／ファクス　タイキ」に設定してください。
●フォンワープを有効にするには転送先を登録し、フォンワープの設定を「ON」にしてください。
●指定時刻内または指定発信元からの電話に限ります。
●ご愛用スイッチキーの設定にて「フォンワープ」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでフォンワープのON/OFFを設定することができます。（→125ページ）

＜通話料について＞

発信元のお客さまから転送元（フォンワープをご契約いただいている電話）まで（下図Ａ）の通話料は、発信元のお客さまのご負担となります。

転送元から転送先まで（下図Ｂ）の通話料は、転送元（フォンワープをご契約いただいている電話）のお客さまのご負担となります。

＊転送先がお話し中や応答しない場合、通話料はかかりません。
＊プッシュ回線、ダイヤル回線のいずれもご利用できます。



フォンワープを設定する　　初期設定：OFF

●フォンワープを設定する前に、転送先の登録を行ってください。（→97ページ）

1. メニュー 文字 →（サ DEF 3）（ハ MNO 6）（ア 1）と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３６１
 １　フォンワーフ゜　セット
```

2. セット を押す

3. ①（カーソル）でON/OFFを選ぶ

```
フォンワーフ゜　　：ＯＦＦ
　　▼／▲／セット
```

② セット を押す

＊転送先が登録されているとフォンワープが設定され、次の設定画面になります。
＊ ストップ を押すと待機画面に戻ります。

転送先を登録する

［操作の前に］

●フォンワープには、時刻指定転送と発信元特定転送があります。

＜時刻指定転送のとき＞

●時刻指定…設定した時刻の範囲で転送を行います。

＊他の転送先登録と転送時間が重なる場合は登録できません。

＜発信元特定転送のとき＞

●発信元……NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用し、発信元番号を登録すると、相手先を限定して転送することができます。

＊NTTとの契約が必要です。

＊他の転送先登録と発信元が重なる場合は登録できません。

1. メニュー（文字）→ サ DEF 3 ハ MNO 6 カ ABC 2 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３６２
　２　フォンワーフﾟ　トウロク
```

2. セット を押す

3. ①▲▼◀▶ で転送先を選ぶ

＊テンキーで選ぶこともできます。

```
テンソウサキ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
０１：セット　サレテイマセン
```

② セット を押す

4. ①転送先番号を入力する

```
０１：テンソウ　ﾊﾞﾝｺﾞｳ
１１１－２２２－３３３３＿
```

＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（→127ページ）

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。

＊転送先番号の入力は１ヵ所のみです。ダイヤル番号は最大40桁です。

② セット を押す

5. ①▲▼◀▶ で「ジコク　シテイ」または「ハッシンモト　トクテイ」を選ぶ

```
テンソウ　　：ｼﾞｺｸ　シテイ
　　▼／▲／セット
```

② セット を押す

時刻指定転送の場合

6. 開始時刻を入力する

①▲▼◀▶ で曜日を入力する

```
０１：シテイ　ｼﾞｺｸ
（金）　＊＊：＊＊――（＊）　＊＊：＊＊
```

②テンキーで開始する時刻を入力する

```
０１：シテイ　ｼﾞｺｸ
（月）　２１：００――（＊）　＊＊：＊＊
```

＊時刻は24時間制で入力します。

＊ クリア を押すと、指定した時刻をすべて消去します。

7. 終了時刻を入力する

①◯で、曜日を入力する

②テンキーで、終了する時刻を入力する

＊時刻は24時間制で入力します。

＊クリア◯を押すと、指定した時刻をすべて消去します。

③セット◯を押す

手順8に進みます。

発信元指定転送の場合

6. テンキーで発信元番号を入力する

```
０１：ハッシンモト　ﾊﾞﾝｺﾞｳ
４４４ー５５５ー６６６＿
```

＊NTTのナンバー・ディスプレイサービスに契約していないときは、何も入力しないで次に進みます。

＊ハイフンは記号(#)を1回押すと入力できます。

＊発信元番号の入力は１ヵ所のみです。ダイヤル番号は最大20桁です。

7. セット◯を押す

8. 続けて転送先の登録をするときは、手順4から操作を繰り返す

＊登録を終了するときはストップ(▽)を押します。

MEMO

●転送先の電話番号を間違えないように注意してください。転送先の方にも、かけてこられた方にも迷惑がかかりますので、正確に登録してください。

転送先を消去する

1. メニュー◯(文字)→ サDEF 3 ハMNO 6 サDEF 3 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．３６３
３　フォンワーフ゜　クリア
```

2. セット◯を押す

3. ①◯で消去したい転送先を選ぶ

＊テンキーで選ぶこともできます。

```
テンソウサキ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
０１：１１１ー２２２ー３３３３
```

②セット◯を押す

③消去してよければ、もう一度セット◯を押す

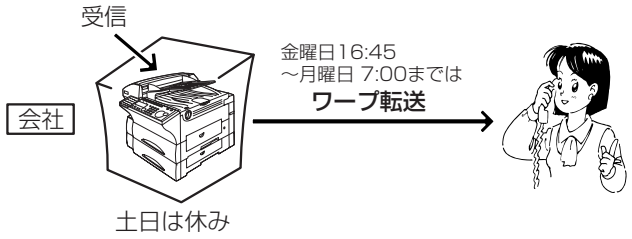
＊消去を中止するときはクリア◯を押します。

＊消去した転送先以降の転送先番号を1つずつ前に繰り上げます。

4. 続けて消去を行うときは、手順3を繰り返す

＊消去を終了するときはストップ(▽)を押します。

フォンワープの動作



電話をかけたとき

1. ①ファクスに電話をかける

②着信したら「電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。ファクシミリをご利用の方は、スタートボタンを押してください。」と聞こえる

＊ここで「#」を押すと、リモート操作（フォンワープのON／OFFの設定）ができます。（→100ページ）

＊スタート を押すと、送信が始まります。

2. 「ただいまより電話を転送いたします。」と聞こえ、保留メロディーが流れる

3. 相手先と会話する

電話を受けたとき

1. 電話を取る

2. 「ただいまより電話を転送いたします。よろしければ＃を押してください。」と聞こえる
電話に出る場合は「#」を押す

＊「#」以外のボタンを3回以上押すと、回線が切れます。

リストをプリントする

1. メニュー ○（文字）→ ナJKL 5 ア 1 タGHI 4 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．５１４
１４　フォンワーフﾟ　リスト
```

2. セット ○ を押す

＊フォンワープリストがプリントされます。

＊転送先が１件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊　フォンワープ　リスト　＊＊

P.1　　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	転送先・転送方法
1	8 001 指定時刻： (木)19:00 ～ (金)06:00
2	111-222-3333 発信元特定： 444-555-6666
3	[01] 指定時刻： (日)22:00 ～ (火)05:00

外出先からの操作（リモート操作）

●外出先からファクスに電話をかけて、フォンワープを設定することができます。

［操作の前に］

●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号を送ることができる電話機から行ってください。ダイヤル回線でトーン信号を送ることができる電話機の場合は、電話をかけたあとトーン信号に切り替えてください。

●受信モードが「ファクス／デンワ　タイキ」または「デンワ／ファクス　タイキ」に設定されている必要があります。（→30ページ）

●事前登録が必要です。

①ワープ暗証番号の登録（→135ページ）

②転送先の登録（→97ページ）

1. ①ファクスに電話をかける

②着信したら「#」を押す

＊着信後、4秒間無音状態になり、その後呼び出し音が鳴り始めます。呼び出し音の鳴動が開始されると、「#」が認識できないことがあります。

＊フォンワープの設定がONのときは「電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ち下さい。ファクシミリをご利用の方は、スタートボタンを押してください。」と聞こえます。「#」を押してください。

2. 「暗証番号を押してください。」と聞こえたら、ダイヤルボタンで暗証番号（4桁）を押す

＊暗証番号が正しくない場合、「番号が間違っています。」と聞こえます。もう一度暗証番号を押し直してください。

3. 「自動転送する場合は数字の1、解除するには数字の2を押してください。」と聞こえる
自動転送（設定をON）するときは数字の「1」を、解除（設定をOFFするときは数字の「2」を押す

＊「1」「2」以外の数字を押した場合は、「番号が間違っています。」と聞こえます。もう一度番号を押し直してください。

「1」を押したとき

①事前に転送先の登録がある場合は、「自動転送を設定しました。」と聞こえる
手順4に進む

＊事前に転送先の登録がない場合は、「事前登録がないため、設定できません。」と聞こえ、回線が切れます。

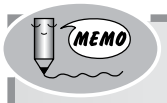
「2」を押したとき

①「自動転送を解除しました。」と聞こえる
手順4に進む

4. **「設定が完了しました。続けて操作する場合は数字の0を、終了する場合は数字の9を押してください。」と聞こえる**
続けて操作するときは数字の「0」を、操作を終了するときは数字の「9」を押す

＊「9」を押した場合は、この操作で終了です。電話をお切りください。
＊「0」「9」以外の数字を押した場合は、「番号が間違っています。」と聞こえます。もう一度番号を押し直してください。

5. **「0」を押したときは、手順3から操作を繰り返す**



●間違った操作を3回以上行うと、「お確かめの上、おかけ直しください。」と聞こえ、回線が切れます。

第4章 — 登録編 —

文字入力の仕方……103
漢字・全角文字を入力する……103
カタカナを入力する……105
アルファベットを入力する……105
数字、#、＊を入力する……105
記号を入力する……106
コードで入力する……106
登録されている相手先名を利用する……106
文字を修正する……107
文字を挿入する……107
文字入力例「関西ブロック」と入力するには……107
ワンタッチダイヤルを登録する……109
登録する……109
ワンタッチ宛名ラベルの記入のしかた……110
挿入または削除する……110
消去する……111
リストをプリントする……111
短縮ダイヤルを登録する……112
登録する……112
挿入または削除する……113
消去する……114
リストをプリントする……114
グループダイヤルを登録する……115
登録する……115
消去する……116
リストをプリントする……116
プログラムワンタッチを登録する……117
「通信」を登録する……117
個別設定……120
「リストプリント」を登録する……121
「原稿蓄積」を登録する……122
消去する……123
リストをプリントする……124
プログラムワンタッチの使い方……124
ご愛用スイッチキーを登録する……125
登録する……126
ご愛用スイッチキーの使い方……126
ダイヤル記号を入力する……127

文字入力の仕方

●発信元やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの相手先など、文字を入力するときに参照してください。

［操作の前に］

●文字や記号はともに１文字ずつ入力します。
●カタカナ、アルファベット、数字、＃、＊、記号は半角文字で入力されます。
●メッセージ、Fコードボックス名、発信元名のみ漢字コード入力により、全角文字で入力することもできます。
●ひらがなと漢字はすべて全角文字で入力されます。

漢字・全角文字を入力する

1. 操作の前に文字のコードを確認する

＊全角文字コードの確認は（→164ページ）

2. メニュー ○（文字）で漢字コード入力に切り替える

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ　ﾒｲ　１;ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
＿
```

3. コードを４桁で入力する

【例】「関西」と入力するとき

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ　ﾒｲ　１;ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
[２０５＿]
```

4. コードが正しいときは、漢字コードがカッコで囲まれる

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ　ﾒｲ　１;ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
（２０５６）（３２３０）＿
```

5. セット ○ を押す

≪各モードで入力できる文字≫

テンキー	カタカナ	英　数	漢字・記号コード
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ	1	1
カ ABC 2	カキクケコ	2ＡＢＣａｂｃ	2
サ DEF 3	サシスセソ	3ＤＥＦｄｅｆ	3
タ GHI 4	タチツテトッ	4ＧＨＩｇｈｉ	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	5ＪＫＬｊｋｌ	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	6ＭＮＯｍｎｏ	6
マ PQRS 7	マミムメモ	7ＰＱＲＳｐｑｒｓ	7
ヤ TUV 8	ヤユヨャュョ	8ＴＵＶｔｕｖ	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	9ＷＸＹＺｗｘｙｚ	9
ワヲン 0	ワヲン	0	0
゛゜ *	゛゜	＊	
記号 #	－（　）＿・．SP	＃＊@＆－（　）＿・．；，SP	

＊「SP」はスペース（空白）を示しています。

≪入力の例≫

「ウ」：メニュー ○文字でカタカナ入力に切り替え、ア 1 を3回押す

「B」：メニュー ○文字で英数入力に切り替え、カ ABC 2 を3回押す

「b」：メニュー ○文字で英数入力に切り替え、カ ABC 2 を6回押す

「7」：メニュー ○文字で英数入力に切り替え、マ PQRS 7 を1回押す

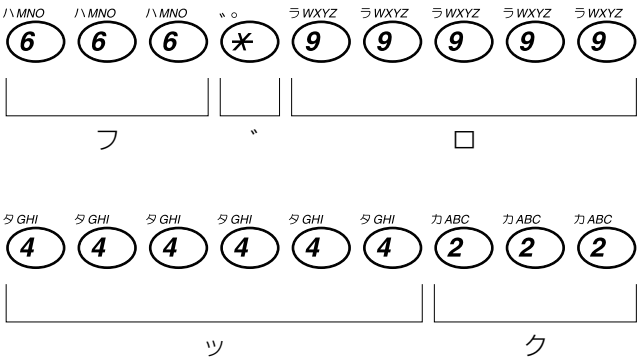
カタカナを入力する

1. メニュー ○文字 **でカタカナ入力に切り替える**

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
＿
```

2. テンキーで入力したい文字を入力する

【例】「ブロック」と入力するとき




```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
フ゛ロック
```

3. セット ○ **を押す**

アルファベットを入力する

1. メニュー ○文字 **で英数入力に切り替える**

```
ハッシンモト　メイ　１；エイスウ
＿
```

2. テンキーで入力したい文字を入力する

【例】「C」を入力するとき

＊ カABC 2 を４回押します。

```
ハッシンモト　メイ　１；エイスウ
C
```

3. セット ○ **を押す**

数字、＃、＊を入力する

1. メニュー ○文字 **で英数入力に切り替える**

```
ハッシンモト　メイ　１；エイスウ
＿
```

2. テンキーで入力したい数字、＃、＊を入力する

【例】「7」を入力するとき

＊ マPQRS 7 を１回押します。

```
ハッシンモト　メイ　１；エイスウ
7
```

3. セット ○ **を押す**

記号を入力する

1. (メニュー) ○(文字)でカタカナ入力または英数入力に切り替える

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
＿
```

```
ハッシンモト　メイ　１；エイスウ
＿
```

2. テンキーで入力したい記号を入力する

【例】カタカナ入力で「(」を入力するとき

＊ (記号)(#) を2回押します。

(記号)(#) (記号)(#)

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
(
```

【例】英数入力で「&」を入力するとき

＊ (記号)(#) を4回押します。

(記号)(#) (記号)(#) (記号)(#) (記号)(#)

```
ハッシンモト　メイ　１；エイスウ
&
```

3. (セット)○ を押す

●続けて同じ文字や同じテンキーの文字を入力する場合は

・(◆) を1回押してカーソルを右に移動させてから入力します。

コードで入力する

1. 操作の前に文字のコードを確認する

＊文字コードの確認は（→163ページ）

2. (メニュー) ○(文字)で記号コード入力に切り替える

```
ハッシンモト　メイ　１；ｷｺﾞｳｺｰﾄﾞ
＿
```

3. コードを4桁で入力する

```
ハッシンモト　メイ　１；ｷｺﾞｳｺｰﾄﾞ
［０１０＿］
```

4. コードが正しいときは、文字に変換される

【例】「?」を入力したとき

```
ハッシンモト　メイ　１；ｷｺﾞｳｺｰﾄﾞ
?＿
```

登録されている相手先名を利用する

●ワンタッチ、短縮等の相手先名を登録するときは、電話帳から文字を検索して入力することができます。同じ文字を何度も登録するときに便利です。

1. 相手先名の登録画面のときに、(◆)(電話帳) を押す

【例】ワンタッチダイヤルの登録時

```
０１：アイテサキメイ　：　　［キ］
キョウトシテン　　：［０１］
```

2. (◆) で登録したい文字を検索する

```
０１：アイテサキメイ　：　　［ト］
トウキョウシテン　　：［０３］
```

3. (セット)○ を押す

＊検索した文字を修正したいときは (クリア)○ を押して不要な文字を消去し、入力し直してください。

文字を修正する

文字を削除するには

1. ◎ を押し、削除したい文字にカーソルを移動する

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）ﾌﾞロック
```

＊漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

2. クリア ○ を押す

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）ﾌﾞロック
```

＊漢字コードの消去は、4桁のコードすべてが消去されます。

直前に入力した文字を消去するには

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）ﾌﾞロッｸ
```

1. クリア ○ を押す

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）ﾌﾞロッ
```

＊直前に入力された文字が消去されます。

文字を挿入する

1. ◎ を押し、挿入したい場所の次の文字にカーソルを移動する

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）ﾌﾞック
```

2. 文字を入力する

＊テンキーで挿入したい文字を入力します。

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）ﾌﾞロック
```

＊文字が挿入されます。

文字入力例「関西ブロック」と入力するには

1. 操作の前に「関」「西」の文字コードを確認しておく

＊165ページの表を参照し、「関」が文字コード「2056」、「西」が文字コード「3230」であることを確認しておきます。

2. メニュー/文字 ○ で漢字コード入力に切り替える

```
ハッシンモト　メイ　１；カンｼﾞコードﾞ
＿
```

3. 「関」の文字コードを入力する

```
ハッシンモト　メイ　１；カンｼﾞコードﾞ
［２０５＿］
```

＊コードが間違っている場合はブザーが鳴ります。

4. 続けて「西」の文字コードを入力する

```
ハッシンモト　メイ　１；カンｼﾞコードﾞ
［３２３＿］
```

5. メニュー/文字 ○ でカタカナ入力に切り替える

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）
```

6. テンキーで「フ」を入力する

＊ ハMNO 6 を3回押します。

ハMNO 6　ハMNO 6　ハMNO 6

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）フ
```

7. テンキーで「゛」を入力する

＊ ゛゜ ✱ を1回押します。

゛゜ ✱

```
ハッシンモト　メイ　１；カタカナ
（２０５６）（３２３０）ﾌﾞ
```

8. テンキーで「ロ」を入力する

＊ ラWXYZ 9 を5回押します。

ラWXYZ 9　ラWXYZ 9　ラWXYZ 9　ラWXYZ 9　ラWXYZ 9

```
ハッシンモト　メイ　1；カタカナ
（２０５６）（３２３０）フ゛ロ
```

9. テンキーで「ッ」を入力する

＊ タGHI 4 を6回押します。

タGHI 4　タGHI 4　タGHI 4　タGHI 4　タGHI 4　タGHI 4

```
ハッシンモト　メイ　1；カタカナ
（２０５６）（３２３０）フ゛ロッ
```

10. テンキーで「ク」を入力する

＊ カABC 2 を3回押します。

カABC 2　カABC 2　カABC 2

```
ハッシンモト　メイ　1；カタカナ
（２０５６）（３２３０）フ゛ロック
```

ワンタッチダイヤルを登録する

●よく通信する相手先を、60カ所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名を登録しておくことができます。
●1度登録したワンタッチダイヤルの内容を変更するときは、POINTを参照してください。

［操作の前に］
●電話番号：40桁まで登録できます。
●相手先名：半角文字で24文字まで登録できます。
●ワンタッチダイヤルに使用できるキーは1～60のキーです。

登録する

1. メニュー → 文字 → (ア)1 (ア)1 (ア)1 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．１１１
　１　ワンタッチﾀﾞｲヤル　セット
```

2. セット を押す

3. ①登録したいワンタッチキーを押す

〈2〉に登録するとき

2

＊ で選ぶこともできます。

＊登録できるワンタッチキーは1～60です。

② セット を押す

4. ①相手先番号を入力する（最大40桁）

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（→127ページ）

＊番号を間違えて入力したときは、クリア を押して、正しい番号を入力し直してください。

```
０２：ﾀﾞｲヤル　ﾊﾞﾝｺﾞｳ
０６－６６６６－７７７７＿
```

② セット を押す

5. ①相手先名を入力する

＊半角文字で24文字まで登録できます。
＊文字の入力方法は（→103ページ）

```
０２：アイテサキメイ　；カタカナ
オオサカシテン
```

② セット を押す

＊他のワンタッチダイヤルを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

6. ストップ を押す

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

POINT

●操作を中止したいときは
・ストップ を押します。

●番号を間違えて入力したときは
・クリア を押して訂正してください。

●登録内容を変更する場合は
・「登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、クリア で消去してから新しく入力してください。

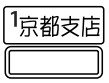
MEMO

●操作を中断してから1分を経過すると、自動的にはじめの画面に戻ります。

ワンタッチ宛名ラベルの記入のしかた

1. 取説キットに同梱されているワンタッチ宛名ラベルに、登録した相手先名を記入する

＊鉛筆やボールペンを使用して、ワンタッチ宛名ラベルに相手先などを記入します。



挿入または削除する

●挿入…選択したワンタッチダイヤルに新しく登録すると、その番号以降のワンタッチダイヤルを１つずつ後ろにずらします。ただし、ワンタッチキー〈60〉に登録されている場合は、挿入できません。

●削除…選択したワンタッチダイヤルを消去すると、その番号以降のワンタッチダイヤルを１つずつ前に繰り上げます。

＊プログラムワンタッチに登録されているワンタッチダイヤルの内容がずれないように、注意してください。ずれた場合は、プログラムワンタッチを再登録してください。

1. メニュー 文字 → ア 1 ア 1 サDEF 3 **と押す**

```
[キノウ　センタク]　　No．113
 3　ワンタッチ　ソウニュウ／サクジョ
```

2. セット **を押す**

3. ①挿入または削除したい番号のワンタッチキーを押す

＊ で選ぶこともできます。

② セット **を押す**

挿入する場合

4. ① **で「ソウニュウ」を選択する**

```
02：ショリ　モード　　：ソウニュウ
                ▼／▲／セット
```

② セット **を押す**

5.「登録する」の手順4～5を行う（→109ページ）

＊登録したワンタッチダイヤルが挿入されます。

削除する場合

4. ① **で「サクジョ」を選択する**

```
02：ショリ　モード　　：サクジョ
                ▼／▲／セット
```

② セット **を押す**

```
02：ワンタッチダイヤル　サクジョ
スル　　→　セットキー
```

▼ ▲

```
02：ワンタッチダイヤル　サクジョ
シナイ　→　クリアキー
```

＊交互に表示します。

5. 消去してよければ、もう一度 セット **を押す**

＊消去を中止するときは クリア を押します。

＊続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

6. ストップ **を押す**

＊挿入または削除を終了し、待機画面に戻ります。

消去する

1. メニュー 文字 → ア 1 ア 1 カABC 2 と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．112
 2　ワンタッチﾀﾞｲヤル　クリア
```

2. セット を押す

3. ①消去したいワンタッチキーを押す

＊ で選ぶこともできます。

② セット を押す

4. 消去してもよければ、もう一度 セット を押す

＊消去を中止するときは クリア を押します。

＊続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

5. ストップ を押す

＊消去を終了し、待機画面に戻ります。

リストをプリントする

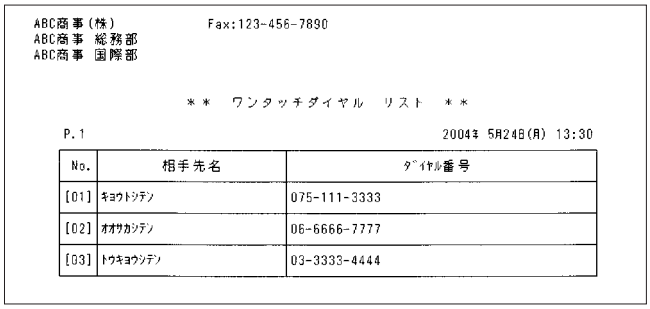
1. メニュー 文字 → ナJKL 5 ワラン 0 ナJKL 5 と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．505
05　ワンタッチﾀﾞｲヤル　リスト
```

2. セット を押す

＊ワンタッチダイヤルリストがプリントされます。

＊番号が1件も登録されていない場合は、「セット　サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。



ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊　ワンタッチダイヤル　リスト　＊＊

P.1　　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
[01]	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	075-111-3333
[02]	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	06-6666-7777
[03]	ﾄｳｷｮｳｼﾃﾝ	03-3333-4444

短縮ダイヤルを登録する

●よく通信する相手先を、140カ所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名を登録しておくことができます。
●1度登録した短縮ダイヤルの内容を変更するときは、POINTを参照してください。

［操作の前に］
●電話番号：40桁まで登録できます。
●相手先名：半角文字で24文字まで登録できます。
●短縮番号：001～140まで登録できます。
●ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルを指定することはできません。（→125ページ）

登録する

1. メニュー ○文字→ ア 1 カABC 2 ア 1 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．１２１
１　タンシュクﾀﾞイヤル　セット
```

2. セット ○ を押す

3. ①テンキーで登録したい短縮番号を入力する

〈002〉に登録するとき

ワラン 0 ワラン 0 カABC 2

＊ ◎ で選ぶこともできます。

＊登録できる短縮番号は001～140です。

② セット ○ を押す

4. ①相手先番号を入力する（最大40桁）

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（→127ページ）

＊番号を間違えて入力したときは、クリア ○ を押して、正しい番号を入力し直してください。

```
００２：ﾀﾞｲﾔﾙ　ﾊﾞﾝｺﾞｳ
０８９９－１１－１１３３＿
```

② セット ○ を押す

5. ①相手先名を入力する

＊半角文字で24文字まで登録できます。
＊文字の入力方法は（→103ページ）

```
００２：アイテサキメイ；カタカナ
シコクシテンﾝ
```

② セット ○ を押す

＊他の短縮番号を登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

6. ストップ ▽ を押す

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

POINT

●操作を中止したいときは
・ストップ ▽ を押します。

●番号を間違えて入力したときは
・クリア ○ を押して訂正してください。

●登録内容を変更する場合は
・「登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、クリア ○ で消去してから新しく入力してください。

MEMO

●操作を中断してから1分を経過すると、自動的にはじめの画面に戻ります。

挿入または削除する

●挿入…選択した短縮ダイヤルに新しく登録すると、その番号以降の短縮ダイヤルを１つずつ後ろにずらします。ただし、短縮ダイヤル〈140〉に登録されている場合は、挿入できません。
●削除…選択した短縮ダイヤルを消去すると、その番号以降の短縮ダイヤルを１つずつ前に繰り上げます。

＊プログラムワンタッチに登録されている短縮ダイヤルの内容がずれないように、注意してください。ずれた場合は、プログラムワンタッチを再登録してください。

1. メニュー 文字 →（ア）1 カABC 2 サDEF 3 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．１２３
３　タンシュク　ソウニュウ／サクジョ
```

2. セット を押す

3. ①テンキーで挿入または削除したい短縮番号を押す

＊ で選ぶこともできます。

② セット を押す

挿入する場合

4. ① で「ソウニュウ」を選ぶ

```
００２：ショリ　モード　　：ソウニュウ
                ▼／▲／セット
```

② セット を押す

5. 「登録する」の手順4～5を行う（→112ページ）

＊登録した短縮ダイヤルが挿入されます。

削除する場合

4. ① で「サクジョ」を選ぶ

```
００２：ショリ　モード　　：サクジョ
                ▼／▲／セット
```

② セット を押す

```
００２：タンシュクダイヤル　サクジョ
スル　　→　セットキー
```

▼ ▲

```
００２：タンシュクダイヤル　サクジョ
シナイ　→　クリアキー
```

＊交互に表示します。

5. 消去してよければ、もう一度 セット を押す

＊消去を中止するときは クリア を押します。

＊続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

6. ストップ を押す

＊挿入または削除を終了し、待機画面に戻ります。

消去する

1. メニュー ○文字→ ア 1 カABC 2 カABC 2 **と押す**

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．１２２
２　タンシュクﾀﾞｲヤル　クリア
```

2. セット ○ **を押す**

3. ①テンキーで消去したい短縮番号を入力する

＊ ◇ で選ぶこともできます。

② セット ○ **を押す**

4. 消去してよければ、もう一度 セット ○ **を押す**

＊消去を中止するときは、クリア ○ を押します。

＊続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

5. ストップ ▽ **を押す**

＊消去を終了し、待機画面に戻ります。

リストをプリントする

1. メニュー ○文字→ ナJKL 5 ワヲン 0 ハMNO 6 **と押す**

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．５０６
０６　タンシュクﾀﾞｲヤル　リスト
```

2. セット ○ **を押す**

＊短縮ダイヤルリストがプリントされます。

＊番号が１件も登録されていない場合は、「セット　サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊　短縮ダイヤル　リスト　＊＊

P.1　　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
S001	ホクリクシテン	0792-11-1111
S002	シコクシテン	0899-11-1133

グループダイヤルを登録する

●多数の相手に送信するとき、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録されている相手先へグループ単位でダイヤル（グループ送信）することができます。
●1度登録したグループダイヤルの内容を変更するときは、POINTを参照してください。

［操作の前に］
●グループ番号：01～32まで登録できます。
●ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルを指定することはできません。（→125ページ）

登録する

1. メニュー ○文字→ ア 1 サ DEF 3 ア 1 と押す

```
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．１３１
　１　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ　セット
```

2. セット ○ を押す

3. ①テンキーで登録したいグループ番号を入力する

〈02〉に登録するとき
ワヲン 0 カ ABC 2

＊ ◇ で選ぶこともできます。

＊登録できるグループ番号は01～32です。

② セット ○ を押す

4. ワンタッチダイヤルまたは短縮番号を入力する

ワンタッチダイヤルを指定するとき

①相手先が登録されているワンタッチキーを押す

```
０２：オオサカシテン
［０２］＿
```

短縮ダイヤルを指定するとき

＊短縮ダイヤルを指定する場合は、ご愛用スイッチキーに「短縮／グループ」を設定する必要があります。

① ●短縮／グループ を押す

②テンキーで短縮番号を入力する

すべてのワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを指定するとき

① ＊ を押す

＊すべてのワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルが指定されます。

5. セット ○ を押す

＊他のグループダイヤルを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

＊ ストップ ◇ を押すと、待機画面に戻ります。

POINT

●操作を中止したいときは
・ ストップ ◇ を押します。

●番号を間違えて入力したときは
・ クリア ○ を押して消去してから、新しく入力してください。

●登録内容を変更する場合は
・「登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、 クリア ○ で消去するか、新しい宛先を指定してください。

MEMO

●操作を中断してから1分を経過すると、自動的にはじめの画面に戻ります。

消去する

1. メニュー ○文字→ ア 1 サ DEF 3 カ ABC 2 と押す

```
[ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ]　　No.132
2　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ　ｸﾘｱ
```

2. セット ○ を押す

3. ①テンキーで消去したいグループ番号を入力する

＊ ◁▽△▷ で選ぶこともできます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
01:[01],[15],S001
```

② セット ○ を押す

4. 消去してよければ、もう一度 セット ○ を押す

＊消去を中止するときは、 クリア ○ を押します。

＊続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

5. ストップ ▽ を押す

＊消去を終了し、待機画面に戻ります。

リストをプリントする

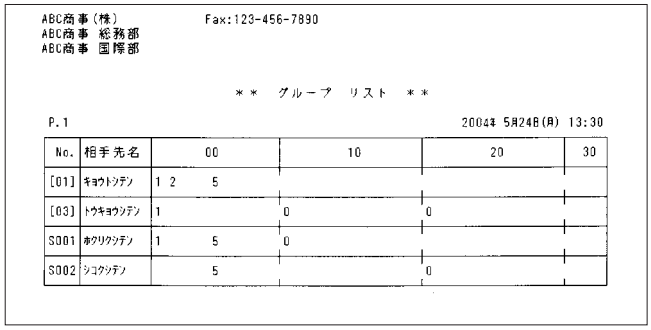
1. メニュー ○文字→ ナ JKL 5 ワラン 0 マ PQRS 7 と押す

```
[ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ]　　No.507
07　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ　ﾘｽﾄ
```

2. セット ○ を押す

＊グループリストがプリントされます。

＊番号が1件も登録されていない場合は、「セット　サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。



ABC商事(株)　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊ グループ リスト ＊＊

P.1　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	相手先名	00	10	20	30
[01]	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	1 2 5			
[03]	ﾄｳｷｮｳｼﾃﾝ	1	0	0	
S001	ｵｵｸﾘｸｼﾃﾝ	1 5	0		
S002	ｼﾝｸｼﾃﾝ	5		0	

プログラムワンタッチを登録する

●応用通信をプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したワンタッチキーを押すだけで登録した操作を行うことができます。
●1度登録したプログラムワンタッチの内容を変更するときは、POINTを参照してください。

[操作の前に]

●プログラムワンタッチはワンタッチキーの61～64に登録できます。
●登録内容は以下の3つです。

①通信　：時刻指定通信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリングのいずれかを登録できます。
時刻指定は他の3つの通信と組み合わせて登録できます。
・個別設定として画質、濃度、メモリー送信、送信確認証、メッセージ、ファクス&コピーの設定ができます。

②リストプリント：リストのプリントを登録することができます。

③原稿蓄積　：ポーリング原稿、Fコードボックス原稿を蓄積することができます。
・個別設定として画質、濃度、ファクス&コピーの設定ができます。

●相手先番号に、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルを指定するときは、あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録が必要です。(→109,112,115ページ)

「通信」を登録する

1. メニュー 文字 →サ DEF 3 タ GHI 4 ア 1 と押す

```
[ キノウ　センタク ]　　No．３４１
 1　フ゛ロク゛ラムワンタッチ　セット
```

2. セット を押す

3. ①登録したいプログラムワンタッチキーを押す

〈61〉に登録するとき

61

＊ で選ぶこともできます。

＊登録できるプログラムワンタッチキーは61～64です。

② セット を押す

4. ① で「ツウシン」を選ぶ

```
トウロク　ナイヨウ：ツウシン
                ▼／▲／セット
```

② セット を押す

5. 相手先番号を入力する（最大40桁）

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。(→127ページ)

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。

＊ •同報 を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。(テンキー入力による指定は20宛先までです。)

＊番号を間違えて入力したときは、クリア を押して、正しい番号を入力し直してください。

```
６１：タ゛イヤル　ハ゛ンコウ
１１１ー２２２ー３３３３＿
```

6. •応用通信 **を押す**

＊•応用通信または を押すごとに「ジコクシテイツウシン」（→71ページ）→「ポーリング」（→89ページ）→「Fコード　ソウシン」（→80ページ）→「Fコード　ポーリング」（→81ページ）の順に表示が変わります。

時刻指定送信を登録するとき

（時刻指定送信：→71ページ）

＊時刻指定は他の3つの通信と組み合わせて登録できます。

①•応用通信 または で「ジコクシテイ　ツウシン」を選ぶ

```
1．ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```

②セット を押す

③テンキーで送信時刻（日　時　分）を入力する

【例】10日午後3時30分と入力したとき

```
ｼﾞｺｸｼﾃｲ　ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸﾖ　ﾄﾞｳｿﾞ　１０／１５：３０
```

＊数字が1桁のときは先頭に0を付けます。
＊日付けを指定しないときは、「00」を入力します。

④セット を押す

＊手順5に戻ります。他の通信機能と組み合わせるときは、それぞれの登録手順に進んでください。
＊続けてセット を押すと、「個別設定」（→120ページ）に移ります。

ポーリング受信を登録するとき

（ポーリング受信：→89ページ）

①•応用通信 または で「ポーリング」を選ぶ

```
2．ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```

②セット を押す

＊手順5に戻ります。時刻指定と組み合わせるときは、時刻指定送信を登録するとき へ戻ります。

③手順7へ進む

Fコード送信を登録するとき

（Fコード送信：→80ページ）

①•応用通信 または で「Fコード　ソウシン」を選ぶ

```
3．Fｺｰﾄﾞ　ｿｳｼﾝ
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```

②セット を押す

③テンキーで、使用する掲示板のサブアドレス番号を入力する

＊サブアドレスは20桁以内の数字が使用できます。

```
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ　ﾖ　ﾄﾞｳｿﾞ
００１１２２３３４４＿
```

④セット を押す

⑤テンキーで、パスワードを入力する

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　ﾖ　ﾄﾞｳｿﾞ
＊＊０１０１０１＊＊＿
```

⑥ セット を押す

＊手順5に戻ります。時刻指定と組み合わせるときは、時刻指定送信を登録するとき へ戻ります。

＊続けて セット を押すと、「個別設定」（→120ページ）に移ります。

Fコードポーリングを登録するとき

（Fコードポーリング：→81ページ）

① •応用通信 または で「Fコード　ポーリング」を選ぶ

```
4．Fｺｰﾄﾞ　ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
                ▼／▲／セット
```

② セット を押す

③テンキーで、使用する機能のサブアドレス番号を入力する

＊サブアドレスは20桁以内の数字が使用できます。

```
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
９９８８７７６６＿
```

④ セット を押す

⑤テンキーで、パスワードを入力する

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。

＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
＊＊９９８８９９＊＊＿
```

⑥ セット を押す

＊手順5に戻ります。時刻指定を組み合わせるときは、時刻指定送信を登録するとき へ戻ります。

⑦手順7へ進む

7. セット を押す

＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、続けて117ページの手順3から操作を繰り返します。

8. ストップ を押す

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

●番号を間違えて入力したときは

・クリア を押して正しい番号を入力してください。

●登録内容を変更する場合は

・「通信を登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、クリア で消去してから新しく入力するか、 で設定を変更してください。

個別設定

1. ① でON/OFFを選ぶ

ｺﾍﾞﾂ　ｾｯﾃｲ	：ＯＦＦ
	▼／▲／セット

②セット を押す

＊「OFF」を選択したときは、この手順で終了です。
次のプログラムワンタッチの登録画面になります。

2. ① で画質を選ぶ

＊ を押すごとに「ヒョウジュン」→「コウガシツ」→「チョウコウガシツ」→「シャシン」の順に表示が変わります。

＊「－－－」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ｶﾞｼﾂ	：－－－－－－－－－－
	▼／▲／セット

②セット を押す

3. ① で濃度を選ぶ

＊ を押すごとに「ウスク」→「フツウ」→「コク」の順に表示が変わります。

＊「－－－」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ﾉｳﾄﾞ	：－－－
	▼／▲／セット

②セット を押す

4. ① でON/OFFを選ぶ

＊ON …メモリー送信
OFF…リアルタイム送信

＊「－－－」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ﾒﾓﾘｰ　ｿｳｼﾝ	：－－－
	▼／▲／セット

②セット を押す

5. ① でON/OFFを選ぶ

＊ON …送信確認証を付ける
OFF…送信確認証を付けない

＊「－－－」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ｿｳｼﾝｶｸﾆﾝｼｮｳ	：－－－
	▼／▲／セット

②セット を押す

6. ① でON/OFFを選ぶ

＊ON …送信案内証を付ける
OFF…送信案内証を付けない

＊「－－－」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ﾒｯｾｰｼﾞ	：－－－
	▼／▲／セット

②セット を押す

7. ① でON/OFFを選ぶ

＊メモリー送信がOFFに設定されているときは、この設定はありません。手順8に進みます。

＊ON …ファクス＆コピーをする
OFF…ファクス＆コピーをしない

＊「－－－」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ﾌｧｸｽ＆ｺﾋﾟｰ	：－－－
	▼／▲／セット

②セット を押す

＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、続けて117ページの手順3から操作を繰り返します。

8. ストップ を押す

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

「リストプリント」を登録する

1. メニュー ○(文字)→ 3(サDEF) 4(タGHI) 1(ア) と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．３４１
 1　フ゜ロク゛ラムワンタッチ　セット
```

2. セット ○ を押す

3. ①登録したいプログラムワンタッチキーを押す

〈62〉に登録するとき

＊ ◎ で選ぶこともできます。

＊登録できるプログラムワンタッチキーは61～64です。

② セット ○ を押す

4. ① ◎ で「リスト　プリント」を選ぶ

```
トウロク　ナイヨウ：リスト　フ゜リント
                    ▼／▲／セット
```

② セット ○ を押す

5. ◎ で希望のリストを選ぶ

＊ ◎ を押すごとに「キノウ　リスト」→「キキ　セッテイ　リスト」→「ツウシンキロク」→「ツウシンヨヤク　リスト」→「ワンタッチダイヤル　リスト」→「タンシュクダイヤル　リスト」→「グループダイヤル　リスト」→「ダイレクトメールダイヤルリスト」→「メッセージ　リスト」→「Fコード　ボックス　リスト」→「Fコード　ゲンコウ　リスト」→「プログラムワンタッチ　リスト」→「ファクスワープ　リスト」→「フォンワープ　リスト」の順に表示が変わります。

```
６２：キノウ　リスト
                    ▼／▲／セット
```

6. セット ○ を押す

＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、続けて117ページの手順3から操作を繰り返します。

7. ストップ ◎ を押す

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

●登録内容を変更する場合は

・「リストプリントを登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、◎で変更してください。

「原稿蓄積」を登録する

1. メニュー ○文字→ 3サDEF 4タGHI 1ア と押す

```
[ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ]　　No．341
 1　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ　ｾｯﾄ
```

2. セット ○ を押す

3. ①登録したいプログラムワンタッチキーを押す

〈63〉に登録するとき

＊ ◎ で選ぶこともできます。

＊登録できるプログラムワンタッチキーは61～64です。

② セット ○ を押す

4. ① ◎ で「ゲンコウ　チクセキ」を選ぶ

```
ﾄｳﾛｸ　ﾅｲﾖｳ:ｹﾞﾝｺｳ　ﾁｸｾｷ
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

② セット ○ を押す

5. ① ◎ で「ポーリング　ゲンコウ」または「Fコード　ボックス　ゲンコウ」を選ぶ

```
63:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ　ｹﾞﾝｺｳ
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

② セット ○ を押す

＊「ポーリング　ゲンコウ」を選択したときは手順8に進みます。

6. ① ◎ またはテンキーで、登録するボックス番号を選ぶ

```
ﾎﾞｯｸｽ　ﾖ　ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
02:ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ
```

② セット ○ を押す

7. ① ◎ で、原稿上書きのON/OFFを選ぶ

＊ON …原稿上書き
　OFF…原稿追加

＊選ばれたボックスに親展ボックスまたは中継ボックスが登録されている場合は、エラーメッセージが表示されます。

```
ｹﾞﾝｺｳ　ｳﾜｶﾞｷ　　:OFF
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

② セット ○ を押す

8. ① ◎ でON/OFFを選ぶ

```
ｺﾍﾞﾂ　ｾｯﾃｲ　　:OFF
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

② セット ○ を押す

＊OFFを選んだときは、この手順で終了です。次のプログラムワンタッチの登録画面になります。

9. ① ◎ で画質を選ぶ

＊ ◎ を押すごとに「ヒョウジュン」→「コウガシツ」→「チョウコウガシツ」→「シャシン」の順に表示が変わります。

＊「－－－」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

```
ｶﾞｼﾂ　　:ｰｰｰｰｰｰｰｰｰｰ
                ▼/▲/ｾｯﾄ
```

② セット ○ を押す

10. ①◎で、濃度を選ぶ

＊◎を押すごとに「ウスク」→「フツウ」→「コク」の順に表示が変わります。

＊「ーーー」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

```
ノウト゛                    ：ーーー
                    ▼／▲／セット
```

② セット ○ を押す

11. ①◎で、ファクス&コピーのON/OFFを選ぶ

＊ON …ファクス&コピーをする
OFF…ファクス&コピーをしない

＊「ーーー」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

```
ファクス&コヒ゜ー            ：ーーー
                    ▼／▲／セット
```

② セット ○ を押す

＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、続けて117ページの手順3から操作を繰り返します。

12. ストップ ◎ を押す

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

●登録内容を変更する場合は

・「原稿蓄積を登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、◎で変更してください。

消去する

1. メニュー ○ 文字 → サ DEF 3 タ GHI 4 カ ABC 2 と押す

```
[ キノウ　センタク ]　　Ｎｏ．３４２
  2　フ゜ロク゛ラムワンタッチ　クリア
```

2. セット ○ を押す

3. ①消去したいプログラムワンタッチキーを押す

〈61〉を消去するとき

61

＊◎で選ぶこともできます。

② セット ○ を押す

4. 消去してよければ、もう一度 セット ○ を押す

＊消去を中止するときは クリア ○ を押します。

＊続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

5. ストップ ◎ を押す

＊消去を終了し、待機画面に戻ります。

リストをプリントする

1. メニュー ○→ ナ JKL 5 ア 1 カ ABC 2 **と押す**

文字

```
[ キノウ　センタク ]　　Ｎｏ．５１２
１２　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑワンタッチ　リスト
```

2. セット ○ **を押す**

＊プログラムワンタッチダイヤルリストがプリントされます。

＊番号が１件も登録されていない場合は、「セット　サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊　プログラムワンタッチ　リスト　＊＊

P.1　　2004年 5月24日(月) 13:30
通信

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
[61]	111-222-3333	--:--	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	
	優先画質 :---------- 優先原稿濃度 :---　メモリー送信 :--- 送信確認証 :---　ﾒｯｾｰｼﾞ :---　ﾌｧｸｽ&ｺﾋﾟｰ :---			
[63]	1234-5678	0, 9:00		
	優先画質 :超高画質 優先原稿濃度 :濃く　ﾒﾓﾘｰ送信 :ON 送信確認証 :ON　ﾒｯｾｰｼﾞ :OFF　ﾌｧｸｽ&ｺﾋﾟｰ :OFF			

ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ

No.	リスト名
[62]	通信予約リスト

原稿蓄積

No.	種別	ﾎﾞｯｸｽ名	上書き
[64]	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ		
	優先画質 :---------- 優先原稿濃度 :濃く　ﾌｧｸｽ&ｺﾋﾟｰ :ON		

プログラムワンタッチの使い方

●登録した操作を実行します。

1. **実行したいプログラムワンタッチダイヤルを押す**

61

2. **登録した操作が実行される**

ご愛用スイッチキーを登録する

●さまざまな機能を８つのキーに割り当てて登録できます。よく使用する機能を割り当てておくと、操作の手間が省けます。

[操作の前に]

●ご愛用スイッチキーは８個あります。ご愛用スイッチキーに割り当てることができる機能は以下の機能です。
●「発信元送信」と「発信元選択」は同時に選択できません。
●「車検証読み取り」と「えんぴつ読み取り」は同時にONできません。

割り当てることができる機能

	機　能	キーを押したときの動作
ファクス機能	通信確認（初期設定）	通信の予約状況を確認したり、通信結果を確認したりする
	同報（初期設定）	同報送信をする場合、宛先を区切る
	応用通信（初期設定）	時刻指定通信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリングをする
	ポーズ（初期設定）	ダイヤルに間隔をあける
	短縮／グループ（初期設定）	短縮ダイヤルを使う/グループ送信をする
	オンフック／会話予約（初期設定）	オンフック/オフフック　会話予約のON/OFF
	済スタンプ（初期設定）	ON/OFF
	ファクスワープ（初期設定）*1	ON/OFF
	発信元送信	原稿に発信元を　付ける/付けない
	発信元選択	通信ごとに発信元名を選択する
	メモリー送信	メモリー送信/リアルタイム送信
	セキュリティ受信	ON/OFF
	送信確認証	ON/OFF
	メッセージ	送信案内証を　付ける/付けない
	自動受信*1	自動受信/手動受信*2
	フォンワープ*1	ON/OFF
コピー機能	ソートコピー	ON/OFF
ファクス／コピー共通機能	ファクス＆コピー	ON/OFF
	車検証読み取り	ON/OFF
	えんぴつ読み取り	ON/OFF

*1 ファクスワープ、フォンワープを使用する場合、使用できない組み合わせがあります。（→34ページ）

*2 自動受信（設置モードで選ばれたファクス待機、電話／ファクス待機、ファクス／電話待機、留守／ファクス待機）と手動受信（電話待機）を切り替えることができます。設定モードで電話待機が選ばれた場合は、自動受信はファクス／電話待機となります。

登録する

1. メニュー ○(文字)→ 2(カABC) 1(ア) 4(タGHI) **と押す**

```
[ キノウ　センタク ]　　Ｎｏ．２１４
  4　ｺﾞ ｱｲﾖｳ　ｽｲｯﾁ
```

2. セット ○ **を押す**

3. **①登録したいご愛用スイッチキーを押す**

【例】同報キーに登録したいとき

●同報

＊ ◇ で選ぶこともできます。

② セット ○ **を押す**

4. **①◇で登録したい機能を選ぶ**

```
2：ﾊｯｼﾝﾓﾄ　ｿｳｼﾝ
                ▼／▲／セット
```

＊すでに他のご愛用スイッチキーに登録されている機能は表示されません。

② セット ○ **を押す**

＊ご愛用スイッチキーが登録されます。

＊続けて登録を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

5. ストップ ◎ **を押す**

＊登録を終了し、待機画面に戻ります。

6. **「ご愛用スイッチラベル」をキーの上に貼る**

＊設定した機能と同じ名前のシールを貼ります。

ご愛用スイッチキーの使い方

済スタンプを登録したとき

1. **済スタンプを登録した、ご愛用スイッチキーを押す**

＊キーが点灯し済スタンプがONになります。

＊もう一度キーを押すとキーが消灯し、OFFになります。

2. **原稿をセットし、送信すると済スタンプが押される**

ダイヤル記号を入力する

●相手の番号を入力するときにダイヤル記号を挿入し、様々な機能を追加することができます。

操　作	液晶表示	機能および用途
記号 (#) を2回押す	—	ダイヤルに区切りをつけて、読みやすくするための －（ハイフン）が入力できます。テンキーで送信するときは使用できません。
(*) を2回押す（トーン）	T	ダイヤル回線のときに、プッシュ信号を出すことができます。 （例）075-111-2222-T1111＃
•ポーズ	P	ダイヤルに間隔を開けたいときに使います。内線の0発信、NCC利用時などに使います。 （例）0P075-111-2222 ＊ポーズ時間は設定により変更可能です。（→132ページ）

MEMO

●T（トーン）、P（ポーズ）はダイヤル番号を2桁入力した扱いになります。最大入力桁数20桁の場合に、Tを1個入力すると、数字は18桁入力できることになります。

第5章 — 設定編 —

設定の仕方……129
設定例……129
システム設定一覧……130
ファクス設定一覧……132
ダイレクトメール防止……136
登録する……136
登録した番号を変更または消去する……137
リストをプリントする……137
コピー設定一覧……138
機器設定リストをプリントする……139

設定の仕方

●設定の種類は以下の3つです。

・**システム設定**…ファクス機能・コピー機能の管理機能や、使い勝手をよくする機能の設定を行えます。
・**ファクス設定**…ファクス機能の初期設定値を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておくと、設定の手間が省けます。
・**コピー設定**……コピー機能の初期設定値を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておくと、設定の手間が省けます。

設定例

●コピー設定の「1．プリントパラメーター」を設定する例を説明します。

1. 待機画面から（メニュー）○（文字）を押す

2. ①（カ ABC 2）（サ DEF 3）（ア 1）を押す

【例】「1．プリントパラメーター」を設定するとき

```
[ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ]　　No．231
 1　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ
```

②（セット）○ を押す

3. ①（◁△▷▽）でプリント縮小率を選ぶ

＊設定を変更しないときは次へ進みます。

【例】「81%」を選んだとき

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ　ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ：　81%
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```

②（セット）○ を押す

4. ①テンキーでしきい値を入力する

＊設定を変更しないときは次へ進みます。

【例】「35mm」と入力したとき

```
ｼｷｲﾁ
          （00－85mm）：35
```

②（セット）○ を押す

＊選択した設定値がセットされ、次の設定画面になります。他の設定を続けて行えます。

＊操作を終了するときは（ストップ）◎ を押します。

システム設定一覧

●ファクス機能・コピー機能の管理機能や、使い勝手をよくする機能の設定を行えます。

［操作の前に］

●初期設定とは、電源を入れたときや、ストップ を押して待機画面に戻したときの状態を言います。

●出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値（初期値）のことです。

番号	機　能	設定値	機能説明	設定方法
1	用紙サイズ設定	●カセット1 A4 B4 A5 B5 ●カセット2 （オプション） A4 B4 A5 B5	カセット1、カセット2（オプション）にセットする用紙のサイズを選択します。	メニュー 文字 → 2 1 1 → セット → でカセット1の用紙サイズを選ぶ→ セット →カセット2（オプション）装着時は で用紙サイズを選ぶ → セット
2	リストプリント用紙選択 ＊オプションのカセット2が必要です。	A4 B4 A5 B5	リストをプリントする用紙のサイズを設定できます。設定した用紙サイズがカセットにセットされていないときは、自動的に他の用紙にプリントします。	メニュー 文字 → 2 1 2 → セット → で用紙サイズを選ぶ→ セット
3	スキャナパラメーター	●ガシツ ヒョウジュン コウガシツ チョウコウガシツ シャシン ●ノウド フツウ コク ウスク ●ヨミトリサイズ A4 B4	読み取り時の画質、濃度、読み取りサイズの初期値を設定します。よく送信またはコピーする原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。	メニュー 文字 → 2 1 3 → セット → で画質を選ぶ→ セット → で濃度を選ぶ→ セット で読み取りサイズを選ぶ → セット
4	ご愛用スイッチ	→125ページ	さまざまな機能を任意のキーに割り当てて登録できます。よく使用する機能を割り当てておくと、操作の手間が省けます。	「ご愛用スイッチキーの登録」（→125ページ）を参照してください。

＊＿＿のついている値が、出荷時設定です。

番号	機　能	設定値	機能説明	設定方法
5	ファクス＆コピー	ON OFF	１回の原稿読み取り操作で、ファクスとコピーが同時にできます。 ＊ご愛用スイッチキーに「ファクス＆コピー」を登録すると、１通信ごとに切り替えることができます。（→125ページ）	メニュー 文字 →（カABC 2）（ア 1）（ナJKL 5）→ セット → で設定値を選ぶ→ セット
6	プロテクトコード	→78ページ	セキュリティ機能（セキュリティ受信）を利用するためのプロテクトコードを登録します。	「プロテクトコードの登録」（→78ページ）を参照してください。
7	時計		西暦、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。	メニュー 文字 →（カABC 2）（ア 1）（マPQRS 7）→ セット →テンキーで現在の時刻を入力する → セット

※「8.サービスモード」は設定しないでください。

＊＿＿のついている値が、出荷時設定です。

ファクス設定一覧

●ファクス機能の初期設定値を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておくと、設定の手間が省けます。

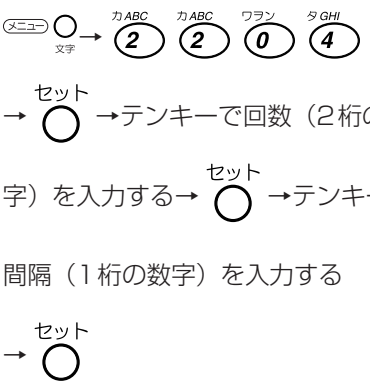
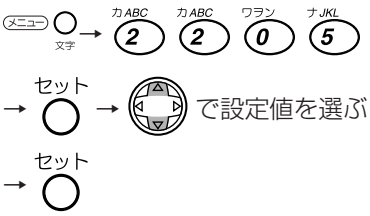
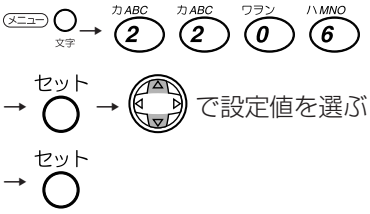
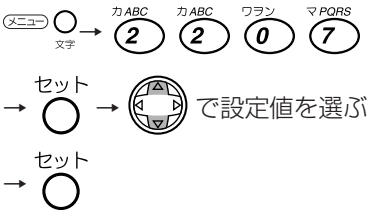
［操作の前に］

●初期設定とは、電源を入れたときや、ストップ を押して待機画面に戻したときの状態を言います。

●出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値（初期値）のことです。

番号	機　能	設定値	機能説明	設定方法
1	プリントパラメーター	ジドウ 100％ 0～85mm： 24mm	■受信縮小率 受信文書の長さに合わせて自動的に倍率が選択される「ジドウ」と、いつも縮小しないでプリントされる「100％」があります。（→61ページ） ■しきい値 受信原稿が有効記録紙サイズに収まらない場合に、どのようにプリントするかを判断する値です。（0～85mm）（→61ページ）	メニュー 文字→ カABC 2 カABC 2 ワラン 0 ア 1 → セット →で受信縮小率を選ぶ → セット →テンキーでしきい値（2桁の数字）を入力する→ セット
2	ポーズ時間	1～10秒：3秒	ポーズ記号を入力したときのダイヤル間隔（1～10秒）の初期値を設定します。	メニュー 文字→ カABC 2 カABC 2 ワラン 0 カABC 2 → セット →テンキーで時間（2桁の数字）を入力する→ セット
3	呼出ベル回数	1～10回：2回	受信モードが（ファクス、電話／ファクス待機）のとき、受信動作が開始されるまでのベル回数（1～10回）を設定します。	メニュー 文字→ カABC 2 カABC 2 ワラン 0 サDEF 3 → セット →テンキーで回数（2桁の数字）を入力する→ セット

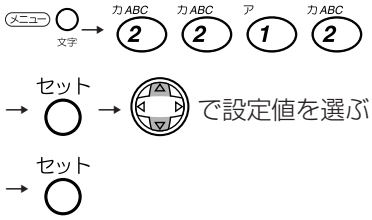
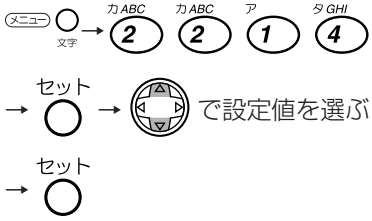
＊＿＿のついている値が、出荷時設定です。

番号	機　能	設定値	機能説明	設定方法
4	リダイヤル	●カイスウ 2～15回：<u>5回</u> ●カンカク 0～5分：<u>1分</u>	相手が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数（2～15回）や間隔（0～5分）で再度ダイヤルします。	
5	発信元送信	<u>ON</u> OFF	送信した原稿の先頭に発信元名を表示するかしないかを設定します。 ＊ご愛用スイッチキーに「発信元送信」を登録すると、1通信ごとに切り替えることができます。 （→125ページ）	
6	宛名表示	<u>ON</u> OFF	ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルに登録している相手先名を送信原稿の先頭に表示するかしないかを設定します。	
7	ECMモード	<u>ON</u> OFF	電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。（相手先にも同じ機能が必要です。）	

＊＿＿のついている値が、出荷時設定です。

番号	機　能	設定値	機能説明	設定方法
8	ダイレクトメール防止	→136ページ	ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。 モード1：ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。 モード2：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。 モード3：モード1、2を合わせた方法です。 OFF　：ダイレクトメール防止を行いません。	「ダイレクトメール防止」(→136ページ）を参照してください。
9	メモリー送信	ON OFF	送信するときにメモリー送信を優先するか、リアルタイム送信を優先するか設定します。 ONにするとメモリー送信、OFFにするとリアルタイム送信を優先します。 ＊ご愛用スイッチキーに「メモリー送信」を登録すると、1通信ごとに切り替えることができます。（→125ページ）	メニュー 文字→ カABC 2 カABC 2 ワヲン 0 ラWXYZ 9 → セット →（で設定値を選ぶ） → セット
10	セキュリティ受信	ON OFF	セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。 ＊ご愛用スイッチキーに「セキュリティ受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでセキュリティ受信のON/OFFを設定することができます。（→125ページ）	「受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）」（→77ページ）を参照してください。
11	パスコード	0000～9999	ポーリング送信時、パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリング送信できるよう設定できます。(当社機間のポーリングに限定されます。) 0000に設定すると、全ての相手先にポーリング送信することができます。	メニュー 文字→ カABC 2 カABC 2 ア 1 ア 1 → セット →テンキーでパスコード （4桁の数字）を入力する→ セット

＊＿＿のついている値が、出荷時設定です。

番号	機　能	設定値	機能説明	設定方法
12	済スタンプ	ON OFF	済スタンプには、メモリー送信時に原稿の読み取りを完了したことを示す読み取り済スタンプと、リアルタイム送信時に送信が完了したことを示す送信済スタンプの2種類があります。 ＊ご愛用スイッチキーの設定にて「済スタンプ」を削除したときは、1通信ごとの切り替えはできません。（→125ページ）	
13	ワープ暗証番号	0000～9999	外出先からフォンワープを設定するときに使用するための暗証番号を登録します。	
14	済スタンプカラー	アオ ピンク	済スタンプを交換したときに、スタンプの色を変更した場合は、ここで交換したスタンプの色を設定します。 オプションでピンク色の済スタンプがあります。（→172ページ）	

＊＿＿のついている値が、出荷時設定です。

ダイレクトメール防止

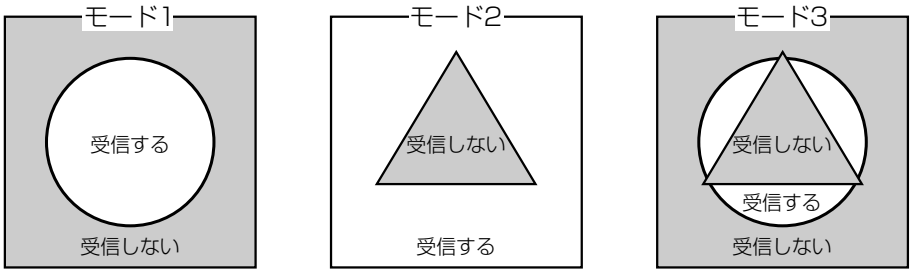
●ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。

モード1：ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下4桁と相手先IDを照合し、一致したときのみ受信します。

モード2：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下4～8桁を登録します。最大50件まで登録できます。

モード3：モード1、2を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。

OFF　：ダイレクトメール防止を行いません。



□の部分：着信した番号

○の部分：ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号

△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

登録する　　初期設定：OFF

1. メニュー ○文字→ カABC 2 カABC 2 ワヲン 0 ヤTUV 8 と押す

```
[ｷﾉｳ　ｾﾝﾀｸ]　　No.2208
08　ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ　ﾎﾞｳｼ
```

2. セット ○ を押す

3. ①▲▼ でダイレクトメール防止のモードを選ぶ

```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ　ﾎﾞｳｼ：OFF
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```
▼
```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ　ﾎﾞｳｼ：ﾓｰﾄﾞ1
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```
▼
```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ　ﾎﾞｳｼ：ﾓｰﾄﾞ2
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```
▼
```
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ　ﾎﾞｳｼ：ﾓｰﾄﾞ3
                ▼／▲／ｾｯﾄ
```

② セット ○ を押す

＊OFFまたはモード1を選んだときは、この手順で終了です。手順5に進みます。

4. ①テンキーで、ダイレクトメール防止を行う電話番号の下4～8桁を入力する

＊すでに番号が登録されている場合は、▲▼ で登録されていない番号を選択します。

```
ﾀﾞｲﾔﾙ　ﾊﾞﾝｺﾞｳ　ヲ　ﾄﾞｳｿﾞ
01：1 2 3 4 5 6 7 8
```

② セット ○ を押す

＊続けて他の番号を登録できます。

5. ストップ ◎ を押す

＊登録モードを終了し、待機画面に戻ります。

登録した番号を変更または消去する

1. ①「登録する」の手順１～２を行う

②モード２または３を選ぶ

③ セット ○ を押す

2. ◁▽△▷ で変更または消去したい番号を選ぶ

＊テンキーで番号を入力することもできます。

```
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ エランﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
02：11122233
```

変更する場合

3. ① セット ○ を押す

② ◁▽△▷ で変更する数字にカーソルを移動させ、上書き入力する

```
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ﾄﾞｳｿﾞ
02：1122233
```

③ セット ○ を押す

消去する場合

3. クリア ○ を押す

```
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ エランﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
02：22233344
```

＊消去した番号以降のダイレクトメール防止用電話番号を１つずつ前に繰り上げます。

4. ストップ ▽ を押す

＊変更または消去を終了し、待機画面に戻ります。

リストをプリントする

1. メニュー ○ 文字 → ナ JKL 5 ワヲン 0 ヤ TUV 8 と押す

```
[ｷﾉｳ ｾﾝﾀｸ]      No.508
08 ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ
```

2. セット ○ を押す

＊ダイレクトメールダイヤルリストがプリントされます。

＊番号が１件も登録されていない場合は、「セット　サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊＊ ダイレクトメール 防止 ダイヤルリスト ＊＊

P.1　　ﾓｰﾄﾞ2　　2004年 5月24日(月) 13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	12345678	2	11122233	3	22233344
4	44455566				

コピー設定一覧

●コピー機能の初期設定値を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておくと、設定の手間が省けます。

［操作の前に］

●初期設定とは、電源を入れたときや、ストップ を押して待機画面に戻したときの状態を言います。

●出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値（初期値）のことです。

番号	機　能	設定値	機能説明	設定方法
1	プリントパラメーター	ジドウ 100% 81％ 0～85mm： 24mm	■プリント縮小率 コピー原稿の長さに合わせて自動的に倍率が選択される「シドウ」と、いつも一定の縮小率でプリントされる「100％」「81％」があります。 ■しきい値 読み取り原稿が有効記録紙サイズに収まらない場合に、どのようにプリントするかを判断する値です。（0～85mm） （→61ページ）	メニュー 文字→ カABC 2 サDEF 3 ア 1 → セット → でプリント縮小率を選ぶ → セット →テンキーでしきい値（2桁の数字）を入力する→ セット
2	ソートコピー	ON OFF	ONに設定すると、初期設定にてソートがONになります。ソートコピーが多い場合ONに設定しておくと、設定の手間が省けます。 ＊ご愛用スイッチキーに「ソートコピー」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでソートコピーのON/OFFを設定することができます。（→125ページ）	メニュー 文字→ カABC 2 サDEF 3 カABC 2 → セット → で設定値を選ぶ→ セット

＊＿＿のついている値が、出荷時設定です。

機器設定リストをプリントする ……

●機器設定リストをプリントすると、本機に設定された各種機能の設定状況を確認することができます。

1. メニュー ○(文字)→ 5(ナ JKL) 0(ワラン) 2(カ ABC) と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．５０２
０２　キキ　セッテイ　リスト
```

2. セット ○ を押す

＊機器設定リストがプリントされます。

＊＊　機器設定リスト　＊＊

発信元名1 発信元名2 発信元名3	ABC商事㈱ ABC商事 総務部 ABC商事 国際部	ﾌｧｸｽ番号	123-456-7890

2048 KB　　2004年 5月24日(月) 13:30

発信元名1(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ			
発信元名2(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ ｿｳﾑﾌﾞ			
発信元名3(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ ｺｸｻｲﾌﾞ			
ｼｽﾃﾑ設定				
ｶｾｯﾄ1	A4			
優先画質	標準	高画質	超高画質	写真
優先原稿濃度	薄く	普通	濃く	
読取ｻｲｽﾞ	A4	B4		
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ1	通信確認			
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ2	同報			
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ3	応用通信			
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ4	ﾎﾟｰｽﾞ			
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ5	短縮/ｸﾞﾙｰﾌﾟ			
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ6	ｵﾝﾌｯｸ/会話予約			
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ7	済ｽﾀﾝﾌﾟ			
ご愛用ｽｲｯﾁｷｰ8	ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ			
ﾌｧｸｽ&ｺﾋﾟｰ	ON	OFF		
ｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ	ON	OFF		
ﾌｧｸｽ設定				
受信縮小率	自動	100%		しきい値 24 mm
ﾎﾟｰｽﾞ時間	05 秒			
呼出ﾍﾞﾙ回数	02 回			
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ回数/間隔	05 回	1 分		
発信元送信	ON	OFF		
宛名表示	ON	OFF		
ECMﾓｰﾄﾞ	ON	OFF		
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ防止	ﾓｰﾄﾞ1	ﾓｰﾄﾞ2	ﾓｰﾄﾞ3	OFF
ﾒﾓﾘｰ送信	ON	OFF		
ｾｷｭﾘﾃｨ受信	ON	OFF		
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ	0000			
済ｽﾀﾝﾌﾟ	ON	OFF	ｱｶ	ﾋﾟﾝｸ
ｺﾋﾟｰ設定				
ｺﾋﾟｰ縮小率	自動	100%	81%	しきい値 24 mm
ｿｰﾄ ｺﾋﾟｰ	ON	OFF		
応用機能				
通信記録自動	ON	OFF		
送信確認証	ON	OFF		
ﾒｯｾｰｼﾞ送信	ON	OFF		
ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ	ON	OFF		
ﾌｫﾝﾜｰﾌﾟ	ON	OFF		
設置ﾓｰﾄﾞ				
受信ﾓｰﾄﾞ	電話	ﾌｧｸｽ	ﾌｧｸｽ/電話	電話/ﾌｧｸｽ 留守/ﾌｧｸｽ
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	ON	OFF		
通信回線	ﾌﾟｯｼｭ	10PPS	20PPS	
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出	ON	OFF		
発信元選択	発信元1	発信元2	発信元3	

第6章 ― こんなときには ―

用紙がつまったとき……141
本体内部で用紙がつまったとき……141
サイドカバーで用紙がつまったとき……142
用紙カセットで用紙がつまったとき……142
原稿がつまったとき……143
済スタンプを交換する……144
お手入れの仕方……145
本体カバーのお手入れ……145
原稿ガラス、読み取りガイドを清掃する……145
原稿送りローラーを清掃する……145
記録ヘッドの清掃……146
停電のとき……147
本体の動作……147
メモリーバックアップ……147
消去通知……148
エラーメッセージ……149
アラームランプについて……149
プリントされるエラーメッセージ……149
エラーメッセージ・コード欄の説明……150
液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ……152
故障かなと思ったら……159
送信できない……159
受信できない……159
画質が悪い……160

用紙がつまったとき

●用紙がつまるとアラームが鳴り、アラームランプが点灯して「ヨウシ ヲ トリノゾイテクダサイ」と表示されます。次の手順で取り除いてください。

⚠注意

- **トナーが目に入らないように注意する**
  目に入ったときは水で良く洗い流し、医師と相談してください。
- **定着器とその周辺には触れない**
  動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。指定された所以外は触らないでください。
- **機械内部に紙片が残らないように全て取り除く**
  紙片が残っていると、火災の原因になることがあります。
- **用紙がローラ部や定着器に巻き付き取れない場合は、無理に取らない**
  やけどやケガをする恐れがあります。インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- **万一、煙がでるような用紙づまりが発生した場合は、直ちに電源を切る**
  電源を切り、インフォメーションセンターまでご連絡ください。

お願い

- **機械内部のローラーには触れない**
  プリントの画質が悪くなることがあります。
- **機械内部でつまった用紙はトナーが定着されていないため注意する**
  定着器より前では、トナーが用紙に定着されていません。触るとトナーが手に付き汚れますのでご注意ください。トナーが手に付いたときは充分洗い流してください。

本体内部で用紙がつまったとき

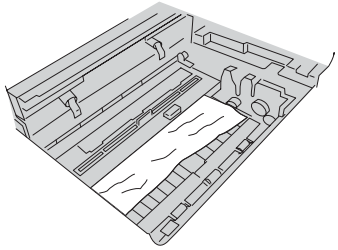
1. トップカバーを開け、プリンターカバーを開ける

2. ドラム／トナーカートリッジを取り外す

ドラム／トナーカートリッジに強い光を当てないでください。画質不良の原因となります。

3. ジャム解除レバーを上げ、つまっている用紙を静かに引き抜く

＊他にも内部でつまっていないか確認してください。



4. ドラム／トナーカートリッジを取り付ける

5. プリンターカバーを閉める

＊中央の ⁞⁞ マーク部を押さえて"カチッ"と音がするまで確実に閉めてください。

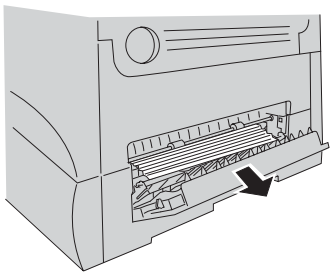
6. トップカバーを閉める

＊トップカバーの左右を押して、"カチッ"と音がするまで確実に閉めてください。

サイドカバーで用紙がつまったとき

1. サイドカバーを開ける

2. つまっている用紙があれば静かに引き抜く

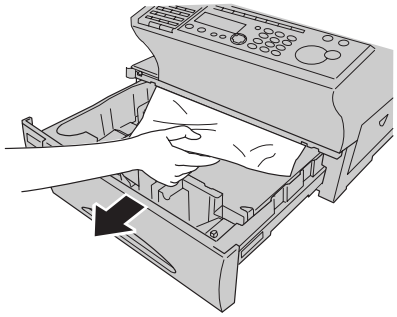


3. サイドカバーを閉める

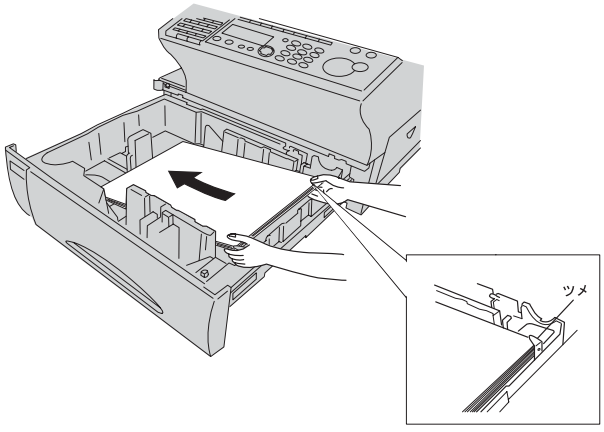
用紙カセットで用紙がつまったとき

1. カセットをゆっくりと引き出す

2. つまっている用紙があれば静かに引き抜く



3. 用紙をセットし直す



4. 用紙ガイド横をセットした用紙の幅に合わせて調整する

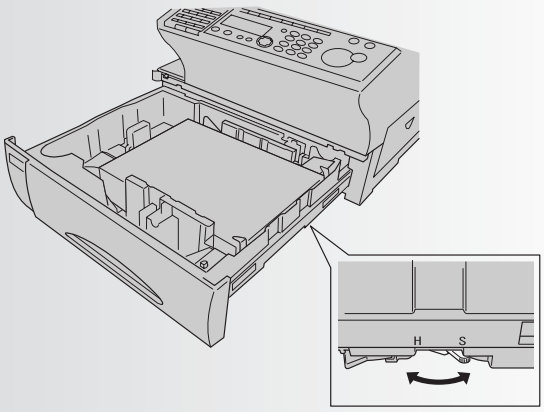
5. カセットを元に戻す

MEMO

カセットの給紙圧調整

カセット内でA4、B5□の用紙がつまるときや用紙を繰り込まないときは、カセットの給紙圧を調整します。

＊B4、A5□の用紙では調整できません。



調整レバーの位置：H　・・・　用紙を繰り込まないとき
調整レバーの位置：S　・・・　用紙がつまるとき、重なって繰り込むとき（重送）

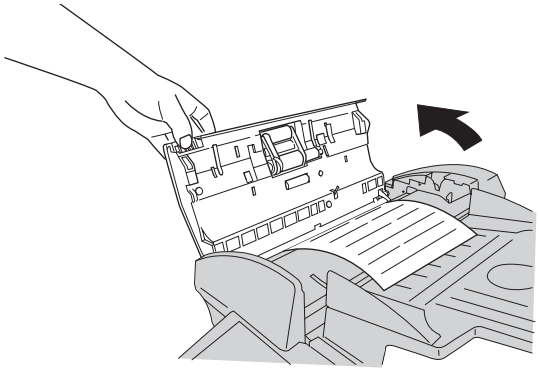
原稿がつまったとき

●原稿がつまると、アラーム音とともにディスプレイにメッセージが表示されます。次の手順で取り除いてください。

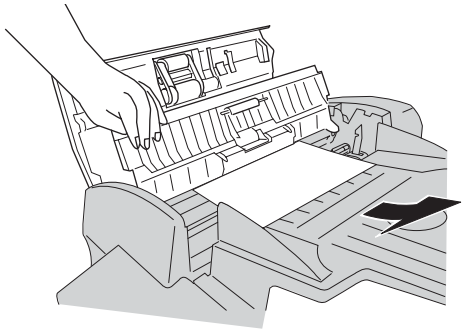
1. 原稿カバー開放レバーを引いて原稿カバーを開ける

2. つまっている原稿を静かに引き抜く

つまっている原稿を取り除くことができないときは手順3へ進みます。



3. 原稿ガイドを開け、つまっている原稿を静かに引き抜く



4. 原稿ガイド、原稿カバーを閉める

＊原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

■次のようなメッセージが表示されたときは、原稿の続きを読み取ることができます。

1. 原稿がつまったとき、次のような表示が出る

```
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ　ツマリマシタ
ﾂｽﾞｷﾉ　ヨミトリ　　ｾｯﾄ／ｸﾘｱ
```

＊ クリア を押すか、1分間何も操作しないと蓄積した原稿をメモリーから消去します。

2. セット を押す

＊つまったページを表示します。

＊ ストップ を押すと蓄積した原稿をメモリーから消去します。

[メモリー送信のとき]

```
 2ﾍﾟｰｼﾞｶﾗ　ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｽﾀｰﾄｷｰ　ヲ　ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

[コピーのとき]

```
 2ﾍﾟｰｼﾞｶﾗ　ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｺﾋﾟｰｷｰ　ヲ　ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

[ポーリング原稿蓄積、Fコード掲示板蓄積のとき]

```
 2ﾍﾟｰｼﾞｶﾗ　ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｾｯﾄｷｰ　ヲ　ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3. つまった原稿をセットし直し、表示されたキー（ スタート 、 コピー 、 セット ）を押す

＊原稿の読み取りが始まります。

済スタンプを交換する

●済スタンプが薄くなったときは、次の手順で交換してください。

⚠注意

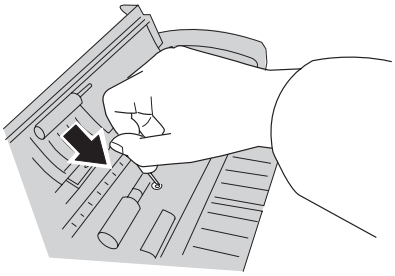
済スタンプを交換するときはピンの先に注意する

ピンの先は尖っており、ケガの原因となることがあります

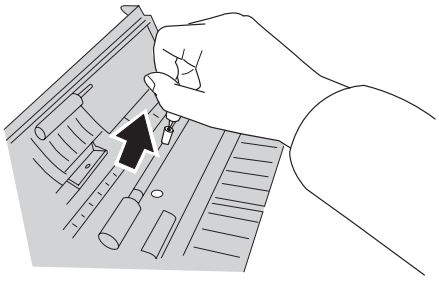
1. 原稿カバー開放レバーを引いて原稿カバーを開け、さらに原稿ガイドを開ける

2. 付属のピンを、済スタンプの印面に刺す

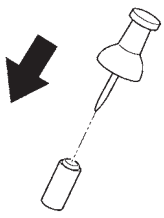
＊原稿ガイドを倒れないように持ちながら、ピンをスタンプの印面に刺してください。



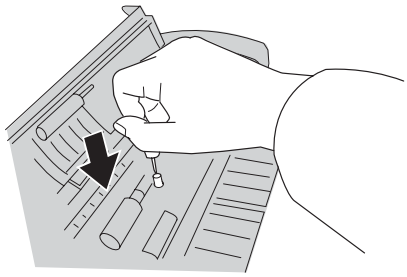
3. 済スタンプを引き抜く



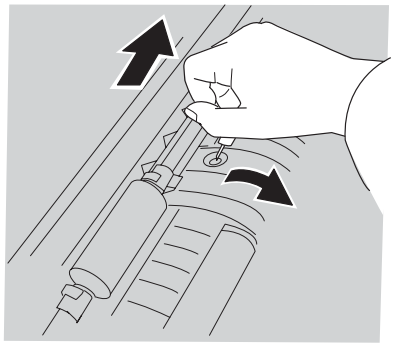
4. 付属のピンを新しい済スタンプの印面に刺す



5. 本体に差し込む



6. ピンを斜めに傾けて、ピンだけを抜く



7. 原稿ガイド、原稿カバーを閉める

＊原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

POINT

●済スタンプの色を変更した場合は

・変更した済みスタンプの色に合わせて、本体側で「スミスタンプカラー」の設定を行ってください。（→135ページ）

お手入れの仕方

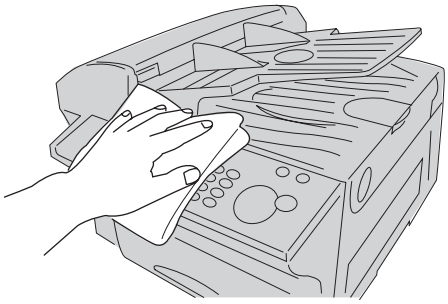
●かわいた柔らかい布でふいてください。汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼってからふきとります。

お願い

●ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使わない
プラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

●清掃に使用する布は、よくしぼってからご使用ください
機械内部に水が入ると、故障の原因となります。

本体カバーのお手入れ

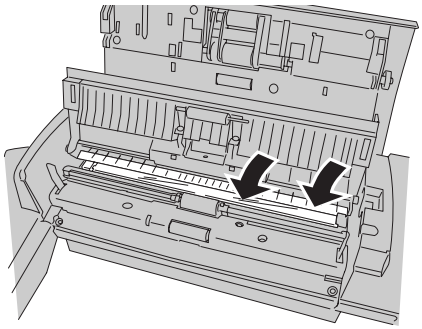


原稿ガラス、読み取りガイドを清掃する

●原稿ガラスが汚れていると、相手側での受信文書やコピーの汚れの原因となります。また、原稿を汚す原因にもなります。

1. 原稿カバー開放レバーを引いて原稿カバーを開け、さらに原稿ガイドを開ける

2. 原稿ガラス、読み取りガイドをふく



＊汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼってからふきとります。その後、かわいた布でふきとります。

3. 原稿ガイド、原稿カバーを閉める

＊原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

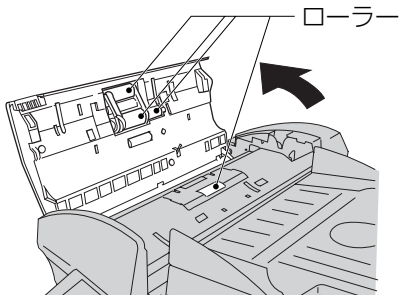
原稿送りローラーを清掃する

●原稿送りローラーが汚れていると、繰り込みが悪くなり原稿がつまる原因となります。

1. 原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開ける

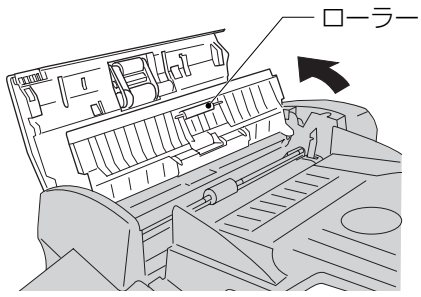
2. 原稿送りローラーを清掃する

①原稿カバー下のローラー



＊ローラーを手で回しながら、ローラー全面をふいてください。

②原稿ガイド下のローラー



＊ローラーを手で回しながら、ローラー全面をふいてください。

3. 原稿ガイド、原稿カバーを閉める

＊原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

記録ヘッドの清掃

●記録ヘッドが汚れると、プリントが白く抜けたり文字がにじんだりすることがあります。

⚠注意

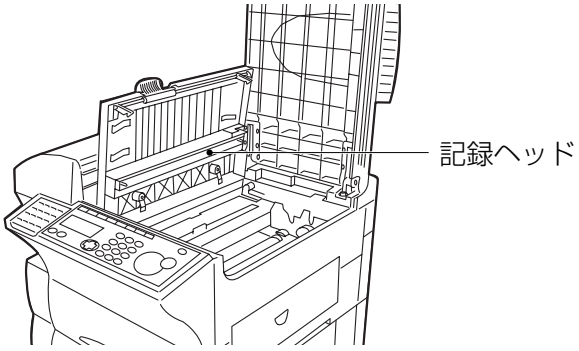
定着器とその周辺には触れない

動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。

1. トップカバーを開ける

2. プリンターカバーを開ける

3. 記録ヘッドをトナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナで軽くふく



4. プリンターカバーを閉める

＊中央の ⣿ マーク部を押さえて"カチッ"と音がするまで確実に閉めてください。

5. トップカバーをゆっくりと閉める

＊トップカバーの左右を押して、"カチッ"と音がするまで確実に閉めてください。

停電のとき

本体の動作

●停電になったとき

通話中は...	引き続き通話ができます。
送信中は...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は... リストプリント中は...	プリントが途中で止まります。

●停電中

コピー	コピーできません。
ファクス送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。
電話をかける	受話器のダイヤルキーを利用して、電話をかけることができます。保留はできません。
電話を受ける	受話器で、電話を受けることができます。保留はできません。

※受話器（ハンドセット）はオプションです。

メモリーバックアップ

●メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源をOFFにしたときでも、次のような条件で保持されます。

・メモリーに蓄積された画像データは、下記の時間保持されます。ただし、あらかじめ72時間連続して通電されている必要があります。

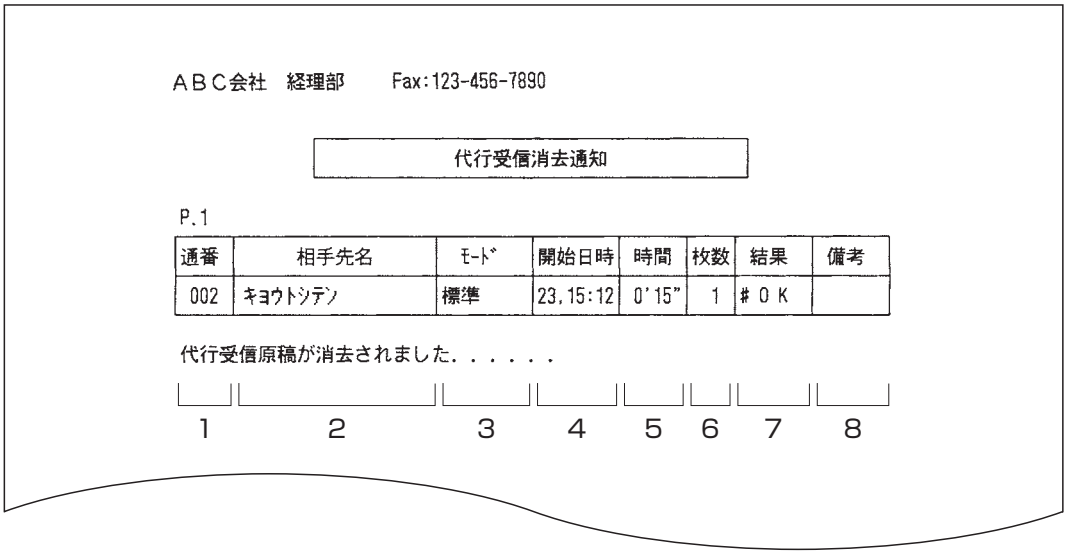
・画像データのバックアップ時間はメモリー容量によって異なります。

2 MByte …… 約72時間（標準メモリー）

6 MByte …… 約24時間（4M増設メモリー装着時）

消去通知

●メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。
●下記は、代行受信文書が消去された場合の消去通知例です。このほか「通信予約消去通知」「ポーリング原稿消去通知」「Fコードボックス原稿消去通知」がプリントされる場合があります。



ＡＢＣ会社　経理部　　Fax:123-456-7890

代行受信消去通知

P.1

通番	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	結果	備考
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	標準	23,15:12	0'15"	1	# O K	

代行受信原稿が消去されました．．．．．．

1　2　3　4　5　6　7　8

1. 通番
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局ID
（5）空白

3. モード
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数
受信した枚数です。

7. 結果
通信結果です。
・OK ……正常終了しました。
・＊……ECMモードで通信しました。
・＃……スーパーG3で通信しました。
・エラーコード……異常終了です。もう一度送信してください。（→150ページ）

8. 備考
・ポーリング……ポーリング受信です。
・手　　動……手動受信です。
・Ｆポー……Fコードポーリングです。

エラーメッセージ

アラームランプについて

●通信エラーや機器に異常があると、 （アラームランプ）が点灯します。

アラーム

●アラームランプは、 ストップ で消灯できるときと、消灯できないときがあります。

消灯できないエラーは、エラーに対しての処置が必要です。エラーの要因が解除されるとアラームランプは消灯します。

● アラームランプを消灯できるエラー
- ・通信エラー
- ・受信中にメモリーオーバーしたとき
- ・蓄積中にメモリーオーバーしたとき

● アラームランプを消灯できないエラー
- ・用紙切れ、用紙づまり、原稿づまり
- ・トナー切れ
- ・カバーやカセットが開いているとき
- ・機器の重大なエラー

プリントされるエラーメッセージ

●通信エラーが発生したときは、用紙にエラーの内容・対処方法のメッセージとエラーコードがプリントされます。エラーコードは通信エラーの原因を表すコードです。メッセージとエラーコードを確認して対処してください。

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
相手側機を確認して下さい	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、機器の状態、パスコードなどの確認を依頼してください。	T.1.1、T.2.1 T.2.2、T.2.3 T.5.1、T.5.2
受信原稿を確認して下さい	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信して下さい	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶ 再度、送信操作をしてください。 2. 回線状態が悪いことがあります。 ▶ 再度、送信してください。 ▶ 回線コードの接続を確認してください。（→21ページ） 3. ダイヤルトーンが検出できません。 ▶ 内線交換機によってはダイヤルトーンを送出しない場合があります。ダイヤルトーン検出をOFFにしてください。（→30ページ）	T.3.1 T.4.1 T.5.3 D.0.8
もう一度ダイヤルして下さい	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶ 改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. 通信回線設定が正しいか確認してください。（→30ページ）	D.0.2
メモリーオーバーしました	▶ 受信の場合は再度送信を依頼してください。また、用紙がなくなり代行受信でメモリーオーバーしている場合があります。その場合は、用紙を補給してください。 ▶ 送信の場合はリアルタイム送信に設定して、再度送信してください。	R.4.4
ダイヤル番号が登録されてません	▶ ワンタッチ・短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6
停止しました	▶ 通信がストップしましたので、再度通信してください。	D.0.3 T.1.4 R.1.4

エラーメッセージ・コード欄の説明

D：ダイヤル時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.2	相手が話中です。	▶ 再送信してください。
	D.0.3	ストップキーが押されました。	▶ 再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	発信時、ダイヤルトーン検出できない	▶ 内線交換機では、外線発信時にダイヤルトーンがでないものがあります。その場合は、ダイヤルトーン検出をOFFに設定してください。（→30ページ） ▶ 回線コードの接続を確認してください。（→21ページ）

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶ 相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶ 相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種がG3機でない	▶ 当機では通信できません。
	T.1.4	交信開始時にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
		相手機が閉域通信設定でパスコードが合わない	▶ 相手側の設定を確認してください。閉域通信設定で使用されていればパスコードを合わせてください。
	T.2.2	親展送信・中継指示送信で相手機にその機能がない、または親展送信で相手機に所定の親展者コードが設定されていない場合	▶ 相手先の機種および設定状況を確認してください。
	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
	T.3.1	連続送信時2枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶ エラーが発生したページより再度送信してください。
		900 mm以上の原稿を送信した	▶ 1ページを900mm以内に切って送信してください。
		交信中断のあと“ランプカクニン”と表示した場合は光源の光量不足	▶ 電源スイッチをOFF→ONしてコピーをとってみてください。“ランプカクニン”表示しなければ再度送信してください。コピーでも“ランプカクニン”表示となる場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
	T.3.2	回線障害などが原因で交信できなかった。	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶ 送信したページはすべて相手側に届いていますが、1部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	会話予約のため通信が切れた	▶ 受信側で会話予約をかけ、送信側で応答したため、通信が切れました。再送信してください。

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
ECM送信	T.5.1	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
	T.5.2	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	
	T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	
	T.8.10、T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	T.8.1	受信モードがあわない	▶ 相手側を確認して下さい。相手側機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶ 送信側の操作ミスが考えられます。相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した。（通信管理記録のみ表示）	
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
	R.2.3	回線障害などにより回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたはストップキーを押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）	
	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
	R.4.4	メモリー容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）	
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた送信側でストップキーを押した	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（→裏表紙）
	R.5.2	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.8.10、R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶ 相手機を確認して下さい。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ

メッセージ	原　因	対応方法	参照ページ
アンショウバンゴウガ　チガイマス	ワープ暗証番号が間違えて入力されました。	▶ 正しいワープ暗証番号を入力し直してください。	100
エンピツ　ヨミトリ OFF　ニ　スル　→　セットキー ▼ ▲ OFF　ニ　シナイ　→　クリアキー	えんぴつ読み取りの設定がONのときに、車検証読み取りの設定をONにしようとしました。	▶ セット ○ を押すと、えんぴつ読み取りの設定をOFFにし、車検証読み取りの設定をONに変更します。 ▶ クリア ○ を押すと、えんぴつ読み取りの設定はONのままで、車検証読み取りの設定はOFFのままです。	125
オプションカセットガ　ヒツヨウデス	オプションカセット未装着で、リストプリント用紙選択設定をしようとしました。	▶ オプションカセット装着時のみ、有効な機能です。	130
カセット1　ヲ　トジテクダサイ カセット2　ヲ　トジテクダサイ	数字で示された段のカセットが開いています。	▶ 用紙カセットを引き出し、再度押して確実に閉じてください。	—
ケタスウ　オーバー　デス	名前や番号入力のとき、最大桁数を越えました。	▶ 最大桁数内で入力し直してください。	—
●原稿1枚目でつまったとき ゲンコウカバー　ヲ　カイヘイシテ ゲンコウセット　ヤリナオシテクダサイ ●原稿2枚目でつまったとき ゲンコウガ　ツマリマシタ ツヅキノヨミトリ　セット／クリア	原稿の読み取り中に原稿づまりが発生しました。	▶ つまった原稿を取り除き、セットし直してください。 ▶ セット ○ を押すと、読み取りを続ける操作を行います。 ▶ クリア ○ を押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機画面になります。 ＊1分間指示しない場合は、蓄積した原稿のデータを消去し、待機状態になります。	143
ゲンコウカバーヲ　トジテクダサイ サイドカバー1ヲ　トジテクダサイ サイドカバー2ヲ　トジテクダサイ トップカバー　ヲ　トジテクダサイ プリンターカバーヲ　トジテクダサイ	表示されたカバーが開いています。	▶ 表示されたカバーを一度開けて、再度確実に閉め直してください。	—
ゲンコウ　ガ　アリマセン	ポーリング原稿やFコードボックスに原稿が蓄積されていません。	▶ Fコード受信通知を確認してください。 ▶ メモリー期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ▶ Fコード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	83 84

メッセージ	原　因	対応方法	参照ページ
ゲンコウ　ガ　セット　サレテイマス	リアルタイム送信中、予約中または原稿の読み取り中に スタート が押されました。	▶ 次のいずれかの操作をします。 1. ストップ を押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。	—
ゲンコウ　ヨミトリチュウ　デス	原稿読み取り中に右記の操作が行われました。	▶ コピー が押されました。 ▶ 他の宛先で送信が指示されました。 ▶ ポーリング予約文書の蓄積が指示されました。原稿の読み取りが終了してから、操作をしてください。	—
ゲンコウ　ヲ　セット　シテクダサイ	原稿をセットしないで送信やコピーをしようとしています。	▶ 原稿をセットして再度操作してください。	38
コピー　チュウシ　シマスカ？ スル　→　スタートキー ▼　▲ シナイ　→　クリアキー	ファクス＆コピーの設定がONのとき、コピー部数入力画面で クリア を押し、コピーのみを中止しようとしました。	▶ スタート を押すと、コピーのみを中止します。 ▶ クリア を押すと、再度コピー部数入力画面に戻ります。	73
サイドカバー1　ヲ　アケテ サイドカバー2　ヲ　アケテ プリンターカバー　ヲ　アケテ ヨウシ　ヲ　トリノゾイテクダサイ	ディスプレイに示された部分に用紙がつまっています。	▶ つまった用紙を取り除いてください。	141
シテイジコク　ジュウフク　シテイマス	フォンワープの登録で、重複した時刻を入力しようとしました。	▶ 重複しない時刻を入力し直してください。	97
シバラク　オマチクダサイ	印字可能状態になっていません。	▶ 印字可能状態になると、自動的に表示は消えます。そのままでしばらくお待ちください。	—

メッセージ	原　因	対応方法	参照ページ
シャケンショウ　ヨミトリ OFF　ニ　スル　→　セットキー ▼ ▲ OFF　ニ　シナイ　→　クリアキー	車検証読み取りの設定がONのときに、えんぴつ読み取りの設定をONにしようとしました。	▶ セット ◯ を押すと、車検証読み取りの設定をOFFにし、えんぴつ読み取りの設定をONに変更します。 ▶ クリア ◯ を押すと、車検証読み取りの設定はONのままで、えんぴつ読み取りの設定はOFFのままです。	125
ジュシン　ゲンコウ　ガ　アリマス	セキュリティ受信OFFまたは、プロテクトコードを消去しようとしたときに、セキュリティ受信原稿が残っています。	▶ セキュリティ受信原稿をプリントしてください。	78
ジュワキ　ガ　アガッテイマス	交信終了時に受話器がはずれていたり、上がったままです。	▶ 受話器を戻します。 ＊戻すまでアラームが鳴り続けます。(受話器はオプションです。)	—
シンテンボックス　デス	Fコード原稿蓄積・消去で選択したボックスが親展ボックスです。	▶ 掲示板ボックスを選択してください。	82 84
ストップキー　デ　ゲンコウ　ヲ ハイシュツ　シテクダサイ	読み取り中にメモリーオーバーや ストップ ◉ を押して、読み取りを途中で中止しました。	▶ ストップ ◉ を押して、原稿をすべて抽出してください。	—
セット　サレテイマセン	ワンタッチ、短縮に相手先番号がセットされていません。 各種リストを出力しようとしたときに、何もセットされていません。	▶ ワンタッチ・短縮・プログラムワンタッチリストを確認の上、操作してください。 ▶ 各種登録をしてから再度操作してください。	111 114 124
セキュリティ　ジュシン　ミセッテイ	セキュリティ受信を登録しないでセキュリティ受信の設定をONにしようとしました。	▶ セキュリティ受信を登録してください。	77
ソウニュウ　デキマセン	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの挿入で、ワンタッチキー〈60〉、短縮ダイヤル〈140〉にはすでに登録されています。	▶ ワンタッチキー〈60〉、短縮ダイヤル〈140〉を削除してください。	111 114

メッセージ	原　因	対応方法	参照ページ
タイキモード　ヘンコウ　シマスカ？ スル　→　セットキー ▼　▲ シナイ　→　クリアキー	デンワタイキのときに、ファクスワープをONにしようとしました。	▶ セット ◯ を押すと、受信モードがファクス／デンワタイキになり、ファクスワープがONになります。 ▶ クリア ◯ を押すと、受信モードは変更されず、ファクスワープはOFFのままです。	74
	ファクスタイキ、ルス／ファクスタイキ、デンワタイキのときに、フォンワープをONにしようとしました。	▶ セット ◯ を押すと、受信モードがファクス／デンワタイキになり、フォンワープがONになります。 ▶ クリア ◯ を押すと、受信モードは変更されず、フォンワープはOFFのままです。	96
タダシイ　バンゴウ　ヲ　ドウゾ	短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手先を指定するときに、テンキー以外のキーが押されました。	▶ テンキーで正しい番号を入力してください。	—
チクセキ　デキマセン	Fコード原稿蓄積時、原稿追加を選択したが、すでに30件蓄積されています。	▶ 原稿を消去するか、他のボックスを選択してください。	82
チュウケイボックス　デス	Fコード原稿蓄積、消去で選択したボックスが中継ボックスです。	▶ 掲示板ボックスを選択してください。	82 84
チョクセツダイヤル　1カショ　イナイ	ファクスワープでテンキーによる相手先番号の指定が1カ所を越えています。	▶ テンキーによる相手先番号の指定数は1カ所までです。	74
チョクセツダイヤル　20カショ　イナイ	同報送信などでテンキーによる相手先番号の指定が20カ所を越えています。	▶ テンキーによる相手先番号の指定数は20カ所までです。	46
テンソウサキ　ヲ　トウロクシテクダサイ	ファクスワープ、フォンワープを登録しないで、ファクスワープ、フォンワープの設定をONにしようとしました。	▶ ファクスワープ、フォンワープを登録してください。	74 97
ツウシン　エラー	通信エラーが発生しました。	▶ 通信エラーの内容を確認して、再操作してください。 ＊アラームランプは ストップ ◎ を押すと消えます。	—

メッセージ	原　因	対応方法	参照ページ
ツウシンチュウ　デス	ポーリング送信中にポーリング原稿消去の操作が行われました。	▶ 通信終了後、再操作してください。	—
ツウシン　デキマセン	送信・受信の指示登録が一杯です。	▶ 次のいずれかの操作をします。 1. ストップ を押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。 4. リアルタイム送信を行います。	48 69
ツウシンマチ　アリマセン	通信予約プリントや取消を指示したときに、指定したファイル番号に予約がありません。	▶ 通信予約リストまたは、ファクス中止 で予約状況を確認してください。	51 48
テンケン　ヲ　オウケクダサイ	機械内部に異常が発生しました。	▶ インフォメーションセンターへご連絡ください。	裏表紙
トナー／ドラム　ジュンビクダサイ	ドラムカートリッジ、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。	▶ 新しいドラムカートリッジ、トナーカートリッジをご用意ください。	26
トナーカートリッジ　ガ　アリマセン	トナーカートリッジがありません。	▶ トナーカートリッジを取り付けてください。	26
トナー　ガ　ノコリワズカデス	トナーが少なくなりました。	▶ 新しいトナーカートリッジをご用意ください。	26
トナー　ヲ　コウカン　シテクダサイ	トナーがなくなりました。	▶ トナーカートリッジを交換してください。	26
ドラム　ガ　アリマセン	機器にドラムカートリッジが入っていません。	▶ ドラムカートリッジを取り付けてください。	26
ドラム　ジュンビ　シテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。	▶ 新しいドラムカートリッジをご用意ください。	26
ドラム　ヲ　コウカン　シテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期です。	▶ ドラムカートリッジを交換してください。	26
ハッシンモト　ジュウフク　シテイマス	フォンワープの登録で、重複した発信元番号を入力しようとしました。	▶ 重複しない発信元番号を入力し直してください。	96
バンゴウ　10カショ　イナイ	ポーリングの宛先など最大10件以内の操作のときに10件以上を入力しました。	▶ 10件以内でセットしてください。	—
バンゴウ　ガ　チガイマス	暗証番号が間違っています。	▶ 正しい暗証番号を入力してください。	—
バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス	ダイレクトメール防止の番号で、重複した番号が入力されました。 Fコードボックス登録時に、重複したサブアドレスを入力しようとしました。	▶ 重複しない番号を入力し直してください。 ▶ 重複しないサブアドレスを入力し直してください。	136 85

メッセージ	原　因	対応方法	参照ページ
ファクスチュウノ　コマンド　アリマセン ヨヤクチュウシ　スル　→　セットキー ▼ ▲ ヨヤクチュウシ　シナイ　→　クリアキー	通信予約がある状態で、ファクス中止 を押しました。	▶ セット を押すと、通信予約中止操作ができます。 ▶ クリア を押すと、通信予約中止操作をせずに、待機画面に戻ります。	48
ファクス　ヲ　チュウシ　シマスカ？ スル　→　ツウシンチュウシキー ▼ ▲ シナイ　→　ストップキー	通信中にファクス中止 を押しました。	▶ ファクス中止 を押すと、現在動作中の通信を中止します。 ▶ ストップ を押すと、現在動作中の通信は中止せずに、待機画面に戻ります。	48
ファクスワープ　OFF　ニ　シマスカ？ スル　→　セットキー ▼ ▲ シナイ　→　クリアキー	ファクスワープがONのときに、受信モードをデンワタイキに変更しようとしました。	▶ セット を押すと、ファクスワープがOFFになり、選択した受信モードに変更できます。 ▶ クリア を押すと、ファクスワープはONのままで、受信モードは変更されません。	74
フォンワープ　OFF　ニ　シマスカ？ スル　→　セットキー ▼ ▲ シナイ　→　クリアキー	フォンワープがONのときに、受信モードをファクスタイキ、ルス／ファクスタイキ、デンワタイキに変更しようとしました。	▶ セット を押すと、フォンワープがOFFになり、選択した受信モードに変更できます。 ▶ クリア を押すと、フォンワープはONのままで、受信モードは変更されません。	96
プリントチュウ　デス	プリント中にプリントさせる操作をしました。	▶ プリントが終了してから再操作してください。	—
プリント　ヨヤク　チュウ ツウシン　シュウリョウゴ　スタート	スーパーG3またはJBIG通信中に、リストや蓄積原稿のプリント操作をしようとしました。	▶ 通信終了後に、プリントが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
プリント　ヨヤク　チュウ ヨミトリ　シュウリョウゴ　スタート	送信、コピーなどの読み取り中にリストのプリント操作をしようとしました。	▶ 読み取り終了後にリストのプリントが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
プログラム　デ　シヨウサレテイマス	プログラムワンタッチに登録されているFコードボックスを削除しようとしました。	▶ プログラムワンタッチからFコードボックスを削除してください。	123
プロテクトコード　ガ　チガイマス	プロテクトコードが間違えて入力されました。	▶ 正しいプロテクトコードを入力し直してください。	—
プロテクトコード　ミトウロクデス	セキュリティ機能を利用するにはプロテクトコードが必要ですが登録されていません。	▶ プロテクトコードを登録してください。	78

メッセージ	原　因	対応方法	参照ページ
ボックス　シヨウチュウ	Fコードの原稿蓄積などで選択したボックスが使用中です。	▶ 使用されている状態を解除してから、原稿蓄積などを行ってください。	82
●原稿1枚目でメモリー容量オーバー メモリー　オーバー　デス	原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたことを示し、自動的に原稿の読み取りを中止します。	▶ リアルタイム送信に切り替えて再度操作してください。	
●原稿2枚目以降 メモリー　オーバー　デス メモリー　ブンノミ　セット／クリア		▶ スタート を押すと、蓄積済みの原稿のうち、前ページまで登録完了とし、与えられた操作を行います。 ▶ クリア を押すと、それまでに蓄積した原稿のデーターは消え、待機画面になります。 ＊1分間指示をしない場合 ・メモリー送信時は蓄積した原稿を消去します。 ・コピー時は蓄積した分のコピーを開始します。	—
メモリー　ソウシン　ON　シテクダサイ	メモリー送信の設定がOFFのときに、ファクス＆コピーをONにしようとしました。	▶ メモリー送信の設定をONにしてください。	134
ヨウシサイズ　ヲ　カクニンシテ トップカバー　ヲ　カイヘイシテクダサイ	設定されているカセットサイズと用紙サイズが違います。	▶ 用紙サイズに合わせてカセットサイズを変更後、プリンターカバーを開閉してください。	25
ヨウシ　ヲ　ホキュウ　シテクダサイ	用紙がなくなりました。	▶ カセットに用紙を補給してください。	23
ヨミトリ＆プリント　ヨヤクチュウ ツウシン　シュウリョウゴ　スタート	スーパーG3またはJBIG通信中に、送信、コピーなどの読み取り操作と、リストや蓄積原稿のプリント操作をしようとしました。	▶ 通信終了後に、読み取りとプリントが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
ヨミトリ　ヨヤクチュウ ツウシン　シュウリョウゴ　スタート	スーパーG3またはJBIG通信中に、送信、コピーなどの読み取り操作をしようとしました。	▶ 通信終了後に、読み取りが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
ヨミトリ　ヨヤクチュウ プリント　シュウリョウゴ　スタート	リストプリント中に、送信、コピーの読み取り操作をしようとしました。	▶ リストプリント終了後に、読み取りが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
ヨヤクゲンコウ　ガ　アリマセン	予約原稿のプリントを指示したときに、ポーリング予約などにより指定した予約番号には原稿がありません。	▶ 通信予約リストで予約状況を確認し、正しい予約番号を入力し直してください。	51
ランプ　カクニン	原稿読み取り用の光源の光量不足または光源が不良です。	▶ 一度電源をOFF／ONにしてコピーし、光源がつくか確認してください。 ▶ 光源がつかない場合、エラーが消えない場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。	裏表紙

故障かなと思ったら

●故障かなと思ったときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合にはインフォメーションセンター（→裏表紙）にご連絡ください。

送信できない

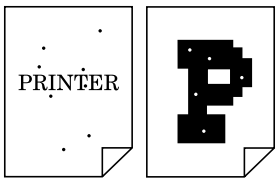
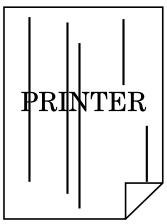
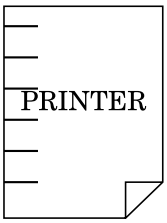
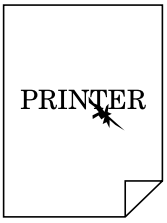
発生状況	チェック項目	処　理	参照ページ
送信できない	送信の手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作をしてください。	40
	相手先の電話番号は正しいですか？	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで指定しているときは、正しく登録されているか、リストをプリントして確認してください。	111 114
	回線の設定は正しいですか？	回線の設定を確認し、誤りがあるときは、正しく設定し直してください。	34
	相手側にトラブルはありませんか？	相手側に確認し、受信できる状態にするよう依頼してください。（電源、用紙、受信モードなど）	−
原稿が連続して送信されない。	原稿の先端を階段状にセットしていますか？	原稿の先端をそろえてセットし直してください。	38
	セットした原稿の中に最小幅（120 mm）より幅の狭い原稿がセットされていませんか？	最小幅より狭い原稿はキャリアシートに入れ、残りの原稿とは別に送信してください。	37
	キャリアシートが原稿の中に混ざっていませんか？	キャリアシートを使うと原稿分離が不十分になりやすいので１枚ずつ送信してください。	37
原稿が出てこない	原稿がつまっていませんか？	原稿カバーを開けてつまっている原稿を取り除いてください。	143

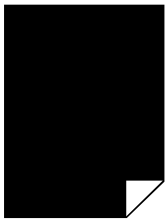
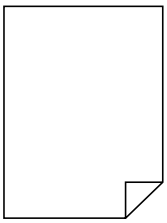
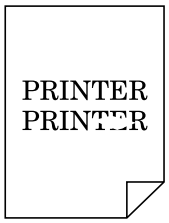
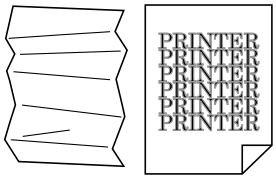
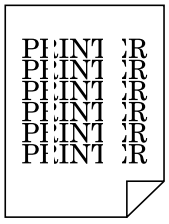
受信できない

発生状況	チェック項目	処　理	参照ページ
受信できない	自動受信モードになっていますか？	「自動受信」ランプが消灯しているときは設置モードの設定で、デンワタイキ以外の受信モードに設定してください。	30
	用紙はありますか？	用紙がないときは、用紙を補給してください。	23
	用紙がつまっていませんか？	用紙がつまっているときは、用紙を取り除いてください。	141
	回線の接続は正しいですか？	回線の接続を確認し、誤りがあるときは、正しく接続し直してください。	34
	メモリーオーバーしていませんか？	代行受信した文書がメモリーに蓄積されている場合があります。「代行受信」ランプが点灯しているときは、用紙補給などの処置をしてください。	60
ポーリング受信できずにチェックメッセージがプリントされます。	相手先がポーリング原稿を登録していますか？	相手先にポーリング原稿を登録してもらってください。	−

画質が悪い

●以下の処理をしても正常に戻らないときは、インフォメーションセンター（裏表紙）までご連絡ください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
プリントがうすい （かすれる、不鮮明） 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	−
	プリント濃度の設定が正しくありません。	正しく設定してください。	39
	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	26
	トナーカートリッジ内のトナーが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	26
	記録ヘッドが汚れています。	トナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナで記録ヘッドを清掃してください。	146
黒点や白点が現れる 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	23
	ドラムカートリッジが劣化、またはキズがついています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	26
黒筋や汚れがプリントされる 	読取部の原稿ガラス、読み取りガイド、原稿送りローラーなどが汚れています。	原稿ガラス、読み取りガイド、原稿送りローラーを清掃してください。	145
等間隔に汚れがプリントされる 	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚テストコピーをしてください。	−
	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	26
	ドラムカートリッジがオイルの付着等で劣化しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	
黒筋や汚れがプリントされる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	−
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	23
	プリンターカバーが完全に閉じていません。	プリンターカバーを確実に閉じ直してください。	28
	ドラムカートリッジがオイルの付着等で劣化しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	26

症　状	原　因	処　置	参照ページ
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラム／トナーカートリッジが劣化しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26
	高圧電源の故障が考えられます。	当社のインフォメーションセンターまでご連絡ください。	裏表紙
なにもプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されました。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。	—
	トナーカートリッジのトナーがなくなりました。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	26
	ドラム／トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26
	高圧電源の故障が考えれます。	当社のインフォメーションセンターまでご連絡ください。	裏表紙
白抜けがおこる 	用紙が湿気をふくんでいます。	新しい用紙と交換してください。	—
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	23
用紙にシワが入ったり、文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	23
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	—
紙送り方向に白抜けが起こる 	トナーカートリッジが劣化、またはキズがついています。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	26
	読み取り部の原稿ガラスが汚れています。	読み取り部の原稿ガラスを清掃してください。	145
	記録ヘッドが汚れています。	トナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで記録ヘッドを清掃してください。	146

第7章 ―付　録―

文字一覧表……163
文字コードの探し方……163
半角文字コード一覧……163
記号・かな・特殊文字コード一覧……164
第一水準漢字コード一覧……165
第二水準漢字コード一覧……168
主な仕様……169
本体……169
オプション関連……170
デュアルアクセス……170
外観寸法……171
消耗品とオプション品について……172
消耗品について……172
オプション品について……172
消耗品発注票について……172
機能一覧……173
機能リストのプリント……173
機能番号について……173
機能一覧と参照ページ……174
アフターサービスについて……178
保証について……178
修理を依頼されるときは……179
その他の場合……179
さくいん……180

文字一覧表

文字をコードで入力する場合、登録する文字の文字コード（4けたの数字）が必要となります。
ここでは、文字コードの探し方、文字コード一覧、ローマ字の入力の仕方を表にして記載しています。文字をコード入力するときや、ローマ字の入力の仕方がわからないときに参照してください。

文字コードの探し方

ここでは、例として宛先の「宛」の文字の文字コードを探すときについて説明します。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇

①の数字に②の数字を加えた値が、その文字のコードになります。

例：「宛」の場合 → $\frac{1620}{①} + \frac{4}{②} = \frac{1624}{コード}$

半角文字コード一覧

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
半角	0100		SP	、	。	,	.	・	:	;	?
	0110	!						^		―	
	0130		／				|				’
	0140		”		（	）			［	］	｛	｝
	0150	〈	〉			「	」				
	0160	＋	－				＝				
	0170										¥
	0180	$			%	#	&	*	@		
	0210	→	←								

記号・かな・特殊文字コード一覧

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	0100		SP	、	。	,	.	・	:	;	?
	0110	!	゛	゜	´	、	¨	^	￣	_	ヽ
	0120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	—
	0130	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
	0140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	0150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	0160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	0170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
	0180	$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆
	0190	★	○	●	◎	◇					
	0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	0210	→	←	↑	↓	=					
英／数字／特殊	0310							0	1	2	3
	0320	4	5	6	7	8	9				
	0330				A	B	C	D	E	F	G
	0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	0360						a	b	c	d	e
	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	0390	z									
	1370					㈱	㈲				

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	0450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	0460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	0480	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
ギリシャ文字	0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	0610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	0620	ϒ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア文字	0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	0730	Ь	Э	Ю	Я						
	0740										а
	0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я								

第一水準漢字コード一覧

補足：表中のかなの文字コードについては、ひらがな／カタカナの文字コード表を参照してください。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏								
い	1640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋				
う	1700							右	宇	烏	羽
	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲							
え	1730				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	1780								於	汚	甥
	1790	凹	央	奥	往	応					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	1820									下	化
	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願					

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
き	2070						企	伎	危	喜	器
	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230	蒐	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	2260										九
	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
け	2320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限					

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
こ	2430						乎	個	古	呼	固
	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					
	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	2610										些
	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	2730								仕	仔	伺
	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	3150									笥	諏
	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					
	3200		澄	摺	寸						
せ	3200					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎					
そ	3320						噌	塑	岨	措	曾
	3330	曽	楚	狙	疎	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

	②/①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
た	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談					
ち	3540						値	知	地	弛	恥
	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	3630								津	墜	椎
	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	3660							亭	低	停	偵
	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	3730									兎	吐
	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍						
な	3860					奈	那	内	乍	凪	薙
	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝							
に	3880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890	虹	廿	日	乳	入					
	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

	②/①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ	3900									濡	
ね	3900										禰
	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
の	3920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930	脳	膿	農	覗	蚤					
は	3930						巴	把	播	覇	杷
	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ	4050										匪
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					
	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶								
ふ	4150			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	4220							丙	併	兵	塀
	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ほ	4260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆						

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま	4360					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					
	4400		漫	蔓							
み	4400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	4410										務
	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	4420										冥
	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	4440							摸	模	茂	妄
	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁							
や	4470				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ゆ	4490		愉	愈	油	癒					
	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	4520										予
	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	4560										羅
	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	4580									利	吏
	4590	履	李	梨	理	璃					
	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	4660	瑠	塁	涙	累	類					
れ	4660						令	伶	例	冷	励
	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬						
ろ	4700					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730	肋	録	論							
わ	4730				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750	碗	腕								

第二水準漢字コード一覧

コード	漢字
4839	佛
5268	壺
5454	嶽
5462	巖
5502	廣
5956	檜
5974	條
6323	澤
6706	礒
6838	籠
6881	糀
7038	翔
7074	肛
7263	萬
7296	蓼
7590	證
7750	輌
7871	鈑
7910	鍼
7937	鐵
8055	靭
8083	頌
8231	鮨
8347	麩
9092	燁
1374	㈱
1375	㈲

主な仕様

●製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

本体

項　　目	仕　　様
型式	卓上型、送受信兼用
感光体種類	OPCドラム
印字方式	乾式電子写真方式
現像方式	非磁性1成分接触現像方式
定着方式	ヒートロールによる熱圧力定着
読取方式	CCDイメージセンサによる固体電子平面走査
印字解像度	8 dot/mm×15.4 line/mm
通信速度	33600,31200,28800,26400,24000,21600,19200,16800,14400,12000,9600,7200,4800,2400bps（自動切替）
適用回線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）、NCC回線
電送速度	2秒台（33600bps）
符号化方式	MH/MR/MMR/JBIG
原稿サイズ	1枚のみ 最大：257×900 mm 最小：120×100 mm 厚さ：0.05～0.15 mm 複数枚 最大：257×364 mm 最小：148×105 mm 厚さ：0.06～0.13 mm
原稿収容容量（ADF）	B4：25枚 A4以下：50枚
ファクス読取解像度	読　取　部： 超高画質モード：主走査　8dots/mm×副走査15.4　lines/mm 高画質モード：主走査　8dots/mm×副走査　7.7　lines/mm 標準モード：主走査　8dots/mm×副走査　3.85lines/mm 写真モード：主走査　8dots/mm×副走査　7.7　lines/mm
コピー読取解像度	超高画質モード：主走査　8dots/mm×副走査15.4lines/mm 高画質モード：主走査　8dots/mm×副走査　7.7lines/mm 写真モード：主走査　8dots/mm×副走査　7.7lines/mm
用紙サイズ	B4、A4、B5 、A5 坪量 60～78g/m^2
用紙収容容量	普通紙（指定紙）：500枚　※最大厚さ：52mmまで
ウォームアップタイム	20秒以内／（20℃、45%）
ファーストコピータイム	19秒（用紙A4）
連続複写速度	12枚／分（用紙A4）
画像メモリー容量	2MB（バッテリーにより、約72時間のメモリーバックアップ可）
電源	AC 100V±10%　50/60Hz共用
消費電力	低電力モード：　6.3W 待機時：　41wh 送信時：　15W 受信時：　570W コピー時：　570W 最大時：　600W
電流値	6.0A
質量	21.1Kg［ドラム／トナーカートリッジ、原稿、記録紙トレイ含む］
機械寸法	幅450×高さ346×奥行き557（mm）［突起部分は含みません］
環境条件	周囲温度：10～32℃ 相対湿度：20～80%

オプション関連

給紙ユニット

項　　目	仕　　様
用紙サイズ	B4、A4、B5 ▯、A5 ▯ 坪量 60～78g/m²
用紙収容容量	普通紙（指定紙）：500枚　※最大厚さ：52mmまで
電源	本体から供給
質量	5Kg
寸法	幅450×高さ118×奥行き494mm［突起部分は含みません］

デュアルアクセス

●デュアルアクセスとは、1つの作業をしているときに別の作業を同時にさせることのできる機能のことです。この機能により、送信やプリントをしているときに別の送信やコピーの指示をすることができます。並行させることのできる動作は下表を参照してください。

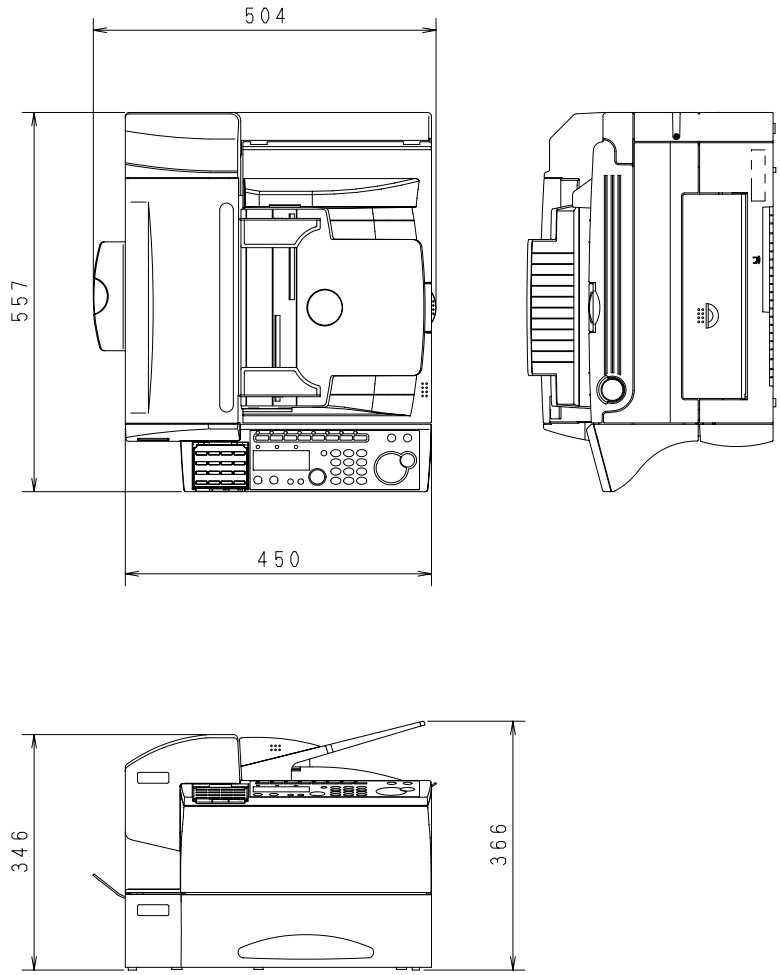
●通信中ランプが点滅しているときは、読み取りやプリント動作ができません。詳しくは下表を参照してください。

○…できる　×…できない

作業中の動作＼追加する動作	メモリー送信原稿読み取り	メモリー送　信	リアルタイム送信	受　　信	受　信＋プリント	コピーの読み取り	コピーのプリント	リストのプリント
メモリー送信原稿読み取り	×	○*2	×	○*2	○	×	○	○*3
メモリー送信中（14.4K以下で、かつJBIGでない）	○	×	○*4	×	○	○	○	○
リアルタイム送信中	×	×	×	×	○	×	○	○*3
メモリー受信中（14.4K以下）	○	×	○*4	×	○	○	○	○
メモリー送信中（スーパーG3またはJBIG）	○*1	×	○*4	×	○*5	○*1	○*5	○*3
メモリー送信中（スーパーG3またはJBIG）	○*1	×	○*4	×	○*5	○*1	○*5	○*3
受信プリント	○	○*2	○*2	○*2	×	○	×	×
コピーの読み取り	×	○*2	×	○*2	○	×	○	○*3
コピーのプリント	○	○*2	○*2	○*2	×	○	×	×
リストのプリント	○*1	○*2	○*4	○*2	×	○*1	×	×

*1：現在の動作終了後に読み取りが開始されます。送信、コピー、蓄積操作指示は受け付けられます。
*2：スーパーG3通信またはJBIG通信はできません。通信速度は14.4Kbps以下となります。
*3：現在の動作終了後にリストプリントが開始されます。リストプリント操作指示は受け付けられます。
*4：現在の動作終了後にリアルタイム送信が開始されます。リアルタイム送信操作指示は受け付けられます。
*5：現在の動作終了後にプリントが開始されます。

外観寸法



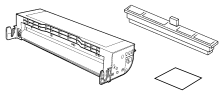
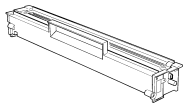
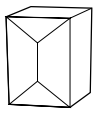
●このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。（日本から海外のファクシミリとの国際電話による交信もできます。）
This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.
●外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

消耗品とオプション品について ……

●本機には、以下の消耗品が用意されています。これらは、機械に最も適した規格で作られているので、必ず以下のものを使用してください。
消耗品、オプション品のご注文は、巻末の消耗品発注票をご利用ください。

消耗品について

消　耗　品	梱 包 形 態
トナーカートリッジ 梱包箱には右記の内容が同梱されています。 	各1個
ドラムカートリッジ 梱包箱には右記の内容が同梱されています。 	1個
済スタンプ スタンプの色はピンクと青の2種類があります。 梱包箱には右記の内容が同梱されています。 済スタンプ印体　ピン	済スタンプ1個 ピン1個
用紙（A4、A5、B4、B5） 	250枚×10冊

＊同梱内容・形態は予告なく変更することがあります。

オプション品について

品　名	備　考
増設メモリーキット（4MB）	メモリー容量を増やし、原稿の蓄積容量を増やすことができます。
給紙ユニット（カセット付）	最大500枚までの用紙をセットできます。
専用キャビネット	使いやすさを考慮した専用台です。使用途中の用紙を保管するスペースもあります。
地震対策キット	本体を安定させることができます。
ハンドセット（受話器）	手動受信や会話予約など、電話を受けるときに必要です。
回転プリントキット（PR-200）	送信原稿の方向と受信側の用紙の方向が違う場合は、自動的に受信原稿を回転させ、ジャストサイズで受信できます。
キャリアシート（A4、B4）	薄い原稿やカールした原稿を送信するときに使用します。

消耗品発注票について

消耗品発注票について

●消耗品、オプション品の発注の場合

巻末の発注票を切り取り、氏名、住所、ご注文日、納入希望日、電話番号、注文品のサイズ、数量、オプション品名と数量をご記入の上、ファクスにて発注してください。注文品のサイズに○を付けてください。（会社単位でお申し込みの場合は、会社名、部署名、担当者名をご記入ください。）

●ご注文に際しての注意点

・消耗品のバラ売りはお受けしておりません。
・料金のお支払いは商品と引き替えにてお願いします。
・消耗品、オプション品には運送料は含まれておりません。運送の際には実費をご負担いただきます。
・商品のお届けには、ご注文後2日ほどかかります。

●上記以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて、修理を依頼されますと保証期間内であっても有償になることがあります。
●消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
・高温多湿の場所・火気のある場所・直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所
●消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。
●消耗品は常に予備があるようにしてください。消耗品・オプション品のご注文は、巻末の消耗品発注票をご利用ください。

機能一覧

機能リストのプリント

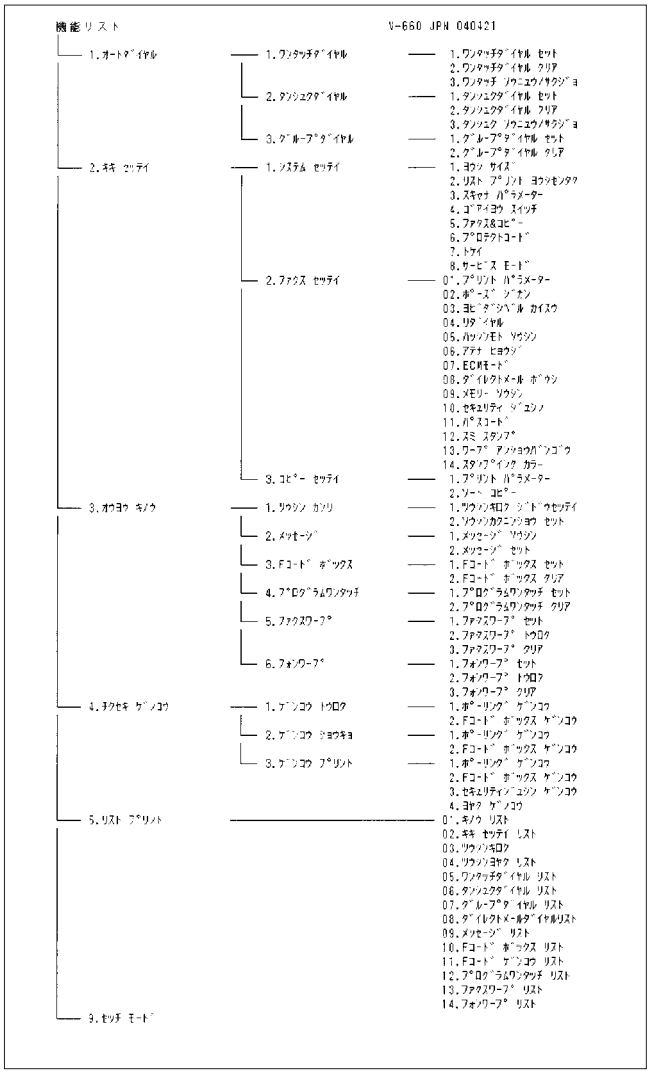
●全機能のリストをプリントできます。

1. メニュー ○(文字)→ ナJKL 5 ワラン 0 ア 1 と押す

```
[キノウ　センタク]　　No．501
01　キノウ　リスト
```

2. セット ○ を押す

＊機能リストがプリントされます。



機能番号について

●機能番号は、大項目の番号・中項目の番号・小項目の番号の組み合わせになります。

【例】ポーズ時間変更の機能番号
2 キキ セッテイ→2 ファクスセッテイ→02 ポーズジカン
↓
機能番号2202

メニュー ○(文字)→ カABC 2 カABC 2 ワラン 0 カABC 2 と押すと・・・

```
[キノウ　センタク]　　No．2202
02　ポーズ　ジカン
```

機能一覧と参照ページ

大項目	中項目	小項目	
1 オートダイヤル	1 ワンタッチダイヤル	1 ワンタッチダイヤルセット	<109ページ参照>
		よく使用する宛先を60件までワンタッチキーに登録できます。	
		2 ワンタッチダイヤルクリア	<111ページ参照>
		ワンタッチダイヤルを消去します。	
		3 ワンタッチソウニュウ／サクジョ	<110ページ参照>
		ワンタッチダイヤルの挿入や番号づめができます。	
	2 タンシュクダイヤル	1 タンシュクダイヤルセット	<112ページ参照>
		よく使用する宛先を140件まで短縮ダイヤルに登録できます。	
		2 タンシュクダイヤルクリア	<114ページ参照>
		短縮ダイヤルを消去します。	
		3 タンシュクソウニュウ／サクジョ	<113ページ参照>
		短縮ダイヤルの挿入や番号づめができます。	
	3 グループダイヤル	1 グループダイヤルセット	<115ページ参照>
		複数の宛先をまとめて、1つのグループに登録できます。	
		2 グループダイヤルクリア	<116ページ参照>
		グループダイヤルを消去します。	

大項目	中項目	小項目	
2 キキセッテイ	1 システムセッテイ		
	※8.サービスモードは設定しないでください。	1 ヨウシサイズ	<130ページ参照>
			カセット1、カセット2（オプション）にセットする用紙のサイズを選びます。
		2 リストプリントヨウシセンタク	<130ページ参照>
			リストをプリントする用紙のサイズを設定できます。
		3 スキャナパラメーター	<130ページ参照>
			読み取り時の画質、濃度、読み取りサイズの初期値を設定します。
		4 ゴアイヨウスイッチ	<125ページ参照>
			さまざまな機能を任意のキーに割り当てて登録できます。
		5 ファクス&コピー	<131ページ参照>
			1回の原稿読み取り操作で、ファクスとコピーが同時にできます。
		6 プロテクトコード	<78ページ参照>
			セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
		7 トケイ	<131ページ参照>
			西暦、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。
	2 ファクスセッテイ	01 プリントパラメーター	<132ページ参照>
			受信縮小率、しきい値の設定ができます。
		02 ポーズジカン	<132ページ参照>
			ポーズ信号を入力したときのダイヤル間隔（1～10秒）の初期値を設定します。
		03 ヨビダシベルカイスウ	<132ページ参照>
			受信モードが自動受信（ファクス、電話／ファクス待機）のとき、受信動作が開始されるまでのベル回数（1～10回）を設定します。
		04 リダイヤル	<133ページ参照>
			相手が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数（2～15回）や間隔（0～5分）で再度ダイヤルします。
		05 ハッシンモトソウシン	<133ページ参照>
			送信した原稿の先頭に発信元名を表示することができます。
		06 アテナヒョウジ	<133ページ参照>
			送信した原稿の先頭に相手先名を表示することができます。
		07 ECMモード	<133ページ参照>
			電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。
		08 ダイレクトメールボウシ	<136ページ参照>
			3種類の方法によって、設定した相手からの受信を拒否できます。
		09 メモリーソウシン	<134ページ参照>
			送信するときにメモリー送信を優先するか、リアルタイム送信を優先するかを設定します。
		10 セキュリティジュシン	<77ページ参照>
			セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。
		11 パスコード	<134ページ参照>
			ポーリング送信時、パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリング送信できるように設定できます。（当社機間のポーリングに限定されます。）
		12 スミスタンプ	<135ページ参照>
			済スタンプの初期値を設定します。
		13 ワープアンショウバンゴウ	<135ページ参照>
			外出先からフォンワープを設定するときに使用するための暗証番号を設定します。
		12 スミスタンプカラー	<135ページ参照>
			済スタンプを交換した際、交換した済スタンプの色を設定します。
	3 コピーセッテイ	1 プリントパラメーター	<138ページ参照>
			プリント縮小率、しきい値の設定ができます。
		2 ソートコピー	<138ページ参照>
			ONに設定すると、初期設定にてソートがONになります。

大項目 / **中項目** / **小項目**

- 3 オウヨウキノウ
  - 1 ツウシンカンリ
    - 1 ツウシンキロクジドウセッテイ <92ページ参照>
      ONに設定すると、最新の送信、受信が合わせて100通信になると通信記録をプリントします。
    - 2 ソウシンカクニンショウセット <93ページ参照>
      ONに設定すると、送信するたびに送信確認証をプリントします。
  - 2 メッセージ
    - 1 メッセージソウシン <72ページ参照>
      送信原稿といっしょに、簡単な文章（メッセージ）の入った送信案内証を自動的につけて送信できます。
    - 2 メッセージセット <72ページ参照>
      送信案内証のメッセージを登録します。
  - 3 Fコードボックス
    - 1 Fコードボックスセット <85ページ参照>
      Fコード通信を利用するためにFコードボックスを50個まで登録できます。
    - 2 Fコードボックスクリア <88ページ参照>
      Fコードボックスを消去します。
  - 4 プログラムワンタッチ
    - 1 プログラムワンタッチセット <117ページ参照>
      応用通信などをプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したワンタッチキーを押すだけで登録した操作を行うことができます。
    - 2 プログラムワンタッチクリア <123ページ参照>
      プログラムワンタッチダイヤルを消去します。
  - 5 ファクスワープ
    - 1 ファクスワープセット <74ページ参照>
      ファクスワープのON、OFFを設定します。
    - 2 ファクスワープトウロク <74ページ参照>
      設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。
    - 3 ファクスワープクリア <76ページ参照>
      転送先を消去します。
  - 6 フォンワープ
    - 1 フォンワープセット <96ページ参照>
      フォンワープのON、OFFを設定します。
    - 2 フォンワープトウロク <97ページ参照>
      設定時間内にかかってきた電話を指定された宛先に転送します。
    - 3 フォンワープクリア <98ページ参照>
      転送先を消去します。
- 4 チクセキゲンコウ
  - 1 ゲンコウトウロク
    - 1 ポーリングゲンコウ <89ページ参照>
      ポーリング原稿を蓄積します。
    - 2 Fコードボックスゲンコウ <82ページ参照>
      Fコード掲示板用に原稿を蓄積します。
  - 2 ゲンコウショウキョ
    - 1 ポーリングゲンコウ <90ページ参照>
      蓄積したポーリング原稿を消去します。
    - 2 Fコードボックスゲンコウ <84ページ参照>
      Fコードボックスに蓄積した原稿を消去します。
  - 3 ゲンコウプリント
    - 1 ポーリングゲンコウ <90ページ参照>
      蓄積したポーリング原稿をプリントします。
    - 2 Fコードボックスゲンコウ <83ページ参照>
      Fコードボックスに蓄積した原稿をプリントします。
    - 3 セキュリティジュシンゲンコウ <78ページ参照>
      セキュリティ受信設定中に受信した原稿をプリントします。
    - 4 ヨヤクゲンコウ <51ページ参照>
      メモリー内に通信予約している原稿をプリントします。

大項目	中項目		
5 リストプリント	01 キノウリスト	機能の一覧をプリントします。	<173ページ参照>
	02 キキセッテイリスト	設定した機能の状態をプリントします。	<139ページ参照>
	03 ツウシンキロク	最新の送信、受信合わせて100通信分の通信状態をプリントできます。	<92ページ参照>
	04 ツウシンヨヤクリスト	通信予約されている原稿のリストをプリントします。	<51ページ参照>
	05 ワンタッチダイヤルリスト	ワンタッチダイヤルの一覧をプリントします。	<111ページ参照>
	06 タンシュクダイヤルリスト	短縮ダイヤルの一覧をプリントします。	<114ページ参照>
	07 グループダイヤルリスト	グループダイヤルの一覧をプリントします。	<116ページ参照>
	08 ダイレクトメールダイヤルリスト	ダイレクトメールの一覧をプリントします。	<137ページ参照>
	09 メッセージリスト	送信案内証をプリントします。	<72ページ参照>
	10 Fコードボックスリスト	Fコードボックスの一覧をプリントします。	<88ページ参照>
	11 Fコードゲンコウリスト	Fコードボックスに蓄積した原稿の一覧をプリントします。	<84ページ参照>
	12 プログラムワンタッチリスト	プログラムワンタッチダイヤルの一覧をプリントします。	<124ページ参照>
	13 ファクスワープリスト	ファクスワープの一覧をプリントします。	<76ページ参照>
	14 フォンワープリスト	フォンワープの一覧をプリントします。	<99ページ参照>
9 セッチモード		使用するために必要な登録を行います。	<30ページ参照>

アフターサービスについて

●ご使用中に異常が発生したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。（→裏表紙）
●お客さま、または第三者が本機の使用誤りによって生じた故障ならびにその不都合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●本機は厳重な品質管理と製品検査をへて出荷されますが、万一故障または不具合がありましたら、至急最寄りのインフォメーションセンターまでご連絡ください。（→裏表紙）

保証について

●本機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定の事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

①保証期間内

保証期間中（お買い上げの日から１年間）、万一故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理いたします。当社保証規定以外の責はご容赦いただきます。ただし保証期間内であっても消耗品は有償となります。（ドラムカートリッジについてはご購入後、３ヶ月または10000枚のいずれか早い方が保証期間になります。）

②保証期間経過後

保証期間経過後には、所定の年契約を結んで保守を行う「保守契約」と、修理のご依頼がある場合のみお伺いする「オンコールサービス」があります。
詳しくは、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

③補修性能部品の保有期間

当社は本機の性能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低５年間保有しています。修理によって本機の性能が維持できる場合、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。

●保守契約

保証期間が終了した後のメンテナンスサービスを、所定の年間契約にもとづいて実施するシステムです。
「オンコールサービス」より様々なメリットがあります。

1. 優先的に的確なサービスを受けられます。
2. 契約期間中のサービス料は無料です。（消耗品除く）
3. オンコールにくらべ、割安です。
4. メンテナンス費用が的確になり、経費管理が簡単です。
5. 訪問時、機器利用上のコンサルタントが受けられます。

●オンコールサービス

お客さまから修理のご依頼があるときだけ、お伺いする方式です。料金は当社規定の「オンコールサービス保守料金・修理部品価格表」に従って、その都度ご負担いただきます。

修理を依頼されるときは

●修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら（→159ページ）」の項目で、故障かどうかをお確かめください。故障の場合はお名前、住所、電話番号、機種名、購入年月日、故障の状態、道順と目標物、駐車可能な場所などをお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご連絡ください。お申し出により出張修理いたします。

【ご注意】

①使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および破損で修理サービスを依頼されますと保証期間内であっても有償となります。

②修理の内容によっては、登録内容が消去される可能性があります。あらかじめ登録内容をメモしておいてください。
この場合再登録はお客様ご自身でお願いいたします。

その他の場合

●下記のような変更がある場合は、事前にお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

①移設の場合	NTTへの手続きや機器の再調整が必要な場合があります。事前にお買い上げの販売店にご連絡ください。
②ファクシミリ通信網に加入する場合*	機器はそのままご使用いただけます。
③新電電系回線サービスに加入する場合*	機器はそのままご使用いただけます。
④マイライン・マイラインプラスに加入する場合*	機器はそのままご使用いただけます。
⑤海外との通信の場合	そのまま通信できます。うまく通信できないときは、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

*お客さまご自身でのお申し込みが必要です。

さくいん

●英字

Fコードポーリングをする……81
Fコードボックスリストをプリントする……88
Fコードボックスを消去する……88
Fコードボックスを登録する……85
Fコード送信をする……80
Fコード蓄積原稿リストをプリントする……84
Fコード通信で使用できる機能……79
Fコード通信とは？……79
Fコード通信をする……79
Fコード用の掲示板に原稿を蓄積する……82
V-660でボイスワープサービスを利用する前に設定する …94

●あ

相手先の原稿を取り出す（ポーリング）……89
相手先の操作で送信する（ポーリング予約）……89
相手先を確認してから送る（手動送信）……44
アフターサービスについて……178
アラームランプについて……149
アルファベットを入力する……105
安全上のご注意「必ずお守りください」 …… 7
一度にいろいろな相手に送る（同報送信、グループ送信） ……46
受け方を選ぶ ……53
液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ……152
エラーメッセージ・コード欄の説明……150
エラーメッセージ……149
延長用紙トレイを取り付ける ……22
お使いになる前の登録 ……30
お手入れの仕方……145
同じ相手にもう一度送る（リダイヤル）……45
オプション関連……170
オプション品について……172
主な仕様……169

●か

カーソルキーを使って探す ……29
外出先からの操作（リモート操作）……100
回線コードを接続する ……21
外部電話を接続する ……21
各部の名前と働き ……17
画質・濃度を選ぶ ……39
画質が悪い……160
画質を選ぶ ……39
カセットの用紙サイズを変更する ……25
カタカナを入力する……105
漢字・全角文字を入力する……103
機器設定リストをプリントする……139
記号・かな・特殊文字コード一覧……164
記号を入力する……106
機能一覧……173
機能一覧と参照ページ……174
機能の呼び出し方 ……29
機能番号について……173
機能番号を入力して探す ……29
機能を順番に表示しながら探す ……29
機能リストのプリント……173
記録の仕方 ……61
記録の仕方一覧 ……62
記録ヘッドの清掃……146
グループごとにまとめて送る（グループ送信）……47
グループダイヤルを登録する……115
グループダイヤルを変更する……115
掲示板に蓄積された原稿を消去する ……84
原稿送りローラーを清掃する……145
原稿がつまったとき……143
原稿ガラス、読み取りガイドを清掃する……145
原稿セットの仕方 ……38
原稿トレイを取り付ける ……22
原稿について ……37
原稿についての注意 ……37
原稿をセットする ……38
原稿をセットするときの注意 ……38
ご愛用スイッチキーの使い方……126
ご愛用スイッチキーを登録する……125
コードで入力する……106
故障かなと思ったら……159
ご使用前のお願い ……12
コピーする ……66
コピー設定一覧……138
コピーの仕方 ……66
個別設定……120

●さ

サイドカバーで用紙がつまったとき……142
サブアドレスとパスワード ……79
しきい値について ……61
システム設定一覧……130
修理を依頼されるときは……179
受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）…77
受信縮小について ……61
受信中の動作について ……60
受信中の表示 ……60
受信できない……159
受信モードを選ぶ ……33
受話器を接続する ……22
消去する ……111,114,116,123
消去通知……148
使用できる用紙のサイズと容量 ……23

消耗品とオプション品について……172
消耗品について……172
消耗品発注票について……172
初期設定 ……30
数字、#、＊を入力する……105
済スタンプを押す ……70
済スタンプを交換する……144
セキュリティ受信した原稿をプリントする ……78
セキュリティ受信を設定する ……77
接続する・取り付ける ……21
設定の仕方……129
設定例……129
セットできる原稿 ……37
前面と右側面 ……17
操作パネルの名前と働き ……19
送信案内証を設定する ……72
送信案内証を付けて送信する（メッセージ送信）……72
送信案内証をプリントする ……72
送信確認証の設定 ……93
送信確認証のみかた ……93
送信時刻を指定して送信する（時刻指定送信）……71
送信できない……159
送信方法の設定（メモリー送信/リアルタイム送信）…69
挿入または削除する ……110,113
ソートコピーを設定する ……67
外付けの電話機でファクスを受信する ……59
その他の場合……179

●た

第一水準漢字コード一覧……165
代行受信について ……60
第二水準漢字コード一覧……168
ダイヤル記号を入力する……127
ダイレクトメール防止……136
短縮ダイヤルを登録する……112
短縮ダイヤルを変更する……112
蓄積された原稿をプリントする ……83
通信回線の見分け方 ……34
通信記録の設定 ……92
通信記録のみかた ……91
通信記録をプリントする ……92
通信結果の確認 ……52
通信の後に相手と話す（会話予約）……65
通信予約原稿のプリント ……51
通信予約の確認 ……49
通信予約リストのプリント ……51
通信予約を確認する ……49
通信を管理する ……91
通信を中止する ……48
停電のとき……147
デュアルアクセス……170
テンキーで送る ……40
電源コードを接続する ……21
転送先を消去する……76,98
転送先を登録する……74,97
電話/ファクス待機にセットしているとき ……56
電話帳検索の仕方 ……42
電話待機にセットしているとき ……58
電話帳ダイヤルで送る ……43
電話の仕方 ……63
電話を受ける ……65
電話をかける ……63
電話を転送する（フォンワープ）……96
同報送信・グループ送信の宛先別の中止/確認 ……50
登録されている相手先名を利用する……106
登録した番号を変更または消去する……137
登録する ……109,112,115,126,136
特長〜こんなに便利です〜 ……1
ドラムカートリッジ/トナーカートリッジをセット、交換する …26

●な

内部 ……17
濃度を選ぶ ……39

●は

背面と左側面 ……18
半角文字コード一覧……163
ファクス＆コピーの仕方 ……73
ファクス＆コピーを設定する ……73
ファクス/電話待機にセットしているとき ……55
ファクス設定一覧……132
ファクス待機にセットしているとき ……54
ファクスと同時にコピーもする（ファクス＆コピー）…73
ファクスワープを設定する ……74
ファクスを受ける ……53
ファクスを送信する ……40
ファクスを転送する（ファクスワープ）……74
フォンワープの動作 ……99
フォンワープを設定する ……96
複数の相手を選んで送る（同報送信）……46
プログラムワンタッチの使い方……124
プログラムワンタッチを登録する……117
プログラムワンタッチを変更する ……119,121,123
プロテクトコードを設定する ……78
ページ分割について ……61
ボイスワープサービスの利用について ……94
ボイスワープサービスとは？ ……94
ポーリング予約原稿を消去する ……90

ポーリング予約原稿をプリントする ……90
ポーリングをする ……89
保証について……178
本書の使い方 ……5
本体……169
本体カバーのお手入れ……145
本体と付属品を確認する ……15
本体内部で用紙がつまったとき……141
本体の動作……147

●ま

メッセージを登録する ……72
メモリーバックアップ……147
目次 ……3
文字一覧表……163
文字コードの探し方……163
文字入力の仕方……103
文字入力例「関西ブロック」と入力するには……107
文字を修正する……107
文字を挿入する……107

●や

有効記録サイズについて ……61
用紙カセットで用紙がつまったとき……142
用紙がつまったとき……141
用紙セットの仕方 ……24
用紙をセットする ……23
読み取りできる範囲 ……37
読み取った原稿にスタンプを押す（済スタンプ）……70

●ら

リストをプリントする …76,99,111,114,116,124,137
留守/ファクス待機にセットしているとき ……57

●わ

ワンタッチ宛名ラベルの記入のしかた……110
ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで送る ……41
ワンタッチダイヤルを登録する……109
ワンタッチダイヤルを変更する……109

●記号

「リストプリント」を登録する ……121
「原稿蓄積」を登録する ……122
「通信」を登録する ……117
記号について……23,38

●トナーの残りが少なくなったり、ドラムカートリッジが寿命になったときに、自動的に消耗品発注票をプリントさせることができます。消耗品発注票のご担当者名、備考を記入していただき、お買上げの販売店または、消耗品発注票に記載のムラテック販売株式会社消耗品受付センターまでファクスで発注してください。（サービスマンによる設定が必要です）
また、消耗品発注票を自動的にファクスさせることもできます。（サービスマンによる設定が必要です）

●トナーカートリッジ、ドラムカートリッジが無くなったとき以外に消耗品を発注したい場合は、下段の発注票を切り取って、ご利用ください。

＃ 7 7 7 ＃

ムラテック消耗品発注票

FAX送信先 123-444-5556

お客様名	ABC商事㈱								ご担当者名					
送付先住所	〒													
お客様ｺｰﾄﾞ	A	B	C	1	2	3	4	5						
お客様電話番号	123−456−7899													
お客様ﾌｧｸｽ番号	012−345−6789													
機台番号	D	9	3	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1
発注品目	D	K	2	0	B									
商品名称														
数量			1	個										
お支払方法		代引			振込	どちらかの支払い方法に○をつけてください								
お支払予定日					年			月			日			
販売店社名	ABC商会													
							B	C	1					

muratec

消耗品発注票

弊社FAX番号 ＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 行

ご送付先	お客様名（フリガナ）	ご注文日　／
		納入希望日　／
	ご住所（フリガナ）	
	電話番号　　内線	

機種	品名	サイズ	数量
V-660	ドラムカートリッジ	1個	個
	トナーカートリッジ	1個	個
	済スタンプ	色　青・ピンク	個
	用紙	A5，A4，B5，B4	個
			個
			個

〈備考〉

ムラテック販売株式会社

インフォメーションセンター

ムラテック製品のお取り扱い方法やアフターサービスに関するご相談は、下記へお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-610917

●受付時間（日・祝日は休ませていただきます。）
平日/9:00～18:00　土/9:00～17:00

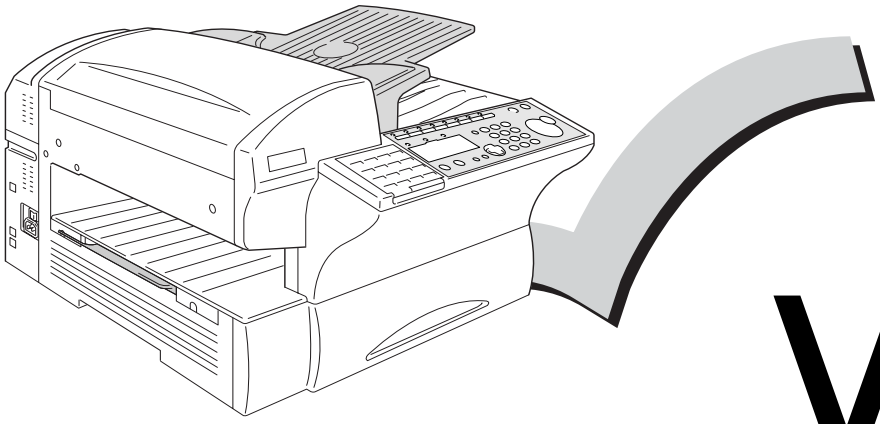
この取扱説明書は、R100マーク認定の再生紙および大豆インクを使用しています。

©2004 MURATA MACHINERY,LTD.
Printed in Japan 2004-05
D93-90050-60

Muratec

SUPER G3

かんたん
操作ガイド



V-660

●送信の仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2〜3
●同報送信の仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4〜5
●通信中止の仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6〜7
●ワンタッチダイヤルを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8〜9
●短縮ダイヤルを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10〜11
●文字入力の仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12〜13
●コピーの仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
●ドラム/トナーカートリッジの取付・交換 ・・・・・・・・・15〜17
●用紙セットの仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18〜19
●用紙サイズの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20〜21
●用紙・原稿がつまったとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22〜24
●お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

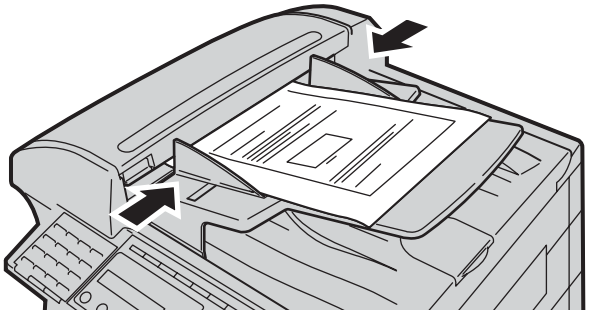
送信の仕方

操作の前に

●ワンタッチキーや短縮ダイヤル使用するときは、あらかじめ登録が必要です。
(取扱説明書 ⇨109,112 ページ)

1 原稿をセットする

①送信する面を上に向けセットします。(セットした原稿の上から繰り込みます)
②原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
③原稿の先があたるまで、軽く差し込みます。



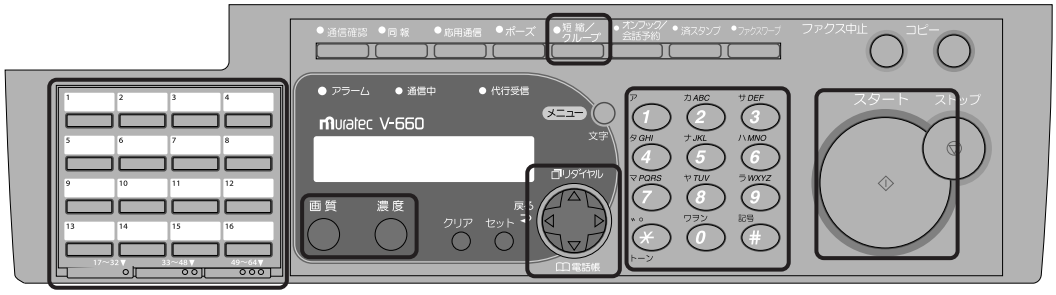
一度にセットできる枚数は
B4　　：25枚
A4以下：50枚

2 必要に応じて画質・濃度を設定する

画質：画質 ◯ を押す→ ◁△▷▽ で画質を選ぶ

濃度：濃度 ◯ を押す→ ◁△▷▽ で濃度を選ぶ

ここで使用するキー



3 相手先のファクス番号を指定する

テンキーで指定する

テンキーを押して、相手先の番号を入力します。

＊番号は40桁まで入力できます。
＊ダイヤル記号を入力して、さまざまな機能を指定できます。
（取扱説明書⇨127ページ）

ワンタッチキーで指定する

相手先が登録されているワンタッチキーを押します。

短縮ダイヤルで指定する

① •短縮/グループ を押します。

②テンキーで短縮番号を入力します。

電話帳で指定する

① 電話帳 を押します。

②カーソルキーを押して、相手先を検索します。

＊その他の検索方法は取扱説明書⇨42ページを参照してください。

4 スタート を押す

原稿が読み取られ、相手先に送信されます。

同報送信の仕方

●多数の相手へ 1 度の操作で送信する機能で、相手先ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

操作の前に

●相手先指定時にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ、およびテンキー入力を組合わせることにより、最大 330 宛先まで指定することができます。

●テンキー入力による指定は 30 宛先までです。

1 原稿をセットする

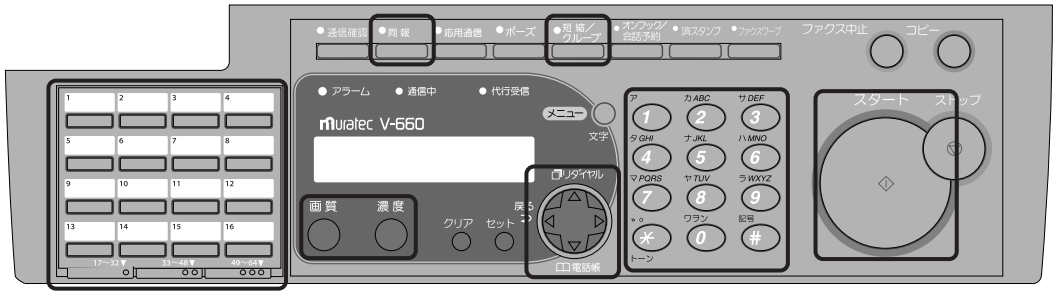
*必要に応じて、[画質]や[濃度]を調整します。

2 相手先のファクス番号を入力する

*テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
*電話帳を使って入力するときは、相手先を選択したあと、セット を押します。

3 ●同報 を押す

ここで使用するキー



4 手順3～4を繰り返して、すべてのあて先を入力する

```
キョウト　シテン
［０１］，１２３４，Ｓ００１
```

5 スタート ◇ を押します。

原稿が読み取られ、相手先に送信されます。

ポイント

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループにて入力するときは、同報 を押さなくても、次々と相手先を入力することができます。テンキーで入力したいときは、入力する前に同報 を押します。

通信中止の仕方

●原稿が読み取られた後の状態（通信予約文書）を中止したいときは、次の操作をします。

●現在通信中の文書を中止したいとき

1

ファクス中止 ◯ を押す ▶

ファクス　ヲ　チュウシ　シマスカ？
シナイ　→　ストップ゜　　キー

⇕ 交互に表示

ファクス　ヲ　チュウシ　シマスカ？
スル　　→　ファクスチュウシキー

※操作を中止するときは ストップ ◎ を押します。

2

もう一度 ファクス中止 ◯ を押す ▶ 通信が中止されます。

●通信中の文書が無く、予約中の文書があるとき

1

ファクス中止 ◯ を押す ▶

ファクスチュウノ　コマンド゛　アリマセン
ヨヤクチュウシ　スル　　→　セットキー

⇕ 交互に表示

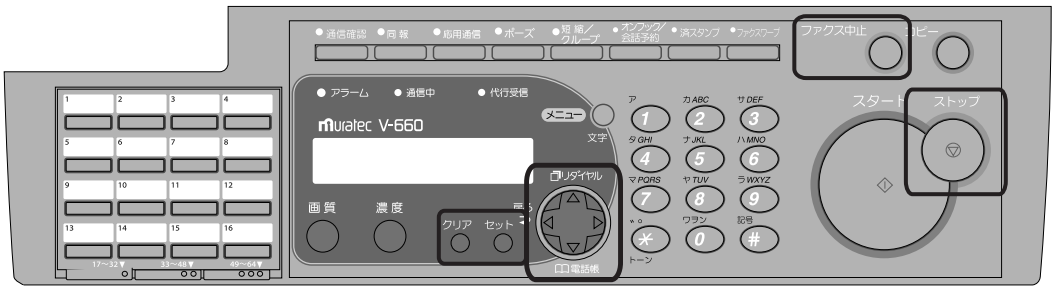
ファクスチュウノ　コマンド゛　アリマセン
ヨヤクチュウシ　シナイ　→　クリアキー

※操作を中止するときは クリア ○ を押します。

2

予約を取り消すときは セット ○ を押す

ここで使用するキー



3

で通信予約を選ぶ ▶

```
C02：S002　シコクシテン
　　▼／▲／▶／クリア
```

4

クリア
○　を押す ▶

```
C02：S002　シコクシテン
シナイ　→　モドルキー
```

交互に表示

```
C02：S002　シコクシテン
スル　　→　クリア　キー
```

※ 戻る を押すと手順3に戻ります。

5

クリア
もう一度　○　を押す ▶ 予約を取り消します。

ワンタッチダイヤルを登録する

●よく通信する相手先を、60 カ所ワンタッチキーに登録できます。

操作の前に

●電話番号：40 桁まで登録できます。
●相手先名：24 文字まで登録できます。

1

メニュー 文字 ○ ア 1 ア 1 ア 1 と押す

［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．１１１
１　ワンタッチダ゛イヤル　セット

2

セット ○ を押す

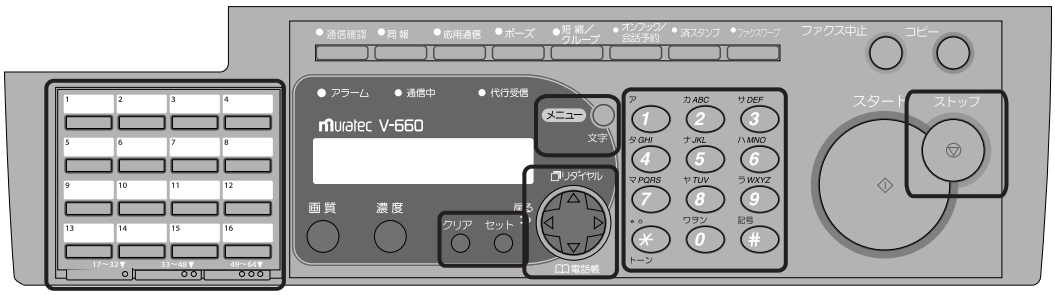
3

登録したいワンタッチキーを押す 2

4

セット ○ を押す

ここで使用するキー



5 テンキーで相手先番号を入力する

6 セット ○ を押す

7 テンキーで相手先名を入力する(本書12ページ)

*カタカナ、アルファベット、数字・記号、コードで入力できます。(漢字は入力できません)

* クリア ○ を押すと入力した文字を消去します。

8 セット ○ を押す

次のワンタッチダイヤルの登録になります。

*他のワンタッチダイヤルを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

* ストップ ◎ を押すと待機画面に戻ります。

短縮ダイヤルを登録する

●よく通信する相手先を、140 カ所まで短縮ダイヤルに登録できます。

操作の前に

●電話番号：40 桁まで登録できます。
●相手先名：24 文字まで登録できます。

1 メニュー ○ 文字 ア 1 カABC 2 ア 1 と押す

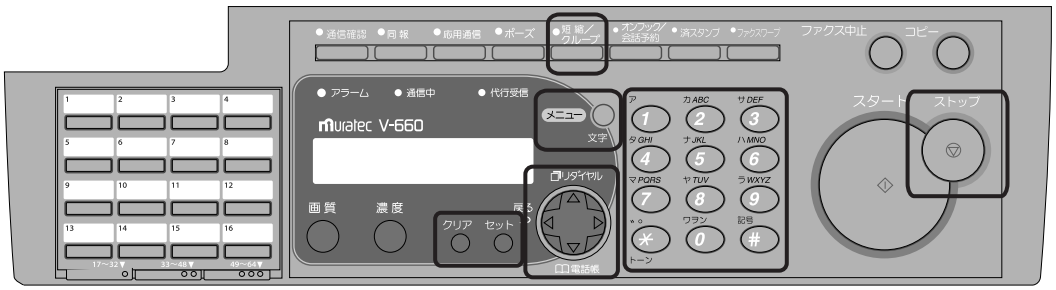
［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．１２１
１　タンシュクダ゛イヤル　セット

2 セット ○ を押す

3 テンキーで登録したい短縮番号を入力する　ワヲン 0 ワヲン 0 カABC 2

4 セット ○ を押す

ここで使用するキー



5 テンキーで相手先番号を入力する

6 セット ○ を押す

7 テンキーで相手先名を入力する(本書12ページ)

*カタカナ、アルファベット、数字･記号、コードで入力できます。(漢字は入力できません)

* クリア ○ を押すと入力した文字を消去します。

8 セット ○ を押す

次の短縮ダイヤルの登録になります。

*他の短縮ダイヤルを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

* ストップ ◎ を押すと待機画面に戻ります。

文字入力の仕方

●発信元やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの相手先名など、文字入力の仕方を説明します。

● 漢字・かなを入力する

＊漢字コード表(取扱説明書→ 164 ページ)

1 (メニュー)○(文字) **を押して「カンジコード」に切り替える**

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ 1:ｶﾝｼﾞ ｺｰﾄﾞ
_
```

2 **テンキーで漢字コードを4桁で入力する**
例：「関(2056)」「西(3230)」

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ 1:ｶﾝｼﾞ ｺｰﾄﾞ
(2056)(3230)_
```

＊正しい漢字コードを入力すると、漢字コードがカッコで囲まれます。

3 セット○ **を押す**

● アルファベット・数字を入力する

1 (メニュー)○(文字) **を押して「エイスウ」に切り替える**

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｴｲｽｳ
_
```

2 **テンキーで文字を入力する**
例：「B」を入力するとき

カABC(2) カABC(2) カABC(2) と押す

▶

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｴｲｽｳ
B_
```

3 セット○ **を押す**

● カタカナを入力する

1 (メニュー)○(文字) **を押して「カタカナ」に切り替える**

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
_
```

2 **テンキーで文字を入力する**
例：「スズキ」と入力するとき

サDEF(3) サDEF(3) サDEF(3) サDEF(3) サDEF(3) サDEF(3) ゛゜(＊) カABC(2) カABC(2)

ス ス ゛ キ

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｽｽﾞ ｷ_
```

3 セット○ **を押す**

● コード表の文字を入力する

＊コード表(取扱説明書→ 163 ページ)

1 (メニュー)○(文字) **を押して「キゴウコード」に切り替える**

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｷｺﾞ ｳｺｰﾄﾞ
_
```

2 **テンキーでコード４桁を入力する**
例：「？」コード(0109)を入力するとき

ワヲン(0) ア(1) ワヲン(0) ラWXYZ(9) と押す

▶

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｷｺﾞ ｳｺｰﾄﾞ
?_
```

3 セット○ **を押す**

● テンキーから入力できる文字

テンキー	カタカナ	英　数	漢字・記号コード
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ	1	7
カ ABC 2	カキクケコ	2ABCabc	2
サ DEF 3	サシスセソ	3DEFdef	3
タ GHI 4	タチツテトッ	4GHIghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	5JKLjkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	6MNOmno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	7PQRSpqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨャュョ	8TUVtuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	9WXYZwxyz	9
ワヲン 0	ワヲン	0	0
゛゜ ＊	゛゜	＊	
記号 #	－（ ）＿・. SP	＃＊@&－（ ）＿・. ：, SP	

＊「SP」はスペース（空白）を示しています。

● 登録されている相手先名を利用する

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの相手先名を登録するときは、すでに登録されている相手先名を電話帳から検索して入力できます。

1 相手先名の登録画面で を押す
（電話帳）

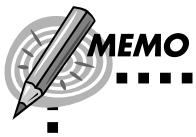
2 で入力したい文字を検索する

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ  ;          [ｷ]
ｷｮｳﾄｼﾃﾝ              :[01]
```

3 セット ○ を押す

```
02:ｱｲﾃｻｷﾒｲ  ;ｶﾀｶﾅ
ﾄｳｷｮｳﾄｼﾃﾝ_
```

＊電話帳から検索した文字が入力されます。



文字を削除するには
削除したい文字にカーソルを移動させて ○（クリア） を押します。

文字を挿入するには
挿入したい場所の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力します。

コピーの仕方

《取扱説明書 ⇨66 ページ》

●原稿を最大 99 部までコピーできます。

操作の前に

●コピーを部数ごとにそろえるには(ソート)→取扱説明書 67 ページ
●コピーする倍率を変えるには(コピー設定)→取扱説明書 138 ページ

1 原稿をセットする

*必要に応じて、[画質]や[濃度]を調整します。

2 コピー ◯ を押す

3 テンキーでコピーする部数(1～99)を入力する

```
コピ゛ーブ゛ スウ  ヲ ド゛ ウソ゛      23
                  コピ゛ー／ストップ゛
```

4 コピー ◯ を押す ▶ コピーを始めます。

※コピーを中止するときは ストップ ◎ を押します。

ドラム/トナーカートリッジの取付・交換

●ドラムカートリッジ・トナーカートリッジについて

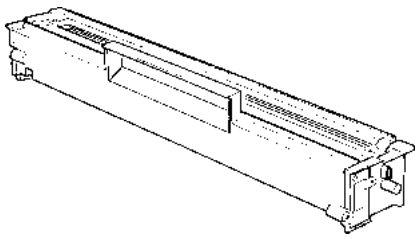
⚠警告

- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは火の中には絶対に投じないでください。爆発したり、着火してトナーが飛び散り、火災ややけどの原因となります。
- トナーが目に入らないように注意してください。もし、目に入ったときは水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

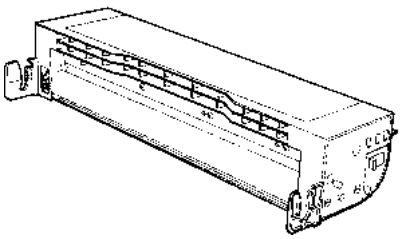
⚠注意

- ドラムカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。また、室内の灯りにも5分以上あてないでください。
- ドラム表面(緑色の円筒)には触れないでください。記録が正常にできなくなることがあります。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジに水やオイル等がかからないようにしてください。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジが包装されている袋は、取り付けるまで開封しないでください。

ドラムカートリッジ



トナーカートリッジ



- トナーカートリッジの出力枚数はA4サイズ（印字黒化率5%）で約4000枚です。
- ドラムカートリッジの出力枚数はA4サイズで約10000枚です。
- 出力可能枚数が少なくなるとチェックメッセージが表示されますので、早めに交換用のドラム／トナーカートリッジをご用意ください。

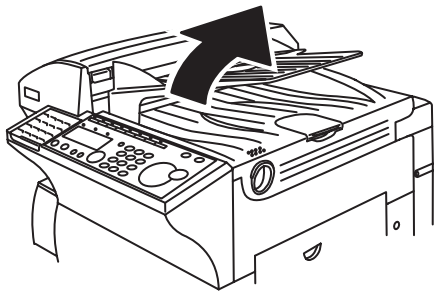
※トナーカートリッジの印字枚数は印字内容によって異なります。
※ドラムカートリッジの印字枚数は温度、湿度、用紙の種類や、一回の印字指令でのページ数等によって異なります。

ドラムカートリッジ、トナーカートリッジの回収および処分について

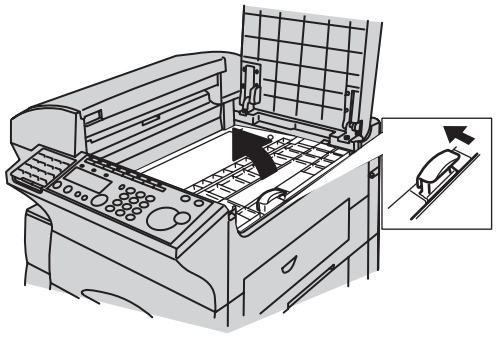
弊社では、環境保全と再資源化のために、使用済みのドラムカートリッジ・トナーカートリッジの回収を行っています。
回収方法は、ドラムカートリッジ・トナーカートリッジに同梱の「回収案内」をご覧ください。
また、廃棄される場合は、包装箱やビニール袋にいれて、不燃物として廃棄してください。必ず地域の条例に従って廃棄してください。

ドラム / トナーカートリッジの取付・交換

1 トップカバーを開ける



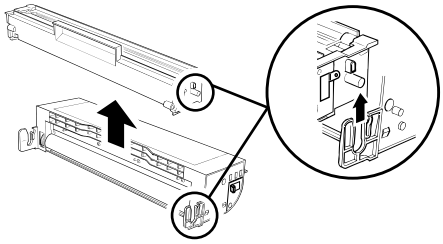
2 プリンターカバーを開ける



●トナーカートリッジを交換する場合

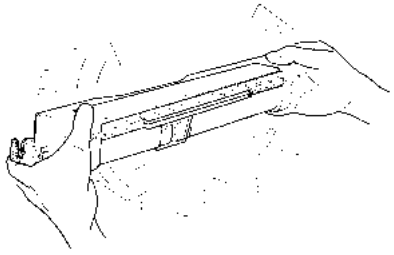
3 ドラム/トナーカートリッジを取り外す

4 ドラムカートリッジを取り外す

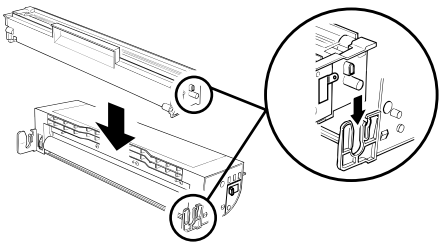


5 取り外したドラムカートリッジに光が当たらないよう、紙などでおおう

6 新しいトナーカートリッジを準備し、軽く振る



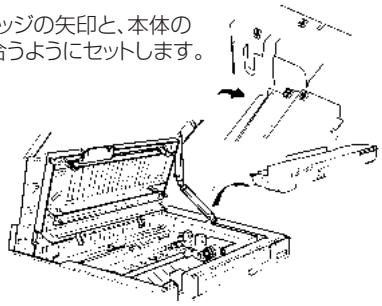
7 ドラムカートリッジをトナーカートリッジにセットする



*トナーカートリッジの溝に、ドラムカートリッジのピンをはめ込みます。

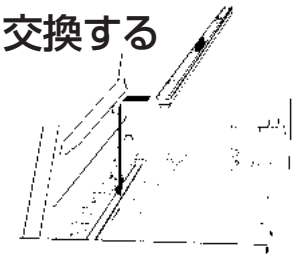
8 ドラム/トナーカートリッジを本体にセットする

*カートリッジの矢印と、本体の矢印が合うようにセットします。

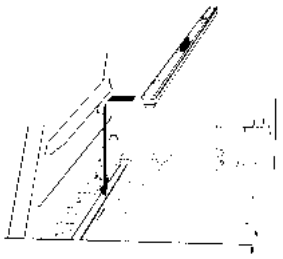


●トナーカートリッジを交換する場合

9 古い定着クリーナーを、新しい物と交換する

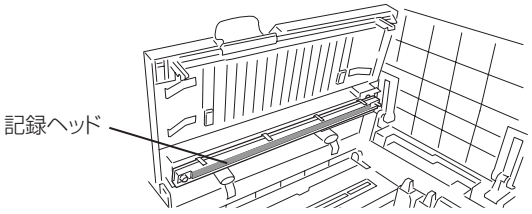


9 定着クリーナーをセットする



10 記録ヘッドを清掃する

*レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、記録ヘッドのレンズ面全体を軽くふきます。

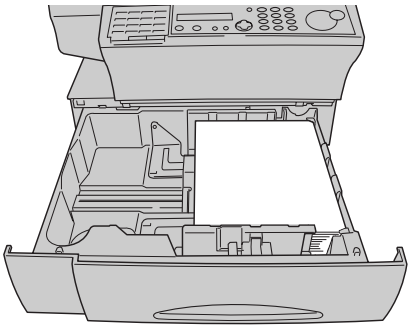


11 プリンターカバー、トップカバーを閉める

用紙セットの仕方

● 記号について

記号は、用紙を機械正面から見て縦に置くことを現します。



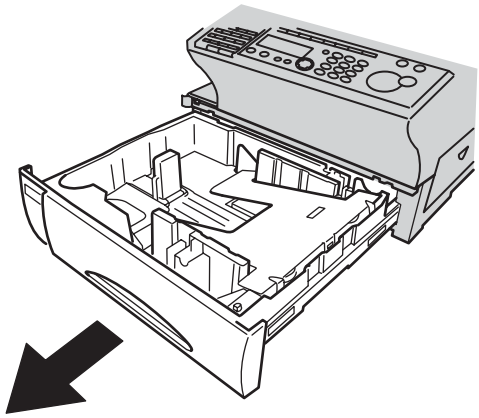
● セットできる用紙のサイズと容量

普通紙を使用してください。当社指定紙をお勧めします。

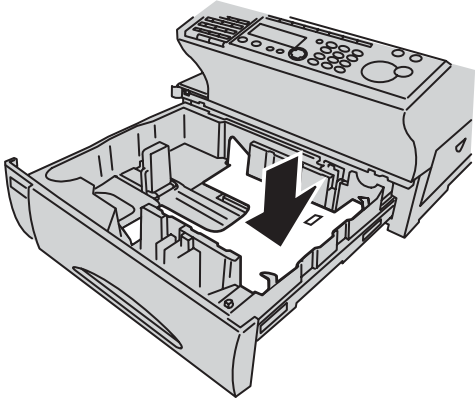
用紙サイズ(mm)	坪量	容量
B4(257X364) A4(210X182) B5(257X182) A5(210X148)	60～78 g/m²	約500枚 (指定紙の場合) または、高さ 52mm以下

● 用紙のセット

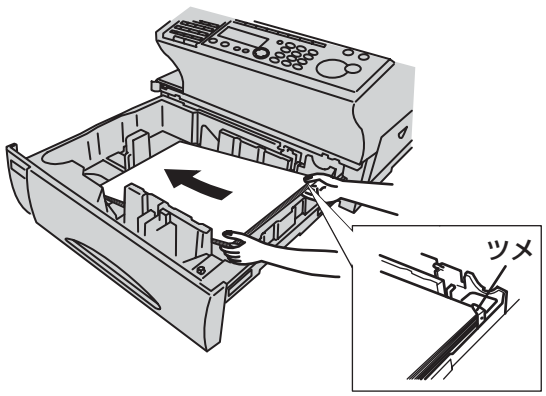
1 カセットを引き出す



2 底板を"カチッ"と音がするまで押し下げる

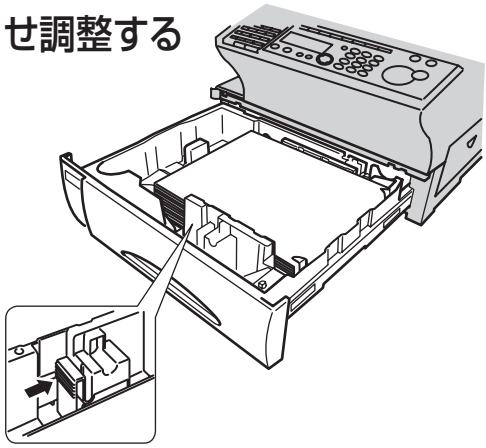


3 用紙をそろえてセットする



*カセット両端のツメが用紙の上になるようにセットしてください。

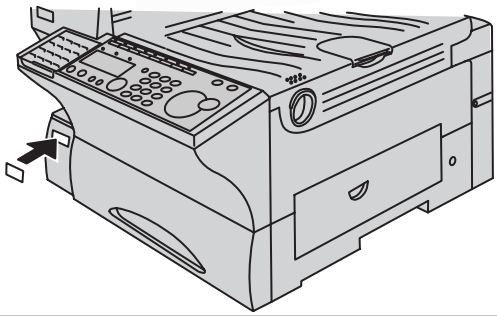
4 用紙ガイド横を用紙の幅に合わせ調整する



5 カセットを元に戻す

※用紙サイズを変更したときや、初めて用紙をセットしたときは、次に進みます。

6 セットした用紙サイズの用紙サイズラベルをカセットに貼る



7

メニュー ○ 文字　カ ABC (2)　ア (1)　ア (1)　と押す

［キノウ　センタク］　　Ｎｏ．２１１
１　ヨウシ　サイズ゛

8

セット ○ を押す

9

○ でセットした用紙のサイズを選択する

カセット１	：Ａ４
	▼／▲／セット

10

セット ○ を押す

＊2段目のカセットを装着している場合は、続けて用紙サイズの設定を行います。

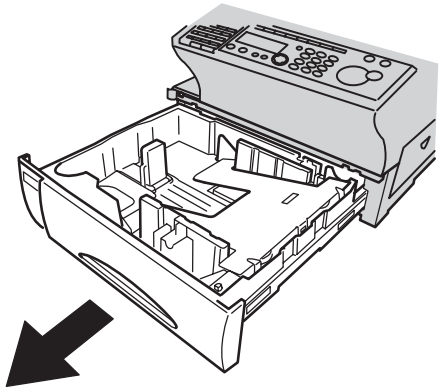
＊ ストップ ◎ を押すと待機画面に戻ります。

用紙サイズの変更

1

カセットを引き出す

底板は上がったままの状態にしておいてください。



2

①用紙ガイド横をセットしたい用紙の幅に合わせて移動する

B4、B5▯をセットする場合:ガイド横を広げる

A4、A5▯をセットする場合:ガイド横を狭める

②A4、A5▯用に移動したときはスペーサをカセットの奥側に、B4、B5▯用に移動したときはスペーサをカセットの手前側に取り付ける

用紙ガイドを固定するため、スペーサを取り付けます。

3

用紙ガイド縦をセットしたい用紙の長さに合わせて移動する

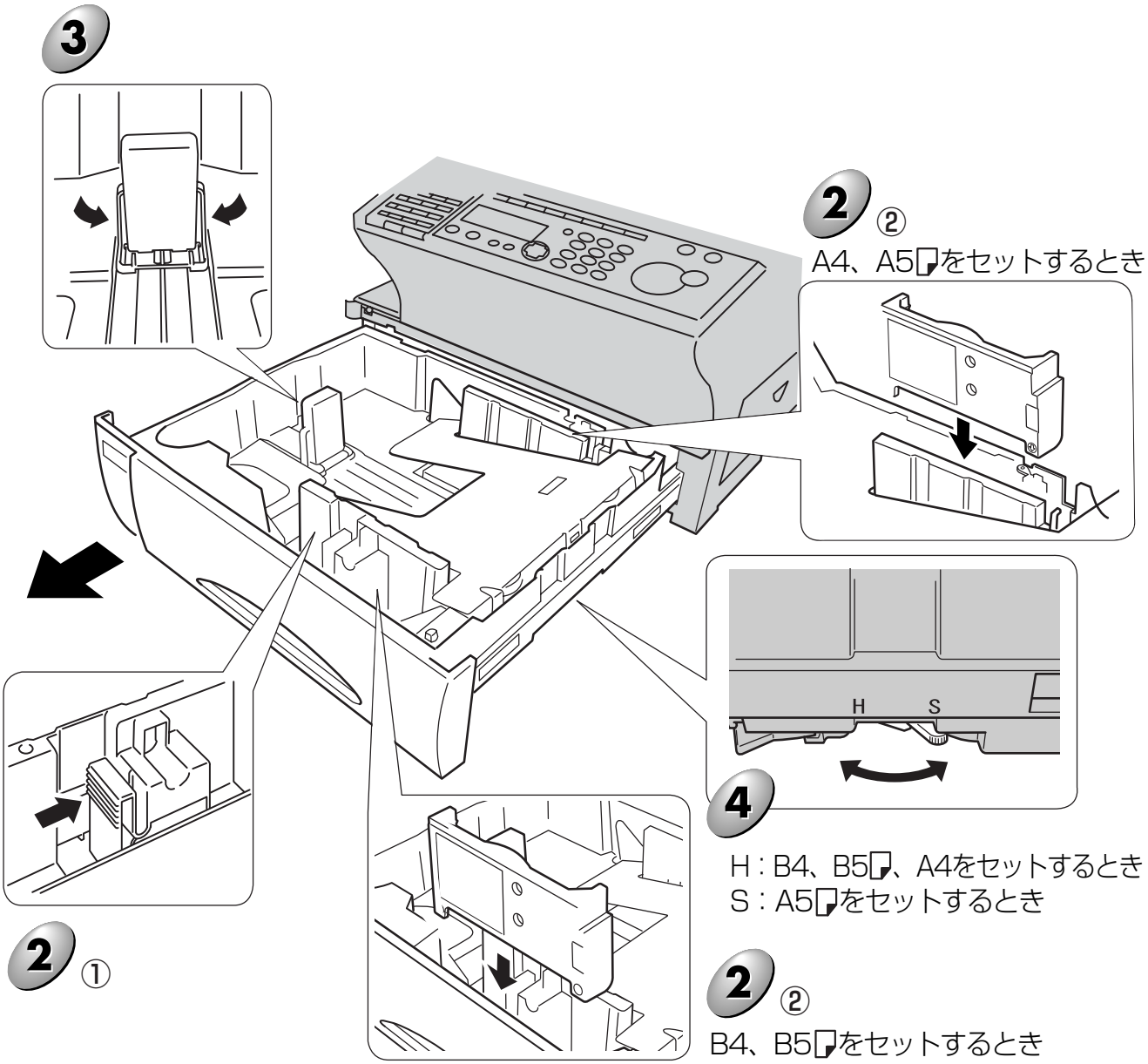
カセット底のマークに合わせて移動します。

4

B4、B5▯、A4をセットするときは調整レバーをHに、A5▯をセットするときは調整レバーをSに移動させる

用紙ガイド後がB4、B5▯、A4のとき、底板が下がっていると、調整レバーの移動が固くなります。

本書19ページの手順7へ進み、用紙のセットを行う


3
2 ②
A4、A5をセットするとき
H
S
4
H：B4、B5、A4をセットするとき
S：A5をセットするとき
2 ①
2 ②
B4、B5をセットするとき

用紙・原稿がつまったとき

●用紙や原稿がつまると、アラーム音が鳴り、アラームランプが点灯してディスプレイにメッセージが表示されます。次の手順で用紙または原稿を取り除いてください。

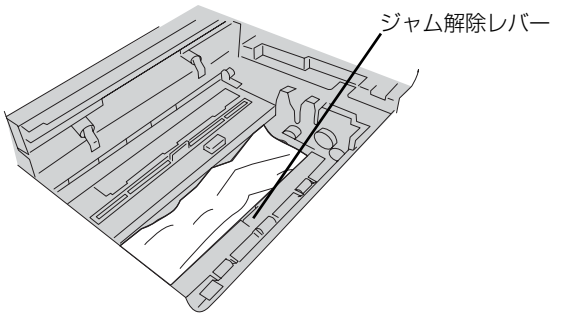
⚠警告	●トナーが目に入らないように注意してください。もし、目に入ったときは水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。
⚠注意	●定着器部周辺は高温になっています。指定部分以外には手を触れないでください。やけどをする恐れがあります。 ●つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないように全て取り除いてください。紙片が残っていると、火災の原因になることがあります。 ●用紙がローラ部や定着器に巻き付き取れない場合は、無理に取らないでください。やけどやケガをする恐れがあります。その際は、インフォメーションセンターまでご連絡ください。 ●万一、煙がでるような用紙づまりが発生した場合は、直ちに電源を切り、インフォメーションセンターまでご連絡ください。 ●ドラムカートリッジ下部にある銅製の端子に触れないでください。静電気により製品が故障する恐れがあります。

● 本体内部で用紙がつまったとき

「プリンタカバー　ヲ　アケテ　ヨウシ　ヲ　トリノゾイテクダサイ」と表示された場合、次の手順で用紙を取り除きます。

1 ①トップカバーを開け、プリンターカバーを開ける
②ドラム/トナーカートリッジを取り外す

2 ジャム解除レバーを上げ、つまっている用紙を静かに引き抜く
＊別の箇所でつまっていないか確認してください。

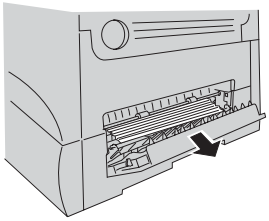


3 プリンターカバー、トップカバーを閉める
用紙カセットで用紙がつまっていないか確認する

● サイドカバーで用紙がつまったとき

「サイドカバー　ヲ　アケテ　ヨウシ　ヲ　トリノゾイテクダサイ」と表示された場合、次の手順で用紙を取り除きます。

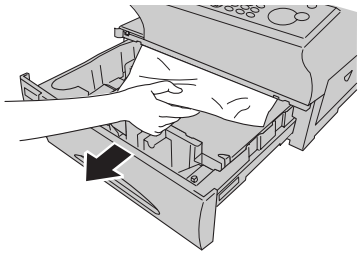
1. サイドカバーを開く
2. つまっている用紙を静かに引き抜く



3. サイドカバーを閉じる
   用紙カセットで用紙がつまっていないか確認する

● 用紙カセットで用紙がつまったとき

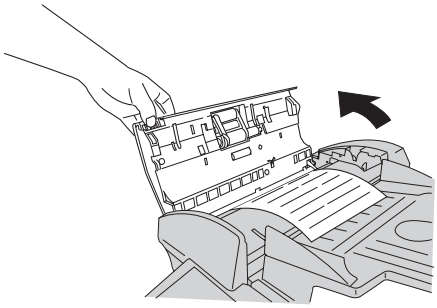
1. 用紙カセットをゆっくりと引き出す
2. つまっている用紙を静かに引き抜く



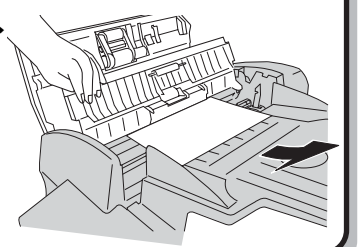
3. 用紙をセットし直す
   (本書18ページ)

● 原稿がつまったとき

1. ①原稿カバー開放レバーを引いて原稿カバーを開ける
   ②つまっている原稿を静かに引き抜く
   ＊原稿を取り除くことができない場合は、次の手順に進む



2. ①原稿ガイドを開ける
   ②つまっている原稿を静かに引き抜く



3. 原稿ガイド、原稿カバーを閉じる

➡ 次のページへ

●ディスプレイに次のメッセージが表示された場合は、原稿の続きを読み取ることができます。

```
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ　ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾂﾂﾞｷﾉ ﾖﾐﾄﾘ　ｾｯﾄ/ｸﾘｱ
```

＊クリア ○ を押すか、１分間何も操作しないと、蓄積した原稿をメモリから消去します

1 続きの原稿を読みとるときはセット ○ を押す

＊つまったページを表示します。

＊ ストップ ▽ を押すと待機表示に戻り、蓄積した原稿をメモリから消去します。

【例】メモリ送信のとき

```
 2ﾍﾟｰｼﾞ ｶﾗ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｽﾀｰﾄｷｰ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

【例】コピーのとき

```
 2ﾍﾟｰｼﾞ ｶﾗ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｺﾋﾟｰｷｰ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

【例】原稿蓄積のとき

```
 2ﾍﾟｰｼﾞ ｶﾗ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｾｯﾄｷｰ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

2 ディスプレイに表示されたキー

スタート ◇ ・ コピー ◎ ・ セット ○ を押す

＊原稿の読み取りが始まります。

お問い合わせ先

muratec ムラテック販売株式会社

インフォメーションセンター	ムラテック製品のお取り扱い方法やアフターサービスに関するご相談は、下記へお問い合わせください。
フリーダイヤル 0120-610917	●受付時間（日・祝日は休ませていただきます。） 平日　9:00～18:00 土　9:00～117:00

©2004 MURATA MACHINERY, LTD.

Printed in Japan 2004-05（第1版）
D93-90060-60